

ANNUAL REPORT

平成26年度

長崎県美術館年報

Nagasaki Prefectural Art Museum ANNUAL REPORT 2014

No. 9

目次

1. 沿革・主な出来事	2
2. 利用者数一覧	3
3. 展覧会事業	
1) 企画展	4
2) コレクション展	23
4. 教育普及事業・生涯学習事業	42
5. 補助金等による事業	58
6. 収集事業	60
7. 保存・修復事業	61
8. 作品貸出記録	69
9. 調査・研究事業	71
10. アートボランティア事業	79
11. 広報マーケティング事業	82
12. イベント等	90
13. 貸施設事業	93
14. ショップ、カフェ	96
15. 収支	97
16. 組織	99
17. 建築概要	101
18. 基本理念	101
19. 関係法規	102

1. 沿革・主な出来事

1) 沿革・主な出来事

- 平成12年11月 「諏訪の森再整備に関する基本方針」を長崎県・長崎市で公表
- 平成13年1月 長崎県新美術館基本構想専門家会議設置
- 平成13年4月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想（案）公表
（4～6月、構想（案）に対するパブリックコメント募集）
- 平成13年7月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想策定
- 平成13年10月 公募型プロポーザルの結果、「株式会社日本設計／協力：隈研吾」を設計者に決定
- 平成14年1月 環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議との協議（同年4、7、10月）
- 平成14年3月 長崎県新美術館（仮称）美術館機能検討会議設置
- 平成14年10月 建築設計完了
- 平成15年3月 着工
- 平成15年10月 美術館条例制定
- 平成16年1月 財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成16年4月 長崎県美術館指定管理者開始
伊東順二館長就任
- 平成16年11月 スペイン国立プラド美術館にて、プラド美術館との交流に関する覚書を締結
- 平成17年4月 開館
- 平成18年2月 「2005長崎市都市景観賞：大きな建物部門」受賞
- 平成18年5月 「平成17年度プレストレストコンクリート技術協会賞（作品部門）」受賞
「平成17年度照明普及賞（優秀施設賞）」受賞
- 平成18年6月 「2006ILDA 賞（国際部門）」入賞
- 平成18年10月 「第14回 CS デザイン賞（サイン部門）」受賞
「カサ・アジア賞」受賞
「日本建築士連合会賞」受賞
- 平成18年11月 「第47回建築業協会（BCS）賞」受賞
- 平成18年12月 「第40回 SDA 賞 公共サイン・システムサイン部門（奨励賞）」受賞
- 平成19年3月 入館者100万人達成
- 平成19年4月 米田耕司館長就任
- 平成19年5月 「日本建築家協会賞」受賞
- 平成20年1月 「2007きゅうでんイルミネーションコンテスト in Nagasaki（団体部門特別賞）」受賞
- 平成21年4月 指定管理者第2期開始
- 平成21年9月 入館者200万人達成
- 平成21年10月 皇太子殿下行啓
- 平成22年4月 開館5周年記念「プラド美術館所蔵 エル・グレコ《聖母戴冠》特別展示」を開催
- 平成22年6月 公益財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成22年7月 海フェスタながさき「海の総合展」に秋篠宮ご夫妻お成り
- 平成23年8月 釜山市立美術館との交流に関する協定書を締結
- 平成24年8月 入館者300万人達成
- 平成25年4月 自主企画展「現代スペイン・リアリズムの巨匠 アントニオ・ロペス展」の全国巡回
- 平成25年9月 釜山市立美術館で「長崎県美術館所蔵品展 スペイン／長崎」を開催
- 平成26年11月 「釜山市立美術館所蔵品展 路地に建てられた都市_釜山」を開催
- 平成27年2月 入館者400万人達成

2) 会議ほか

- (1) 理事会／第1回5月21日、第2回6月18日、第3回10月15日、第4回2月24日
- (2) 評議員会／第1回5月28日、第2回10月20日、第3回3月3日
- (3) 県民ギャラリー利用審査会／11月6日
- (4) スペイン美術アドバイザーボード／11月16日

2. 利用者数一覧

平成26年度入館者実績

単位：人

	総入館者			有料入館者			無料入館者		
	計画	実績	対比	計画	実績	対比	計画	実績	対比
企画展	151,000	128,633	85.2%	128,650	104,628	81.3%	22,350	24,005	107.4%
常設展	60,000	64,473	107.5%	45,265	48,742	107.7%	14,735	15,731	106.8%
教育普及	20,000	25,294	126.5%	1,000	5,184	518.4%	19,000	20,110	105.8%
県民ギャラリー等	190,000	247,044	130.0%	38,333	84,308	219.9%	151,667	162,736	107.3%
*重複調整	△46,000	△30,174	65.6%	—	—	—	—	—	—
合計	375,000	435,270	116.1%	213,248	242,862	113.9%	207,752	222,582	107.1%

3. 展覧会事業

1) 企画展

片岡鶴太郎展—長崎椿—

平成26年4月12日(土)～6月1日(日) *48日間 会場：企画展示室

概要：

芸能活動の傍ら、絵画や陶芸などの芸術分野で精力的に活動している片岡鶴太郎。彼は1995年から毎年、長崎県花木の「椿」、長崎市花の「あじさい」など、花鳥風月を主な題材に個展を開催してきた。今回の長崎展は、その代表作をえりすぐり、約250点の作品で片岡の画業を一望する過去最大規模の展覧会となった。

開催形態：共催展（受託方式／自主企画）

運営体制：

主催：長崎新聞社、長崎県美術館

共催：長崎県、長崎市、五島市、新上五島町、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ

特別協賛：株式会社メモリード

後援：長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、五島市教育委員会、中華人民共和国駐長崎総領事館、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎商工会議所、長崎国際観光コンベンション協会、長崎県美術協会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎県社会福祉協議会、長崎県校長会、長崎県PTA連合会、長崎県歯科医師会、長崎県看護協会、長崎県薬剤師会、長崎新地中華街商店街振興組合、長崎華僑総会、長崎中華料理同業組合、生活協同組合ララコープ、長崎県生活協同組合連合会、長崎花市場、長崎花商協同組合、長崎県花き振興協議会、花キュービッド協同組合長崎支部、長崎県書店商業組合、長崎県理容生活衛生同業組合、九州商船、長崎電気軌道ほか（順不同）

協賛：トヨタレンタリース長崎、オランダヤ、アイティーアイ株式会社

企画：スタジオ・エワン企画

協力：長崎県医師会、長崎新聞販売センター、オギノマネージメントコーポレーション、太田プロダクション

観覧料：

一般1,200円(1,000円)、高校・大学・70歳以上900円(700円)、小学・中学700円(500円)

※小学生未満無料

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

入場者数：47,452人（1日あたり、約989人）

出品点数：約250点



関連事業：

(1)片岡鶴太郎サイン会（無料／要観覧券）

日時：4月12日(土) 11：30～

場所：ホール

参加人数：200人

(2)片岡鶴太郎スペシャルトークショー（1,500円／本展チケットつき）

日時：4月12日(土) 15：00～16：20

場所：長崎ブリックホール国際会議場

参加人数：500人

(3)ワークショップ「春のあったか絵手紙」（無料／当日随時受付）

日時：4月19日(土)、20日(日) 10：30～16：00

場所：アトリエ

参加人数：計1,084人（277人／419人／167人／221人）

(4)映画上映会（無料）

日時：4月29日（火・祝）①13：00～「異人たちとの夏」、
②16：00～「どら平太」／5月11日(日) ③13：00～「どら平太」、
④16：00～「異人たちとの夏」

場所：ホール

参加人数：①90人 ②60人 ③100人 ④60人

(5)音楽朗読会「片岡鶴太郎が愛した柴田トヨの世界」（無料／要観覧券）

日時：5月18日(日) 14：00～15：00

出演：朗読グループ「虹」

場所：ホール

参加人数：130人

(6)学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：5月24日(土) 11:00～、16:00～

場所：企画展示室

参加人数：計110人 (60人/50人)

(7)デザイナーによるギャラリートーク (無料/要観覧券)

日時：5月25日(日) 11:00～、16:00～

講師：吉田文彦 (デザイナー)

場所：企画展示室

参加人数：計100人

主要記事等：

- ・「特集過去最大規模の個展開催片岡鶴太郎さんに聞く長崎への思い」『news every.』(NIB 長崎国際テレビ) 4月14日
- ・生中継『あっぷる』(NBC 長崎放送) 4月15日
- ・生中継『スーパーJチャンネルながさき』(NCC 長崎文化放送) 4月17日
- ・「金ようカルナビ」『なんでんカフェ』(長崎ケーブルメディア) 4月25日
- ・犬塚泉「花鳥画観客を魅了」『長崎新聞』 4月13日

現代フランスを代表する日本人アーティスト 光の画家 松井守男展

平成26年 6月7日(土)～7月13日(日) *35日間 会場：企画展示室

概要：

フランス、コルシカ島と五島市の久賀島にアトリエを構え活動を展開する松井守男（1942年愛知県豊橋市生まれ）の回顧展。高校時代から最新作に至る松井の画業を、久賀島のアトリエで制作された幅10mに及ぶ大作を中心に展観した。

開催形態：主催（自主企画展）

運営体制

主催：長崎県、長崎県美術館

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、五島市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、五島市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞長崎支局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

協力：ホリプロ

観覧料：

一般800（700）円、大学生・70歳以上700（600）円、高校生500（400）円

※中学生以下無料

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

入場者数：4,056人（1日あたり115人）

出品点数：168点（油彩155点、水彩13点）

関連事業：

(1)ワークショップ「松井画伯と“光”を描こう！」（無料／*事前申込制）

出品リスト：

番号	作品タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
1	遺言	1985	油彩・カンヴァス	215×470	個人蔵	
2	四季—春	1987	油彩・カンヴァス	80×40	個人蔵	
3	四季—夏	1987	油彩・カンヴァス	80×40	個人蔵	
4	四季—秋	1987	油彩・カンヴァス	80×40	個人蔵	
5	四季—冬	1987	油彩・カンヴァス	80×40	個人蔵	
6	綾	1985-86	油彩・カンヴァス	130×97	個人蔵	
7	無題	1987	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
8	無題	1987	油彩・カンヴァス	130×97	個人蔵	
9	絢	1987-88	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
10	遥	1987-88	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
11	澄	1988	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
12	眸	1988	油彩・カンヴァス	130×195	個人蔵	
13	皓	1988	油彩・カンヴァス	130×195	個人蔵	
14	瞳	1988	油彩・カンヴァス	130×195	個人蔵	
15	無題	1988	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	
16	無題	1988	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	

光の画家 松井守男展



日時：6月28日(土)、29日(日) 10：30～12：30

会場：アトリエ

対象：小中学生

参加人数：15人／18人

(2)担当学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：6月15日(日)、7月13日(日) 14：00～（30分程度）

会場：企画展示室

主要記事等：

- ・新村猛『東日新聞』「長崎県美術館光の画家・松井守男展を撮る（上、下）」（東海日日新聞社）6月14日、20日
- ・犬塚泉『長崎新聞』「壁埋める鮮やか大作群光の画家松井守男展」（長崎新聞社）6月24日
- ・生中継「アーティスト自ら解説！光の画家・松井守男展」『あっぷる』（NBC長崎放送）6月11日
- ・「安井アナ世界的画家松井守男画伯のモデルに／AKA-FOUN 展示」『あっぷる』（NBC長崎放送）7月3日、4日
- ・「この人あの歌ああ人生」『NBCラジオ』6月30日

番号	作品タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
17	仰	1989	油彩・カンヴァス	162×130	個人蔵	
18	讃	1989	油彩・カンヴァス	162×130	個人蔵	
19	無題	1989	油彩・カンヴァス	162×130	個人蔵	
20	蘇	1989	油彩・カンヴァス	130×97	個人蔵	
21	無題	1989-90	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	
22	兆し1991・1	1991	油彩・カンヴァス	97×130	個人蔵	
23	光芒	1992	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	
24	無題	1992	油彩・カンヴァス	162×130	個人蔵	
25	無題(雨)	1993	油彩・カンヴァス	162×130	個人蔵	
26	別府	1994	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	
27	別府地獄	1994	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	
28	一遍上人へのオマージュ	1994	油彩・カンヴァス	130×162	個人蔵	
29	無題	1995	油彩・カンヴァス	130×195	個人蔵	
30	磔刑	1998	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
31	復活	1998	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
32	昇天	1998	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
33	ヴィーナスの誕生(ボッティチェリへのオマージュ)	2000	油彩・カンヴァス	195×130	個人蔵	
34	レジオン・ドヌール	2003-2004	油彩・カンヴァス	130×97	個人蔵	
35~132	富士	2008-2014	油彩・カンヴァス	41×32	個人蔵	
133	クラルテ3	1991	パステル・厚紙	73×105	個人蔵	
134	クラルテ6	1991	パステル・厚紙	73×105	個人蔵	
135	サフ・アル・マエ砂漠	1999	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
136	サンギネール島	2006	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
137	上五島	2013	鉛筆、パステル、水彩・紙	46.3×54.2	個人蔵	
138	湯ノ本湾	2012	鉛筆、パステル、水彩・紙	46.3×54.2	個人蔵	
139	大瀬崎灯台1	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
140	大瀬崎灯台2	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
141	大瀬崎灯台3	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
142	大瀬崎灯台4	2009	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
143	出津教会	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
144	旧五輪教会	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
145	堂崎天主堂	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×55.9	個人蔵	
146	浦上天主堂	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	84×111.8	個人蔵	
147	長崎26殉教者記念像	2008	鉛筆、パステル、水彩・紙	42×167.7	個人蔵	
148	豊川風景	1958	油彩・カンヴァス	61×72.5	個人蔵	
149	工場	1958	油彩・カンヴァス	73×90.5	個人蔵	
150	裸婦	1966	油彩・カンヴァス	90.5×65	個人蔵	
151	ノーモア長崎1	2007	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
152	ノーモア長崎2	2013	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
153	被爆マリア	2008	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
154	復活	2009	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
155	豊川海軍工廠	2011	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
156	万華鏡	2012	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
157	運命	2012	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
158	エンデのファンタジー	2012	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
159	大和魂3	2012	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
160	アコウ3	2012	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
161	ピカソ、ダヴィンチ、ヨースケ・ヤマシタ	2013	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
162	幸せ	2013	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
163	感動1	2014	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
164	自然3	2014	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
165	未来の世界地図1	2014	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
特別出品	群像	1966	油彩・カンヴァス	162×130	個人蔵	
特別出品	感動2	2014	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
特別出品	三人マリア	2014	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	
関連展示	AKAFUN	2014	油彩・カンヴァス	215×1,000	個人蔵	7月3日~13日の期間限定展示

没後5年 一求道と鎮魂の絵画— 平山郁夫展

平成26年7月19日(土)～8月31日(日) *42日間 会場：企画展示室

概要：

仏教やシルクロード、国内外の文化遺産などにテーマを求め、壮大なスケールで俯瞰した日本画家・平山郁夫の没後5年を記念する展覧会。「求道と鎮魂の絵画」と題し、日本画、素描など116点により構成した。また本展では平山にとって被爆体験を題材とした唯一の大作《広島生変図》(広島県立美術館蔵)を長崎の原爆忌に合わせた期間限定特別展示として、長崎で初公開した。

開催形態：共催展(自主企画展)

運営体制：

主催：長崎県美術館、NCC 長崎文化放送、平山郁夫美術館

共催：朝日新聞社、長崎新聞社

特別協力：広島県立美術館

特別協賛：アダチ産業株式会社

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、NHK 長崎放送局、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア

観覧料：

一般1,100(900)円、大学生・70歳以上900(700)円、高校生700(500)円

※中学生以下無料

※()は前売または15名以上の団体料金。

入場者数：19,205人(1日あたり457人)

出品点数：116点(本画36点、素描・水彩画73点、大下図6点、複製画1点)

関連事業：

(1)記念講演会(無料/要観覧券)

日時：7月19日(土) 14:00～15:30

講師：平山助成氏(平山郁夫美術館館長)

会場：ホール

参加人数：90名

(2)スペシャル・ギャラリートーク(無料/要観覧券)

日時：①7月26日(土)、②8月2日(土) 各日14:00～

講師：別府一道氏(平山郁夫美術館学芸員)

会場：企画展示室

参加人数：①50名、②50名

(3)学芸員によるギャラリートーク(無料/要観覧券)

日時：7月20日(日)、27日(日)、8月17日(日)、24日(日) 14:00～

会場：企画展示室

参加人数：各回20名程度

(4)子ども向けおしゃべり鑑賞会(無料/高校生以上は要観覧)



券/※当日受付)

日時：8月3日(日)、8月10日(日) 11:00～、14:00～

会場：企画展示室

参加人数：計119名

(5)大人向け生涯学習ワークショップ「日本画入門」(参加費1,000円/※事前申込制)

講師：城 輝行氏(長崎県美術協会日本画部門理事)

日時：8月23日(土)、24日(日) 10:30～16:00 ※2日間連続

会場：アトリエ

参加人数：21名

主要記事等：

- ・「シリーズ平山郁夫展の魅力(全5回)」『スーパーJチャンネルながさき』(NCC 長崎文化放送) 7月21～25日
- ・生中継「スーパーJチャンネル九州・沖縄」(KBC九州朝日放送) 8月8日
- ・生中継「スーパーJチャンネルながさき」(NCC 長崎文化放送) 8月8日
- ・「画業通し平和への祈り」『佐賀新聞』 8月8日
- ・「『広島生変図』公開平山郁夫展きょうから県美術館」『朝日新聞』 8月9日
- ・「平山郁夫唯一の原爆画『広島生変図』を公開県美術館」『長崎新聞』 8月10日
- ・川口佳子「広島原爆をテーマとした平山郁夫唯一の作品 長崎で初公開」『公明新聞』 8月13日
- ・生中継『芸能デス』『アサデス。』(KBC九州朝日放送) 8月13日
- ・生中継「トコトン・サタデー」(NCC 長崎文化放送) 8月23日

出品リスト：

1. 故郷

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
1	ひととき (憩)	1956	本画	紙本彩色	181.0×197.0	広島県立美術館
2	瀬戸田曼荼羅	1985	本画	紙本彩色	34.6×60.6	平山郁夫美術館
3	B29から落下傘投下を目撃する	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
4	原爆の茸雲	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
5	原爆ドーム	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
6	廃墟と化した広島	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
7	瀬戸田町漁村風景・昭和三〇年	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
8	瀬戸田町向上寺三重塔 大三島を望む	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
9	向上寺三重の塔の見える山と海岸	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
10	父 峰市 八〇歳	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
11	母 ひさの 七三歳	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
12	瀬戸内海を航行する小型機帆船	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
13	瀬戸田町祇園神社から家並みを見る	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
14	瀬戸田町の漁船	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
15	家路	1952～3	大下図	紙本淡彩	146.0×206.0	平山郁夫シルクロード美術館
16	家路	1952	本画	紙本彩色	14.6.0×206.0	平山郁夫シルクロード美術館
17	家路	1953	本画	紙本彩色	14.6.0×206.0	広島県立美術館
18	(風雪) 漁夫	1958	本画	紙本彩色	121.0×71.0	平山郁夫美術館
19	海岸で牡蠣の仕事をする人たち	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
20	広島相生橋から原爆ドームを見る	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
21	彫金の仕事をする清水南山	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
22	石仏 唐代	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
23	東京美術学校玄関	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
24	法隆寺五重塔	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
25	母子	1959	本画	紙本彩色	116.0×68.0	広島県立美術館
26	高根島、佐木島、因島と向上寺山と瀬戸田眺望	1999	水彩画	紙・墨・水彩	47.5×187.0	平山郁夫美術館
27	瀬戸田町私の実家のある通り	1999	水彩画	紙・墨・水彩	45.5×60.5	平山郁夫美術館
28	瀬戸田港	1999	水彩画	紙・墨・水彩	45.5×60.5	平山郁夫美術館
115	南蛮船	1957	本画	紙本彩色	86.0×75.0	平山郁夫美術館
116	七つの海を行く南蛮船	1957	本画	紙本彩色	33.0×88.0	平山郁夫美術館

2. 仏教伝来

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
29	みのり	1961	本画	紙本彩色	152.0×60.0	広島県立美術館
30	陸荘アパートの廊下	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
31	八甲田山の残雪	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
32	仏教伝来エスキース (原寸大複製)	1959	複製	—	27.8×31.8	(原画は平山郁夫シルクロード美術館)
33	受胎靈夢	1962	本画	紙本彩色	179.5×178.8	広島県立美術館
34	行七歩	1962	本画	紙本彩色	127.0×60.5	平山郁夫美術館
35	出山釈迦	1965	本画	紙本彩色	90.8×54.6	佐川美術館
36	建立金剛心図	1963	本画	紙本彩色	181.5×227.5	東京国立近代美術館
37	天山南路 (昼)	1960	本画	紙本彩色	164.2×218.8	広島県立美術館
38	求法高僧東帰図	1964	本画	紙本彩色	181.0×366.9	平山郁夫美術館
39	《求法高僧東帰図》制作のためのデッサン	1964	素描	紙・鉛筆	179.0×388.0	平山郁夫美術館
40	法然偏依善導図	1979	本画	紙本彩色	171.0×364.0	浄土宗総本山 知恩院
41	ボタラ宮の石段	1977	本画	紙本彩色	100.0×72.7	平山郁夫美術館寄託
42	祇園精舎	1981	大下図	紙本淡彩	183.0×377.0	平山郁夫シルクロード美術館
43	西藏布達拉宮	1977	大下図	紙本淡彩	171.0×364.0	平山郁夫シルクロード美術館

3. 文化財保護活動

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
44	玉碗幻想	1970	本画	紙本彩色	14.5×21.0	平山郁夫シルクロード美術館
45	並木道 イタリアー・パルマ	不詳	素描	紙・カラーコンテ	26.2×20.6	平山郁夫シルクロード美術館

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
46	ベネツィア サン・マルコ海岸	不詳	素描	紙・カラーコンテ	24.0×19.8	平山郁夫シルクロード美術館
47	サンフランチェスコ寺院 アッシジ、イタリー	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
48	ビザンチン時代の洞窟修道院 カッパドキア、トルコ	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
49	千一聖堂の遺跡 (トルコ)	不詳	素描	紙・コンテ	29.6×23.4	平山郁夫シルクロード美術館
50	法隆寺金堂壁画六号壁観音	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
51	月明の砂漠	1992	本画	紙本彩色	91.0×72.0	名都美術館
52	アンコールワット遺跡 朝陽	1992	大下図	紙本淡彩	171.2×364.0	平山郁夫シルクロード美術館
53	アンコールワットの月	1993	本画	紙本彩色	80.3×116.7	平山郁夫美術館
54	高松塚古墳 西壁面北側婦人像部分	不詳	素描	紙・カラーコンテ	30.0×20.0	平山郁夫シルクロード美術館
55	高松塚古墳壁画・東壁 男子群像	不詳	水彩素描画	紙・墨・水彩	27.8×20.0	平山郁夫シルクロード美術館
56	卑弥呼壇壁幻想 小下絵	1967	本画	絹本着色	31.3×63.2	平山郁夫美術館
57	バーミアン大石仏を偲ぶ (アフガニスタン)	2001	本画	紙本彩色	116.7×80.3	平山郁夫美術館
58	敦煌莫高窟壁画と法隆寺金堂壁画の比較	1990ごろ	素描	紙・墨	32.2×44.5	平山郁夫シルクロード美術館
59	敦煌莫高窟	1991	水彩素描画	紙・墨・水彩	31.5×24.0	平山郁夫シルクロード美術館
60	敦煌A	1980	本画	紙本彩色	97.0×130.3	平山郁夫美術館

4. シルクロード

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
61	南海夕陽・海のシルクロード	1990	本画	紙本彩色	80.3×116.7	個人蔵
62	ベルセポリス炎上	1976	本画	紙本彩色	91.0×116.5	高島屋史料館
63	朧月夜ブルーモスク	2007	本画	紙本彩色	80.3×116.7	平山郁夫シルクロード美術館
64	亜羅比亜の翁	1972	本画	紙本彩色	53.0×72.7	平山郁夫美術館
65	流沙浄土変	1976	本画	紙本彩色	96.8×130.0	エール蔵王 島川記念館蔵
66	黄河上流	1980	本画	紙本彩色	91.0×116.7	名都美術館
67	黄河 (宵)	1986	本画	紙本彩色	171.0×363.5	静岡県立美術館寄託
68	黄河 (晨)	1986	本画	紙本彩色	171.0×363.5	広島県立美術館
69	貼金彩絵菩薩立像	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	102.5×36.0	平山郁夫シルクロード美術館
70	思惟菩薩像 北齊	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	94.5×34.0	平山郁夫シルクロード美術館
71	貼金彩絵仏菩薩三尊像 北魏・東魏	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×37.0	平山郁夫シルクロード美術館
72	貼金彩絵仏立像	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×37.0	平山郁夫シルクロード美術館
73	貼金彩絵菩薩像	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×37.0	平山郁夫シルクロード美術館
74	貼金彩絵仏菩薩三尊像 北魏・東魏	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×37.0	平山郁夫シルクロード美術館
75	貼金彩絵仏立像 青州博物館	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×37.0	平山郁夫シルクロード美術館
76	彩絵仏立像 北齊	2000	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	52.0×37.0	平山郁夫シルクロード美術館
77	大朝大寶子闐国大聖大明天子	1979	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	32.0×22.0	平山郁夫シルクロード美術館
78	ライオン	1970	素描	紙・鉛筆・水彩	33.5×23.5	平山郁夫シルクロード美術館
79	ヤクシー女神サンチー東内門浮彫	1959	素描	紙・鉛筆・水彩	39.0×29.0	平山郁夫シルクロード美術館
80	サマルカンドの市場にて	不詳	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	39.5×30.5	平山郁夫シルクロード美術館
81	少女と子供インド	1969	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	39.5×30.5	平山郁夫シルクロード美術館
82	カジュラホー水を運ぶ女インド	1970	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	39.5×30.5	平山郁夫シルクロード美術館
83	アフガン人市場にてカプール	1973	素描	紙・鉛筆	52.5×36.5	平山郁夫シルクロード美術館
84	靴屋カプールアフガニスタン	1973	素描	紙・鉛筆	32.5×36.5	平山郁夫シルクロード美術館
85	サルナート出土仏像五世紀インド	1970	素描	紙・鉛筆	39.0×29.0	平山郁夫シルクロード美術館
86	菩薩像頭部マトゥラー二世紀インド	1970	素描	紙・鉛筆・水彩	39.0×31.0	平山郁夫シルクロード美術館
87	ナルタピーク	1982	素描	紙・鉛筆・水彩	38.5×53.0	平山郁夫シルクロード美術館
88	ナルタピーク	1982	素描	紙・鉛筆・水彩	38.0×53.0	平山郁夫シルクロード美術館
89	ナルタピーク	1982	素描	紙・鉛筆・水彩	35.5×52.5	平山郁夫シルクロード美術館
90	ナルタピーク	1982	素描	紙・鉛筆・水彩	35.5×52.5	平山郁夫シルクロード美術館
91	楼閣の遺跡 昼	1990	本画	紙本彩色	169.0×363.0	愛知県美術館
92	楼閣遺跡を行く・月	2005	本画	紙本彩色	171.0×363.0	平山郁夫シルクロード美術館
93	絲綢の路 パミール高原を行く	2001	本画	紙本彩色	171.0×366.0	平山郁夫美術館
94	楼閣遺跡を行く・日	2005	本画	紙本彩色	171.0×363.0	平山郁夫シルクロード美術館
95	楼閣	1989	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	37.0×53.5	平山郁夫シルクロード美術館

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
96	楼蘭仏塔	1989	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	37.0×53.5	平山郁夫シルクロード美術館
97	楼蘭	1989	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	37.0×53.5	平山郁夫シルクロード美術館
98	楼蘭遺跡・仏塔	1989	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	37.0×53.5	平山郁夫シルクロード美術館
99	楼蘭遺跡	1989	素描	紙・鉛筆・色鉛筆	37.0×53.5	平山郁夫シルクロード美術館
100	エベレスト峰	1982	水彩素描画	紙・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
101	カシミールの湖 (ガラ湖)	1983	水彩素描画	紙・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
102	西域の葡萄	1978	水彩素描画	紙・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
103	西域の竹節海棠	1979	水彩素描画	紙・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
104	敦煌の莫高窟	1985	水彩素描画	紙・墨・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
105	黄河	1986	水彩素描画	紙・墨・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
106	蘇州の運河	1984	水彩素描画	紙・墨・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
107	大湖に浮ぶ漁船	1980	水彩素描画	紙・墨・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託
108	唐三彩のラクダ	1981	水彩素描画	紙・墨・水彩	扇面	平山郁夫美術館寄託

5. 平和への立場

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
109	無原罪の聖母像	1997	水彩素描画	紙・墨・水彩	35.0×50.4	平山郁夫シルクロード美術館
110	広島生変図	1979	本画	紙本彩色	171.0×364.0	広島県立美術館
111	広島生変図	1979	大下図	紙本淡彩	171.0×364.0	平山郁夫シルクロード美術館
112	平和の祈り「サラエボ戦跡」	1996	大下図	紙本淡彩	171.0×364.0	平山郁夫シルクロード美術館

長崎の風景

No	作品名	制作年	区分	素材・技法	サイズ (cm)	所蔵
113	オランダ坂	1997	水彩画	紙・墨・水彩	43.5×58.5	個人蔵
114	眼鏡橋	1997	水彩画	紙・墨・水彩	43.5×58.5	個人蔵

※No.15《家路》は8月8日(金)まで、No.16《家路》は8月9日(土)から展示した。

※No.110《広島生変図》は、8月9日(土)から展示した。

魔法の美術館～光と影のワンダーランド

平成26年7月19日(土)～8月31日(日) *42日間 会場：県民ギャラリー

概要：

日本を代表するメディアアーティスト14組が「光」「影」をテーマに音響や映像を用いて制作した18点を展示した。本展は、見て、触って、参加して、楽しむ新感覚の体験型ミュージアム。これまでに、全国27会場を巡回し、約80万人を動員した。子どもからお年寄りまで世代を超えて好評を博した。

開催形態：共催展（受託／巡回展）

運営体制：

主催：長崎新聞社、長崎県美術館

共催：長崎県、NCC長崎文化放送

協賛：大誠ハウス株式会社、株式会社インテックス

協力：長崎県医師会、長崎新聞販売センター

企画協力：ステップ・イースト

後援：長崎市、長崎県教育員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎県PTA連合会、長崎国際観光コンベンション協会、長崎県美術協会、長崎県社会福祉協議会、長崎県校長会、長崎県私立幼稚園連合会、長崎市私立幼稚園協会、長崎県保育協会、生活協同組合ララコープ、長崎県生活協同組合連合会、長崎商工会議所、長崎花市場、長崎花商協同組合、長崎県花き振興協議会、NHK長崎放送局、エフエム長崎、長崎ケーブルメディアほか（順不同）

観覧料：一般1,000(800)円、中高生700(500)円、3歳～小学生500(300)円、家族ペア券[一般+3歳～小学生]1,200円

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

※前売券は7月30日(木)まで販売

入場者数：44,422人（1日あたり1,058人）

出品点数：18点

関連事業：

(1)ワークショップ「魔法の万華鏡をつくろう」(*事前申込制)

日時：8月10日(日)、20日(木) 各日11:00～12:00、13:00～14:00

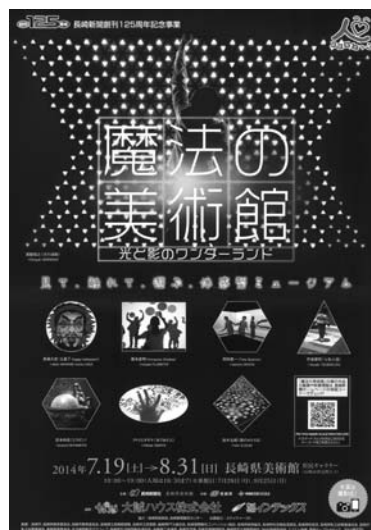
会場：アトリエ

講師：竹田克人(瑠璃庵)

対象：小中学生以上

参加費：2,000円(材料費込、別途観覧券が必要)

参加人数：計80人(10日:50人/20日:30人)



主要記事等：

- ・「作家が語る魔法の美術館(全5回)」『長崎新聞』7月25日～29日
- ・「特集魔法の美術館に行こう!(全3回)」『スーパーJチャンネルながさき』(NCC長崎文化放送)7月28日～30日
- ・荒木勝郎「変幻自在光と影」『長崎新聞』8月4日
- ・生中継『トコトン・サタデー』(NCC長崎文化放送)8月30日
- ・犬塚泉「メディアアート作品4万5000人楽しみ閉幕」『長崎新聞』9月1日

テオ・ヤンセンー砂丘の生命体ー

平成26年10月9日(木)～12月7日(日) *56日間 会場：企画展示室およびエントランスホール

概要：

進化論的な独自の視点により、風をエネルギーとしながら砂浜で生きるプラスチック・チューブの生命体「ストランド・ビースト」を生み出し続けるオランダ出身のアーティスト、テオ・ヤンセン（1948～）の活動を紹介。静的な展示に加え、毎日1時間おきに圧縮空気によってビーストを動かすデモンストレーションを実施するとともに、エントランスに押しつけて動きを体験できるビーストを設置した。

開催形態：共催展（自主企画）

運営体制：

主催：長崎県美術館、KTN テレビ長崎

共催：長崎新聞社、エフエム長崎

後援：オランダ王国大使館、在大阪・神戸オランダ王国総領事館、在長崎オランダ王国名誉領事館、日蘭協会、長崎日蘭協会、長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎ケーブルメディア

助成：在大阪・神戸オランダ王国総領事館

協賛：大和ハウス工業株式会社、長崎バスグループ、長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社、株式会社チョープロ

観覧料：

一般1,200 (1,000) 円、高校・大学・70歳以上1,000 (800) 円、小学・中学700 (500) 円

※小学生未満は無料

※（ ）は前売または15名以上の団体料金。

入場者数：20,039人（1日あたり358人）

出品点数：15点

関連事業：

(1)アーティストトーク（無料／要観覧券）

日時：10月12日(日) 13：30～

会場：企画展示室

参加人数：120名

(2)アーティストによるサイン会（2F 特設ショップでの対象商品購入者限定）

日時：10月9日(木)①11：00～、②15：00～／10日(金)③11：00～、④15：00～／11日(土)⑤11：00～、⑥13：00～、⑦15：00～、⑧16：15～／12日(日)⑨11：00～、⑩13：00～、⑪15：00～／13日（月・祝）⑫11：00～、⑬13：00～、⑭14：00～、⑮15：00～／15日(水)⑯11：00～、⑰13：00～、⑱15：00～

会場：2F カフェ前



参加人数：計354名（①22名、②9名、③21名、④23名、⑤11名、⑥30名、⑦28名、⑧7名、⑨30名、⑩28名、⑪65名、⑫15名、⑬18名、⑭12名、⑮18名、⑯5名、⑰5名、⑱7名）

(3)学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：10月19日(日)、11月9日(日)、30日(日) 各日14：00～

会場：企画展示室

参加人数：各回40名程度

(4)デモンストレーション（無料／要観覧券）

毎日1時間ごとに作品を動かすデモンストレーションを実施。（全560回）

時間：10：30～19：30

会場：企画展示室

作品：3体（アニマリス・プラウデンツヴェーラ2世、アニマリス・モデュラリウス、アニマリス・シアメシス）

(5)ワークショップ うごくヘンテコリンに挑戦！！（無料／※当日随時受付）

日時：①10月25日(土)、②10月26日(日) 各日11：00～16：00（最終受付15：30）

会場：アトリエ

参加人数：388名（①154名、②234名）

(6)熱くあおげ!! テオ・ヤンセン杯ミニビーストレース（無料）

日時：①8月16日(土)、②11月22日(土) 各日14：00～

会場：ホール

対象：小中学生（親子での参加も可）

参加人数：53組160名（①23組70名 ②30組90名）

(7)映画「おとなのかぐく」上映会（無料）

日時：11月28日(金)、29日(土)、30日(日)、12月6日(土) 各日11：00～、14：00～

会場：ホール

参加人数：計241名

主要記事等：

- ・アニマリス・オルデイス紹介「LoveFes 2014生放送 SP」
(KTN テレビ長崎) 9月27日
- ・「OUTSIDE TOKYO: Theo Jansen: Strandbeest」『The Japan Times』10月3日
- ・全枠中継『ヨジマル!』(KTN テレビ長崎) 10月9日
- ・犬塚泉「チューブが促す“進化”感動与える造形美に誇り」

- 『長崎新聞』10月15日
- ・『特集テオ・ヤンセンの世界』(KTN テレビ長崎) 10月20日、10月30日
- ・「砂丘の生命体がスタジオへ」『ヨジマル!』(KTN テレビ長崎) 10月30日
- ・『なんでんカフェ』(長崎ケーブルメディア) 11月14日

出品リスト：

番号	作品名	制作年	素材	サイズ (H×L×W, cm)	所蔵
1	アニマリス・ヴァルガリス	グルトン紀 (1990~1991)	プラスチックチューブほか	60×200×250	作家蔵
2	アニマリス・カレンス・ヴァルガリス	コルダ紀 (1991~1993)	プラスチックチューブほか	140×270×200	作家蔵
3	アニマリス・カレンス・ヴェントーサ	カリダム紀 (1993~1994)	プラスチックチューブほか	320×550×400	作家蔵
4	アニマリス・サプローサ・キューティス	カリダム紀 (1993~1994)	プラスチックチューブほか	300×800×180	作家蔵
5	アニマリス・ジェネティクス	テピディーム紀 (1994~1997)	プラスチックチューブほか	140×230×180	作家蔵
6	アニマリス・リノセロス・タブラエ	リグナタム紀 (1997~2001)	木、スチール	160×250×160	作家蔵
7	アニマリス・ヴェルミキュラス	ヴァボラム紀 (2001~2006)	プラスチックチューブほか	160×500×80	作家蔵
8	アニマリス・ルゴサス・ベリストハルティス	ヴァボラム紀 (2001~2006)	プラスチックチューブほか	50×130×40	作家蔵
9	アニマリス・カレンス・ヴァボリス	ヴァボラム紀 (2001~2006)	プラスチックチューブほか	185×185×290	作家蔵
10	アニマリス・ベルシビエーレ・プリマス	セレブラム紀 (2006~現在)	プラスチックチューブほか	270×1,000×200	作家蔵
11	アニマリス・ベルシビエーレ・レクタス	セレブラム紀 (2006~現在)	プラスチックチューブほか	240×1,000×200	作家蔵
12	アニマリス・オルデイス	セレブラム紀 (2006~現在)	プラスチックチューブほか	170×400×185	作家蔵
13	アニマリス・モデュラリウス	セレブラム紀 (2006~現在)	プラスチックチューブほか	320×1,200×185	作家蔵
14	アニマリス・シアメシス	セレブラム紀 (2006~現在)	プラスチックチューブほか	440×1,200×400	作家蔵
15	アニマリス・ブラウデンツ・ヴェーラ 2 世	セレブラム紀 (2006~現在)	プラスチックチューブほか	400×800×700	作家蔵

特別展 ガウディ×井上雄彦 –シンクロする創造の源泉–

会期：平成26年12月20日(土)～平成27年3月8日(日) *70日間 会場：企画展示室

概要：

バルセロナのサグラダ・ファミリア聖堂など、数々の傑作の設計者である近代スペインの建築家、アントニ・ガウディと、『SLAM DUNK』や『バガボンド』で知られる国民的漫画家、井上雄彦のユニークなコラボレーション展。ガウディの資料（図面、模型等）約100点と人間・ガウディを主題とした井上の描き下ろし作品で構成するという、これまでに類を見ないアプローチで巨匠の人生と作品世界に迫った。

開催形態：共催展（実行委員会方式／巡回展）

主催：長崎県美術館、NCC 長崎文化放送、東映

共催：AUREA、カタルーニャ工科大学建築学部ガウディ記念講座、朝日新聞社、長崎新聞社

後援：スペイン大使館、在福岡スペイン国名誉領事館、鹿児島県伊佐市、長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、九州朝日放送、yab 山口朝日放送、OAB 大分朝日放送、KAB 熊本朝日放送、KKB 鹿児島放送、九州旅客鉄道

協力：サグラダ・ファミリア聖堂建設財団、聖家族贖罪教会文書館、カタルーニャ財団ラ・ペドレラ、アイティープランニング、日経 BP 社、エールフランス航空

特別協賛：木下グループ 株式会社木下工務店

観覧料：

一般1,300(1,100)円、高校・大学生・70歳以上1,000(800)円、小・中学生700(500)円、越前和紙ブックカバー付2,000円

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

※前売および越前和紙ブックカバー付チケットは開幕の前日までの販売。

入場者数：30,644人（1日あたり438人）

出品点数：141点（ガウディ98点、井上43点）

関連事業：

(1)講演会「建築家ガウディ、そのユニークさ」（無料／要観覧券）

日時：12月20日(土) 14：00～15：30

場所：ホール

講師：鳥居徳敏（神奈川大学教授、展覧会日本側監修者）

参加人数：79人

(2)ワークショップ「ガウディさんと不思議な塔」（参加費500円）

日時：1月10日(土) 10：30～16：00（制作）／1月11日(日)



10：30～13：00（仕上げ）

場所：アトリエ

対象：小・中学生とその保護者

参加人数：9組17人

主要記事等：

- ・「ガウディの人間像井上雄彦さん迫る」『朝日新聞』12月20日
- ・上野洋光「人気漫画家が天才建築家に迫る きょうから県美術館で特別展」『西日本新聞』12月20日
- ・「美術館エントランスから番組生中継」『なんでんカフェ』（長崎ケーブルメディア）12月23日
- ・「井上雄彦インタビュー ガウディ届き得ぬ理想」『長崎新聞』1月7日
- ・「特集 ガウディ×井上雄彦展の魅力①」『スーパーJチャンネルながさき』（NCC 長崎文化放送）1月12日
- ・「特集 ガウディ×井上雄彦展の魅力②〈建築家・ガウディの半生〉」『スーパーJチャンネルながさき』（NCC 長崎文化放送）1月13日
- ・「特集 ガウディ×井上雄彦展の魅力③〈奇才ガウディの世界観〉」『スーパーJチャンネルながさき』（NCC 長崎文化放送）1月14日
- ・「特集 ガウディ×井上雄彦展の魅力④〈未完の世界遺産サグラダ・ファミリア〉」『スーパーJチャンネルながさき』（NCC 長崎文化放送）1月15日
- ・「インタビュー井上雄彦」『スーパーJチャンネルながさき』（NCC 長崎文化放送）1月15日
- ・「『スーパーJチャンネル九州沖縄、ながさき』（NCC 長崎文化放送）1月16日
- ・「『トコトンサタデー』（NCC 長崎文化放送）1月24日
- ・山崎聡「にじむ漫画家の敬意と愛情長崎で『ガウディ×井上雄彦』展」『朝日新聞』2月10日

・「時空を超えた奇跡のコラボレーション建築家ガウディ×
漫画家井上雄彦」『美振 No. 103春号』（NPO 法人長崎市
美術振興会）2月下旬

出品リスト：

1. ガウディ関連

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
1	ジュアン・マタマラ	アントニ・ガウディ胸像	1924年	ブロンズ	43.5×26.5 ×27	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
2	アントニ・ガウディ	栈橋の計画案：側面図 「建築設計Ⅱ」科目年間 賞への応募課題設計	1876年 10月19日	紙に水彩、イン ク、鉛筆	48×63.5	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
3	アントニ・ガウディ	栈橋の計画案：配置図 「建築設計Ⅱ」科目年間 賞への応募課題設計	1876年 11月8日	紙にインキング	47.5×62.5 縮尺： 1/1000	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
4	アントニ・ガウディ	大学講堂：横断面 卒業設計（建築家資格認 定試験）	1877年 10月22日	化繊紙に鉛筆、 水彩、グアッ シュ	65×90 縮尺： 1/50	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
5	アントニ・ガウディ	大学講堂：平面図 卒業設計（建築家資格認 定試験）	1877年 10月18日	紙に鉛筆、水彩	46.5×59.5 縮尺： 1/100	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
6	アントニ・ガウディ	大学講堂：縦断面図 卒業設計（建築家資格認 定試験）	1877年 10月22日	紙に鉛筆、水彩、 グアッシュ	65×116.2 縮尺： 1/50	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
7	アントニ・ガウディ	大学講堂：内観透視図 卒業設計（建築家資格認 定試験）	1877年 10月22日	紙に鉛筆	50×62.5	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
8	アントニ・ガウディ	大学講堂：細部 卒業設計（建築家資格認 定試験）	1877年 11月	紙に鉛筆、水彩、 グアッシュ	151×84.5 縮尺： 1/5	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
9	アントニ・ガウディ	モンセラール（モンセラ ート）修道院付属聖堂、頭 部側立面図 建築家フランシスコ・ デ・パウラ・デル・ピ リヤール、ガウディによ る製図	1876年	カートン紙で裏 打された図面	114×79 （複製図面、 59×36）	モンセラート修道院	
10		アントニ・ガウディのピ ジネスカード ※ジュアン・マタマラに よる複製	1878年の 建築家の 資格取得 後	紙にインク	7.2×10.6	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
11	マタロ労働者組合、 配置図		1881年	リトグラフ	62.1×83	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
12	アントニ・ガウディ ※建築家ジュアン・マ ルトゥレイ（マルト レル）計画、ガウディ 製図	バルセロナ大聖堂大正面 計画案	1882年 ※新聞 「ラ・ラ ナッシュ エンサ」(バ ルセロナ、 1887年) に掲載	新聞紙上に掲載 されたリトグラ フ	87.7×63.4	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
13	リュイス・ブネート・ ガリ（ボネット・ガ リ）	サンタ・テレサ学院、正 面（ファサード）詳細図	1957年	トレーシング ペーパーにイン キング	128.85× 72.85	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
14	(未陳)						
15	リュイス・ブネート・ ガリ（ボネット・ガ リ）	サンタ・テレサ学院、横 断面図	1957年	トレーシング・ ペーパーにイン キング	71.65× 65.4	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
16	アントニ・ガウディ	ボティーネス館、グスマ ネス館に面した角地の塔、 詳細図	1891年	透明薄綿紙にイ ンク	138×92	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	
17		ボティーネス館模型		石膏、木材、メ タクリル樹脂	45×50×40 縮尺： 1/50	カタルーニャ＝ラ・ベドレ ラ財団	制作：カタルーニャ工 科大学バリエス建築学 部模型制作室、制作指 導：ラウラ・バリング

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
18	ジュゼップ・マリア・アルマンゴール	ガウディ家家系図	1936年	紙にインク	32×22	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
19	ジュアン・マタマラ	グエル公園ガウディ自邸、1950年頃 食堂での家族団欒	1950年頃	厚紙に鉛筆、木炭、インク	19.5×25.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
20	フランセスク・バランゲー	グエル公園内のガウディ自邸、正面スケッチ	1905年頃	トレーシングペーパーに鉛筆	15.5×10.2	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
21	アントニ・ガウディ [フランセスク・バランゲー]	グエル公園内ガウディ自邸、1-2階平面図	1905年 10月	透明薄綿紙、インク、水彩	65×55.5 縮尺： 1/50	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
22		カイ通りガウディ事務所用の自らデザインした机	1928年	ガラス版ネガからの焼付	18×24	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	1936年サグラダ・ファミリア事務所火災時に焼失。
23	ジュアン・マタマラ	1876年のアントニ・ガウディの肖像	1950年頃	紙に鉛筆と木炭	28.8×19.4	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
24	ジュアン・マタマラ	ジュゼップ・マリア・ブカベリヤ（ボカベリヤ）の肖像	1950年頃	紙に木炭	29×19.3	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
25	ジュアン・マタマラ	アウゼビ・グエイ（グエル）の肖像	1950年頃	紙に木炭	29×19.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
26	ジュアン・マタマラ	1879年のアドゥアルド・ブンティの肖像	1950年頃	紙に鉛筆	22.5×15	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
27	ジュアン・マタマラ	1879年のアステーバ・クメーリヤ（コメーリヤ）の肖像	1950年頃	紙に鉛筆と木炭	22.7×15	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
28	ジュアン・マタマラ	大聖堂でのアントニ・ガウディ、1924年頃	1950年頃	紙に鉛筆、木炭	33×23.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
29	リカルト・ウピース（オビッソ）	フランセスク・ダシス・ビダル・イ・バラケーを伴うガウディ、背景にサグラダ・ファミリア	1907年頃	紙に木炭、水彩	24×17cm	タラゴーナ・クララソ・コレクション、バルセロナ	
30	アントニ・ガウディとフランセスク・バランゲー（ベレンゲール） 制作者：バディア兄弟工房	ダミアー・マテウ邸、通称「ラ・ミランダ」の門扉の鉄索	1906年	錬鉄	210×95	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
31	アントニ・ガウディ	クメーリヤ（コメーリヤ）革手袋店ショーケース、スケッチ ガウディの名刺の裏面に描かれる	1877年	紙に鉛筆、インク、水彩	8×12	レウス市博物館局	複製
32		グエル館、地下・1階・中2階・主階（2階）平面図	1910年	リトグラフ印刷	55×36.5 縮尺： 1/250	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
33		グエル館、3階・中3階・4階・屋上平面図	1910年	リトグラフ印刷	55×36.5 縮尺： 1/250	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
34		グエル館、a-b 断面図	1910年	リトグラフ印刷	55×36.5 縮尺： 1/150	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
35		グエル館、円柱	1910年	リトグラフ印刷	40×60	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
36		グエル館、円柱	1910年	リトグラフ印刷	40×60	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
37		グエル館 [パラウ・グエイ] の中央クーボラとその両側の横断面模型		石膏	65×34×30 縮尺： 1/50	カタルーニャ＝ラ・ベドレラ財団、バルセロナ	制作：カタルーニャ工科大学バリエス建築学部模型制作室、制作指導：ラウラ・バリング

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
38	アントニ・ガウディ	グエル公園、正門、および2小館（門衛館と待合館）	1904年 10月26日	透明薄綿紙にインクと彩色	62×90	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
39		グエル公園〔パーク・グエイ〕：配置図	1905年頃	青写真	75x57 縮尺： 1/1000	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
40	アントニ・ガウディ	グエル公園：破碎タイル被覆の6角形ピース	1903年頃	レンガ下地破碎タイル被覆	58×59×13	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	制作：イホ・デ・ジャウマ・プジョール・イ・バウシス
41	アントニ・ガウディ	グエル公園：破碎タイル被覆の6角形ピース	1903年頃	レンガ下地破碎タイル被覆	58×59×13	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	制作：イホ・デ・ジャウマ・プジョール・イ・バウシス
42	イシドラ・ブッチ・ブアーダ（ブッチ・ボアーダ）	コロニア・グエルの地下礼拝堂の天井伏図	1972年	トレーシングペーパーにインキング	121.2× 69.2 縮尺： 1/50	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
43	アントニ・ガウディ	コロニア・グエル教会堂のスケッチ	アントニ・ガウディ自筆のスケッチ（1908年）に基づき、1976年に制作	リトグラフ Ed.：13/20	75.4×55	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
44	アントニ・ガウディ	カサ・バトリヨ〔カザ・バトリヨール〕、正面計画のスケッチ	1903- 1906年頃	紙に鉛筆	49.5×67.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
45	リュイス・ブネット・ガリ	カサ・バトリヨ〔カザ・バトリヨール〕：正面図	1958年	トレーシングペーパーにインキング	91.5×38	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
46	リュイス・ブネット・ガリ	カサ・バトリヨ〔カザ・バトリヨール〕：背面図	1958年	トレーシングペーパーにインキング	91.5×37.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
47	リュイス・ブネット・ガリ	カサ・バトリヨ〔カザ・バトリヨール〕：主階（2階）平面図	1958年	トレーシングペーパーにインキング	37×117	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
48	リュイス・ブネット・ガリ	カサ・バトリヨ〔カザ・バトリヨール〕、横断面図	1958年	トレーシングペーパーにインキング	91.5×37.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
49	アントニ・ガウディ	カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：正面図	1906年 2月	透明薄綿紙にインキング	50.5×92 縮尺： 1/100	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
50	アントニ・ガウディ	カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：4階平面図	1906年 2月	透明薄綿紙にインキング	46×83.5 縮尺： 1/100	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
51	アントニ・ガウディ	カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：パティオ断面図	1906年 2月	透明薄綿紙にインキング	47.5×39	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
52		カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：基準階水平断面		石膏模型	7×80×50 縮尺： 1/75	カタルーニャ＝ラ・ベドレラ財団、バルセロナ	制作：カタルーニャ工科大学バリエス建築学部模型制作室、制作指導：ラウラ・バリリング
53		カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕、通称ラ・ベドレラ（石切場）		石膏模型	145.4×240×180 縮尺： 1/150	カタルーニャ＝ラ・ベドレラ財団、バルセロナ	制作：カタルーニャ工科大学バリエス建築学部模型制作室、制作指導：ラウラ・バリリング
54	ジュアン・マタマラ	カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：階段塔スケッチ	1950年頃	紙にインク	18×16.3	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
55	ジュアン・バルゴス	カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：階段塔スケッチ	1952年頃	トレーシングペーパーにインク	23.7×17	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
56	ジュアン・バルゴス	カサ・ミラ〔カザ・ミラー〕：換気塔スケッチ	1952年頃	トレーシングペーパーにインク	20×13.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
57		カサ・ミラ [カザ・ミラー] : 換気塔模型		ブロンズ	55×20	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
58		カサ・ミラ [カザ・ミラー] : 対煙突模型		ブロンズ	35×11×10	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
59		カサ・ミラ [カザ・ミラー] : 煙突模型		ブロンズ	37×8×8	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
60	アントニ・ガウディ 制作所:カザス・イ・バルデス工房	カルベート氏執務室肘掛椅子	1899年	くるみ材	101×67×57	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
61	アントニ・ガウディ 制作所:カザス・イ・バルデス工房	カルベート氏の執務室洋服掛け	1899年	くるみ材と錬鉄	23×22×24	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
62	アントニ・ガウディ [デザイン]	カサ・カルベート:ベンチ		樫材	80×100×50	個人蔵、バルセロナ	複製
63	アントニ・ガウディ [デザイン]	カサ・バトリヨ [カザ・バトリヨ] の食堂の椅子		オーク材	75×53×48	インスティトゥート・ダルト・イ・インバステイガシオー、バルセロナ	複製
64	アントニ・ガウディ 制作者:カザス・イ・バルデス工房	カサ・バトリヨ [カザ・バトリヨ] の扉	1906年	樫材	207×69×5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
65	アントニ・ガウディ 制作者:カザス・イ・バルデス工房	カサ・バトリヨ [カザ・バトリヨ] のモールディング・欄間板付扉枠	1906年	樫材	290×133×23	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
66	アントニ・ガウディ 制作者:カザス・イ・バルデス工房	カサ・バトリヨ [カザ・バトリヨ] の欄間板	1906年	樫材	84×134.5×5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
67	アントニ・ガウディ 制作者:カザス・イ・バルデス工房	カサ・バトリヨ [カザ・バトリヨ] の二枚扉	1906年	樫材	各207×35×3.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
68	アントニ・ガウディ 制作者:カザス・イ・バルデス工房	カサ・ミラ [カザ・ミラー] の扉	1910年頃	樫材	223×103×4.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
69	アントニ・ガウディ (デザイン)	カサ・ミラ [カザ・ミラー] の扉の取っ手		真鍮		カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	複製
70	アントニ・ガウディ 制作者:カザス・イ・バルデス工房	カサ・ミラ [カザ・ミラー] の寄せ木張りの床	1910年頃	樫材とポプラ材	50×43×2	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
71	アントニ・ガウディ (デザイン)	カサ・バトリヨ [カザ・バトリヨ] とカサ・ミラ [カザ・ミラー] : 六角形の床タイル		海洋生物レリーフ着色セメント製タイル	各25×25×3	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	「国際ガウディ年」(2002年)でのアスクフェット社複製
72	アントニ・ガウディ 制作者:バディア兄弟工房	カサ・ミラ [カザ・ミラー] 正面の窓細工	1910年頃	錬鉄	40×251×4	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
73		サグラダ・ファミリア聖堂、模型		石膏、シアノアクリレート	52×45×52	サグラダ・ファミリア聖堂(バシリカ)、バルセロナ	制作:サグラダ・ファミリア聖堂模型室
74	フランシス・デ・パウラ・デル・ビリャール	サグラダ・ファミリア聖堂、平面・配置図	1882年頃	紙にインキング	38×50 縮尺: 1/500	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
75	ラムン・バランゲー	サグラダ・ファミリア聖堂、ガウディの計画に基づく天井ヴォールト伏図	1959年 12月	トレーシングペーパーにインキング	101×73 縮尺: 1/100	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
76	ジュアン・マタマラ	サグラダ・ファミリア聖堂:受難の正面	1949年	紙に鉛筆	49×34.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
77	ジュアン・マタマラ	サグラダ・ファミリア聖堂:栄光の正面、初期案	1950年	厚紙に鉛筆	70×50	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
78	ジュアン・マタマラ	サグラダ・ファミリア聖堂内観	1949年	紙に鉛筆	68×49	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
79		サグラダ・ファミリア聖堂、聖器室、クーボラ模型		石膏	118×71×71 縮尺： 1/25	サグラダ・ファミリア聖堂（バシリカ）、バルセロナ	制作：サグラダ・ファミリア聖堂模型室
80		受難の正面、前廊：円柱模型		石膏	29.5×19×9	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
81		サグラダ・ファミリア聖堂、ロザリオの扉口、採光塔模型		石膏	40×17.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
82		サグラダ・ファミリア聖堂、側廊、ピナクル模型		石膏	48×19×19	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
83		サグラダ・ファミリア聖堂、主身廊高窓、模型		石膏	110.5×30×10	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
84		サグラダ・ファミリア聖堂、側廊、採光塔模型		石膏	35×18×16.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
85		サグラダ・ファミリア聖堂、主身廊、円柱結束部（柱頭）模型		石膏	46.5×24×29	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
86	ジュアン・マタマラ	サグラダ・ファミリア聖堂：鐘塔の内部鉄材補強骨組	1950年頃	紙に鉛筆	29×33.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
87	ジュアン・マタマラ	サグラダ・ファミリア聖堂、サン・バルナベの鐘塔、筒状の鐘	1950年頃	紙に鉛筆とインク	15.5×20	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
88		筒状の鐘、試作	1983年	ブロンズ	96×14.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	サグラダ・ファミリア聖堂カリヨン式鐘塔用にガウディがデザインした最終モデルに基づく。ジュアン・バセゴダの指導に従い、彫刻家増田感が制作。
89		サグラダ・ファミリア聖堂、受難のファサード（正面）、鐘塔頂華		石膏	175×60×47.5 縮尺： 1/10	サグラダ・ファミリア聖堂（バシリカ）、バルセロナ	制作：サグラダ・ファミリア聖堂模型室
90	撮影者不明	アントニ・ガウディによるサグラダ・ファミリア聖堂：受難の正面、最終案	1923年頃	ガラス版ネガからの焼付	50×22.5	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
91	撮影者不明	アントニ・ガウディによるサグラダ・ファミリア聖堂外観スケッチ	1902-1926年	ガラス版ネガからの焼付	50×38	サグラダ・ファミリア聖堂（バシリカ）、バルセロナ	
92	撮影者不明	サグラダ・ファミリア聖堂、身廊部横断面図	1952年	ガラス版ネガからの焼付	40×25	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
93	ジュアン・ルビオー・イ・バイバー	サグラダ・ファミリア聖堂完成予想図（1905年に全面的にガウディによりデザインされる）	1906年	紙にインクとクレヨン	21×29	サグラダ・ファミリア聖堂（バシリカ）、バルセロナ [ジベルト・マス家より譲渡]	複製
94	撮影者不明	フランシスコ・デ・パウラ・デル・ピリャールによるサグラダ・ファミリア聖堂計画面案、正面図	1882年	ガラス版ネガからの焼付	50×47	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	
95	アントニ・ガウディ	新道路整備計画に基づくサグラダ・ファミリア聖堂の景観図	1916年10月	透明薄綿紙にインキング、着色	54×69 縮尺： 1/2000	バルセロナ市現代公文書館	複製
96	ピカロール [ジュゼップ・コスタ・ファレル]	サグラダ・ファミリア聖堂の墓地	1916年	水彩紙に水彩ペン画	28.5×64	カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座、バルセロナ	雑誌『ラスケーリャ・ダ・ラ・トゥラチャ』（バルセロナ、1916年12月15日）掲載

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵	備考
97	ピカロール [ジュゼッ プ・コスタ・ファレー ル]	サグラダ・ファミリア聖 堂の新墓地の門衛たち	1916年	水彩紙に水彩ペ ン画	32.5×45	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	雑誌『ラスケーリャ・ ダ・ラ・トゥラチャ』 (バルセロナ、1916年 12月22日)掲載
98	ピカロール [ジュゼッ プ・コスタ・ファレー ル]	外国人の関心の的	1923年	水彩紙にペン画 に青鉛筆	32.5×44.5	カタルーニャ工科大学バル セロナ建築学部ガウディ記 念講座、バルセロナ	雑誌『ラスケーリャ・ ダ・ラ・トゥラチャ』 (バルセロナ、1923年 6月1日)掲載

2. 井上雄彦

番号	作者名	制作年	技法	サイズ (cm)	所蔵
1	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	240×240	アイティーブランニング
2	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔彩、胡粉	42×29.7	アイティーブランニング
3	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
4	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
5	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
6	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
7	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔彩	42×29.7	アイティーブランニング
8	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
9	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
10	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×59.4	アイティーブランニング
11	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
12	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
13	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
14	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔彩、胡粉	42×29.7	アイティーブランニング
15	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔彩、胡粉	42×29.7	アイティーブランニング
16-24	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	60×60 (全9点)	アイティーブランニング
25	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
26	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
27	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
28	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料	42×29.7	アイティーブランニング
29	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
30	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
31	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
32	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
33	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
34	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
35	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
36	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
37	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨	42×29.7	アイティーブランニング
38	井上雄彦	2014年6月26日	和紙、墨、顔料、胡粉	42×29.8	アイティーブランニング
39	井上雄彦	2014年6月20日	和紙、墨、顔料、胡粉	200×200	アイティーブランニング
40	井上雄彦	2014年6月25日	色付き和紙、墨、顔料、顔彩、胡粉	103×145.6	アイティーブランニング
41	井上雄彦	2014年6月25日	色付き和紙、墨、顔料、顔彩、胡粉	84.1×118.9	アイティーブランニング
42	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、胡粉	20×20	アイティーブランニング
43	井上雄彦	2014年6月25日	和紙、墨、顔料、顔彩、胡粉	330×1070	アイティーブランニング

木梨憲武展×20years INSPIRATION—瞬間の好奇心

平成27年 3月6日(金)～4月12日(日) *36日間 会場：県民ギャラリー

概要：

木梨憲武が制作を始めた1994年頃から最新作まで約20年に渡って制作された絵画を中心に、ドローイング、オブジェ、映像など、300点を超える作品の数々で独創的な「木梨ワールド」を紹介した。長崎会場から、新作「フェアリーズ 妖精たち」が本格展示され、約1,000体に及ぶダンボールの作品が展示された。

開催形態：共催展（受託方式／巡回展）

運営体制：

主催：KTN テレビ長崎、長崎県美術館

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、エフエム長崎

特別協力：コッカ

企画制作：産経新聞社、imura art planning

観覧料：一般・大学生1,100円（900円）、中高生800円（500円）、小学生以下無料

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

入場者数：31,558人（1日あたり877人）

出品点数：約300点

関連事業：

託児サービス

日時：3月14日(土)、24日(火)、29日(日) 10：30～13：30

※1時間以上30分単位

場所：講座室

対象年齢：1歳～未就学児（同時預りの定員は5人）

料金：1時間300円（1時間以上は30分毎150円／※要観覧券）

託児委託先：保育サポーターひまわり

利用者数：7名

主要記事等：

- ・生中継『ヨジマル』（KTN テレビ長崎）3月5日
- ・「インタビュー木梨憲武」『なんでんカフェ』（長崎ケーブルメディア）3月9日、20日
- ・特集『めざましテレビ』（フジテレビ）3月11日
- ・犬塚泉「自由な発想おどる木梨憲武展きょう開幕」『長崎新聞』3月6日
- ・「インタビュー木梨憲武」『LiaLai』（エフエム長崎）3月9日
- ・特集「アートな旅に出かけよう」『はれ予報／4月号』3月20日



2) コレクション展

※「渡辺千尋の仕事」展（平成26年3月14日～6月8日／常設展示室第1・2室）は平成25年度年報に掲載した。

釜山市立美術館所蔵品展—路地に建てられた都市 釜山

平成26年11月11日(火)～平成27年1月12日(月・祝) *56日間 会場：常設展示室第1室

概要：

2011年に正式な交流協定を締結した釜山市立美術館との所蔵品交換展。本年度は釜山市立美術館の所蔵品展を長崎県美術館において開催した。釜山ゆかりの作家が描いた釜山に関連した作品を展示することにより、釜山市の特色を紹介する内容とした。

開催形態：自主企画（実行委員会方式）

主催：日韓文化交流事業実行委員会（長崎県美術館、長崎県、長崎県教育委員会）、釜山市立美術館

観覧料：無料

入場者数：9,484人（1日あたり169人）

出品点数：17点

※本展は、平成26年度文化芸術振興費補助金による「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」の一環として開催された。

出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
1	オ・ウナム	子供たちの解放	2000	油彩・カンヴァス	227×181	
2	オ・ウナム	空き地1	2009	油彩・カンヴァス	72.5×91	
3	グォン・フンチル	太宗台（未完成）	不詳	油彩・カンヴァス	各130×130	2点組
4	チェ・ミンシク	釜山2002	2002	ゼラチンシルバープリント（セレン調色）	33.5×50.5	
5	チェ・ミンシク	釜山2006	2006	ゼラチンシルバープリント（セレン調色）	50.5×33.5	
6	キム・ウンジュ	無題	1997	鉛筆・紙	200×440	4点組
7	キム・アタ	On Air Project 077-1, 077-2, 077-3, 077-4, 077-5, The Last Supper, 13 People	2007	クロモジュニックプリント	140×880	5枚組
8	パク・サンホ	B.D.-Busan # 2	2010	ピグメントプリント	80×175.7	
9	キム・チュンジン	即興-チャガルチ印象	2001	油彩・カンヴァス	91.0×116.8	
10	パク・ビョンチュン	釜山港へ帰れ	2008	チョーク・黒板	120×240	
11	キム・ボムソク	釜山連作シリーズ	2008	インク・紙	173×139	
12	アン・セグォン	釜山、国際市場が見える風景Ⅱ	2008	トランスペアレンシー、LEDライトボックス	57×81	
13	キム・デユン	海と人	2007	アクリル・カンヴァス	97×162.2	
14	キム・ジョンホ	島について	2000	アクリル・カンヴァス	178×204.5	
15	キム・ナムジン	歩いて登る男	1998	油彩、ミクストメディア・カンヴァス	162×130	
16	キム・ホンヒ	青い放浪（光）	2001	デジタルカラープリント	98.5×150	ed. 3/12
17	キム・ホンヒ	青い放浪（信号）	2001	デジタルカラープリント	100×151	ed. 3/12



主要記事：

・犬塚泉「長崎と釜山共通性に感銘 心象、社会批判幅広い表現 韓国の代表的写真家金弘熙さん」『長崎新聞』11月21日

トミタリアー富田一彦の世界ー

平成27年1月16日(金)～3月15日(日) *55日間 会場：常設展示室1・2室

概要：

長崎県出身のプロダクトデザイナー・富田一彦の仕事を総覧する展覧会。イタリア・ミラノを拠点とした活動により国内外で高く評価されてきた彼の世界の全貌を、家具から、食器、日用品まで多彩なプロダクトで紹介した。長崎県内はもとより国内外の伝統産業とのコラボレーションにも焦点を当てた。

開催形態：自主企画

主催：長崎県美術館

後援：イタリア大使館、イタリア文化会館、在日イタリア商工会議所、公益財団法人石川県デザインセンター、長崎県産業デザインネットワーク、長崎県、長崎市、諫早市、大村市、島原市、松浦市、波佐見町、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎日伊協会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、九州朝日放送

協力：NUSSHA japan、株式会社稲沢鐵工、社会福祉法人おさなご園

協賛：トミタリア展サポーター

観覧者数：16,237人（1日あたり295人）

出品点数：109件

関連事業：

- (1) ワークショップ「ようこそセンパイ！富田流 波佐見焼の絵付けデザイン」P45参照
- (2) 記念講演会「トミタリア的世界観」P45参照
- (3) 作家によるギャラリートーク&食事会
日時：2月21日(土) 17:00～20:00
場所：常設展示室、Trattoria Bar Saltare
参加人数：35人
- (4) トミタリアホワイトデーピアノ（要観覧券）
日時：3月14日(土) 17:00～18:00
場所：常設展示室
出演者：納富景子（ソプラノ）、山浦直子、志水香惟（ピアノ）
参加人数：80人



- (5) 担当学芸員によるギャラリートーク（要観覧券）
日時：1月25日(日)、3月1日(日) 各回15:00～
場所：常設展示室
参加人数：各回10人程度

主要記事等：

- ・「メイド・イン・ナガサキ 富田一彦さんのデザイン」『ながさきプレス』株式会社ながさきプレス、vol. 385、2014年11月、p. 91
- ・「思い思いの発想楽しさ伝授 母校の大浦小波佐見焼の絵付けなど指導」『長崎新聞』2015年1月13日
- ・「『富田一彦の世界』16日から県美術館で 『すーすーす』や『とととと』」『島原新聞』1月15日
- ・「特番 トミタリア・富田一彦の世界」『あっぷる』（NBC長崎放送）1月21日
- ・「特集 トミタリア～プロダクトデザイナー富田一彦～」『ケーブルワイドなんでんカフェ』（ncm長崎ケーブルメディア）1月31日
- ・「古里産品アレンジ世界発信 長崎市出身のデザイナー・富田一彦さん作品展」『朝日新聞』2月21日
- ・「トミタリア 富田一彦氏インタビュー」『ナガサキデザインニュース』（インターネット）長崎都市・景観研究所、3月2日
- ・「はたらくひとたち プロダクトデザイナー TOMI-TADESIGN 富田一彦さん」『とととと』長崎新聞社、3月8日

出品リスト：

番号	作品名	発表年	種別	素材	サイズ (cm)	メーカー
1：マクロコスモスとしてのトミタリアー 初期作品と家具を中心に						
1	SU-SU-SU	1996	椅子	籐	h72×w66×d64	Vittorio Bonacina
2	FUK series	1998	ソファ、オットマン	木、スウェード	fuk: h72×w60×d69 fukpuk: h72×w134×d69 ottoman: h38×w60×d51	川端装飾
3	BANANA	2003	ラウンジチェア	籐	ottoman: h22×w80×d65 lounge chair: h22×w80×d130 chaise longue: h74×w80×d166	ARCADE
4	DEJIMA	1997	ソファ	木、皮革	h68×w180×d80	意匠二次元半
5	FUTTON	2007	ラウンジチェア	スチール、布（金襴）	h64×w116×d100	MOROSO
6	MICADO	2007	スツール	スチール、布（金襴）	h74×37×37	MOROSO
7	UkiYo	2006	サイドテーブル	スチール、合成樹脂、布	Rect: h42×w55×d40 Rd: h42×Φ42	MOROSO
8	Ely	2004	椅子	スチール、フェルト	h100×w135×d77	COVO
9	GRULI	2006	クッション	スウェード、ポリウレタン	S: Φ40 M: Φ55	TOMITADESIGN
10	SCALATTA	2006	階段	鉄、木	h280×w80×d300	稲沢鐵工
11	PITZICA-PITZICA	1994	照明	陶、鏡	h13×Φ42	VENTI MOSAICI ARTISTI
12	TOYAMANO	1994	照明	石、鏡	h30×w44	VENTI MOSAICI ARTISTI
13	WHOJIN-RHAIJIN	1994	ミラーテーブル	木、アルミ、鏡	h42×58×58	VENTI MOSAICI ARTISTI
14	RainAgain (negative)	2006	タペストリー	スウェード、クリスタル・ガラス	h280×w125	TOMITADESIGN
15	RainAgain (positive)	2006	タペストリー	スウェード、クリスタル・ガラス	h280×w125	TOMITADESIGN
16	COVO SHOP	2000	ショップ（インテリア・デザイン）	（写真パネル・模型）	—	COVO
17	VISTA LONTANA	1998	中庭、壁画	（写真パネル）	壁画：h220×w370 庭園：1000×1000（いずれも実寸）	意匠二次元半
18	Bond in Diversity	2011	インスタレーション	布	h280×w1900	Dyloan Studio
19	親子カバの家	2012	子育て支援センター（立案監修）	（写真パネル・模型）	—	TOMITADESIGN, HAG 環境デザイン、PAL 構造
20	Life Collage	1988	ふすま絵	クラフト紙、和紙、アクリル絵具	01：h88×w221 02：h173×w80 03：h173×w80 04：h173×w80 05：h190×w88	卒業制作（千葉大学）
21	Lines Collection	1990	キャンドルホルダー	スチール	h30×w16×d16	—
22	ZEN' jubako audio	1989	ステレオシステム（模型）	木、紙、合成樹脂	h14×w13×d13	卒業制作（千葉大学）
23	WAVE' door	1991	自動ドア（模型）	ステンレス	h220×w400（実寸）	—
24	Hadaka-no piano 'Aria'	1992	ピアノ	鉄、ドイツトウヒ	h150×w127×d60	卒業制作（ロイヤル・カレッジ・オブ・アート）
25	Lines Collection	1990	キャンドルホルダー	スチール	h10×w20×d18	—
26	PaPiPuPePo candelabra	1994	燭台	真鍮、銀メッキ	h9×w31	意匠二次元半
27	PaPiPuPePo vase	1994	フラワーベース	真鍮、銀メッキ	h24.5×φ13	意匠二次元半
28	AHHA & UHHU	1993	照明	鉄、スタンドグラス	h40×Φ50	意匠二次元半
29	BOONA	1998	照明	ステンレス、籐	h25×Φ35	林辰産業
30	PICAHON	1997	照明	再生紙	h30×w22×d5	ARBOS
31	YU-SHUANG	1993	フラワーベース	ヴェネチアン・グラス	h18×Φ45	ARCADE
32	LOVERS' BUMP	1997	ホイッスル	紙粘土、アクリル絵具	h150×Φ165	意匠二次元半
33	PACAPA VASE	1997	フラワーベース	磁器	h24×w22×d14	意匠二次元半
34	STARS	1994	蓋物	陶器	h11×Φ17	ARCADE ほか
35	MITO	2010	テーブル、椅子	トリネコ	—	ARCADE
36	TRENTO	2005	可動オブジェ	ガラス、大理石	—	Atelier Italiane
37	SPIRALS	1995	プレート	ガラス	—	—
38	アイデアスケッチ	1990年代	スケッチ	紙、鉛筆	—	意匠二次元半

番号	作品名	発表年	種別	素材	サイズ (cm)	メーカー
2 : ミクロコスモスとしてのトミタリア ー食器、花器、生活用品を中心に						
39	TOTTOTTO Y-pot	1995	ティーポット	磁器	h19×w9.5×d19	TOMITADESIGN
40	TOTTOTTO series	1996	食器	磁器	cup : h7.5×Φ7.6 saucer: Φ15.2 pasta dish: Φ20.5 salad dish: Φ18 meat plate: Φ24	TOMITADESIGN
41	MORODE porcelain	1998	食器	磁器	soup plate: h5×Φ15 pasta plate: h3.8×Φ20 dessert plate: h2.6×Φ19.4 dinner plate: h2.8×Φ25 serving plate: h3.5×Φ31.4 teapot: h12.6×w22.5 suger pot: h11.8×Φ8.4 creamer: h5.8×Φ5.8 coffeecup: h5.8×Φ5.8 saucer: h1.6×Φ11.4 tea cup : 7.4×Φ7.4 saucer: h2.2×Φ14.5	COVO
42	MORODE cutlery	2001	カトラリー	ステンレス	serving fork: l24.5×w6.6 serving spoon: l24.5×w6.6 table fork: l20.5×w2.7 table knife: l22.5×w1.9 table spoon: l20.5×w3.8 dessert fork: l17.2×w2.4 dessert knife: l19.5×w1.9 teaspoon: l14×w2.8 cofee spoon: l12×w2.5 rest:Φ2	COVO
43	MORODE glass	1999	グラス	ガラス	flute: h13×Φ5.8 wine: h9.7×Φ7.8 sake: h7.2×Φ6.7 whisky: h7×Φ8.7 tumbler: h5.7×Φ5.5	COVO
44	VOB	2002	フラワーベース	ガラス	h23×Φ23	COVO
45	WONDER 3	2003	フラワーベース	ガラス	h35×Φ15	COVO
46	PLULUN	1999	グラス	ガラス	flute: h10.1×Φ7.7 water: h6.9×Φ9.1 wine: h6×Φ8 tumbler : 4.3×Φ5.5	COVO
47	MILMIL	2000	食器	磁器	suppwang-S: h7×Φ11.6 ciauwang-M: h6×Φ11.3 freecup: h8×Φ8.5 gubicup: h6.2×Φ6 salsa: h2.7×Φ10.7 quador: h4×15.7×15.7 chopsticks: l23×w0.8 rector: h1.2×w11.5×l16.8 teapot: h15×Φ13.5 plate-M: h2.7×Φ18	COVO
48	CIACAPO	2001	ティーポット	鉄	h14×Φ12	COVO
49	SICAMBA	2000	鍋敷き	鉄	h1.5×w32×20	COVO
50	PARADE	2005	食器	磁器	rectangular plate L: h1.8×w16.2×d20.2 rectangular plate M: h1.8×w13.2×d16.2 square plate XL: h1.8×20.2×20.2 square plate L: h1.8×16.2×16.2 square plate M: h1.8×13.2×13.2 square plate S: h1.8×10.8×10.8 square bowl S: h4.4×8.6×8.6 coffe cup: h6.2×6×6 tea cup: h8.8×8.6×8.6	COVO
51	MOCCA	2001	カップ、ソーサー	磁器	bomm cup : h5×Φ5.8 bomm saucer : h2.2×w20×d12 pancha cup : h4×Φ5.8 pancha saucer : h2×Φ10.8 nazo cup : h5.9×Φ6 nazo saucer : h1.5×Φ12	COVO
52	LAGULA	2002	コーヒーカップ	磁器	~h6×Φ5	COVO

番号	作品名	発表年	種別	素材	サイズ (cm)	メーカー
53	VIGAVÌ	2001	食器	磁器	salad plate: h2.5×Φ23.5 dinner plate: h2.5×Φ26.5 pasta plate: h3.5×Φ22 soup bowl: h5.2×Φ16	COVO
54	MAMIÙ	1999	食器	磁器	dessert plate: h2.5×Φ18 pasta plate: h4×Φ21 dinner plate: h2.5×Φ25.2 serving plate: h3.5×Φ30 cofee cup: h6.2×Φ6.8 teacup: h8×Φ9.2 tea saucer: h2.5×Φ14.2 soup plate: h6×Φ15 salad bowl: h10×h26.5	COVO
55	SPO	1999	カップ、 ソーサー	磁器	small cup: h4×Φ6 small saucer h1.5×Φ11.5 large cup: h5.5×Φ11 large saucer: h3.1×Φ19.2	COVO
56	OTSUM	2001	ティーポット	磁器	h11×Φ15	COVO
57	VO	2000	調味料入れ	磁器	h10×w8.5	COVO
58	ETTO	2000	調味料入れ	磁器	h5.5×Φ4.3	COVO
59	ATOM	2004	フラワーベース	ガラス	h22×Φ15	COVO
60	RIM	2001	食器	磁器	oval dish: h6×Φ33 portion dish Φ15 gravy jug h9×Φ11 coffee cup: h9×Φ9 tea pot: h20×w18×d11	Rörstrand
61	SALADIA	2000	食器	磁器	wanda-S: h7.5×Φ15.3 wanda-L: h7×Φ19 maruma-S: h6.8×Φ13.5 maruma-L: h8.2×Φ16.4 hiroga-L: h7.7×Φ19	COVO
62	WAQWA	2015	椀、カップ	木、漆	S: h5×w11 M: h5.7×Φ3.8 cup: h7.5×Φ8	我戸幹男商店
63	AIOI	1999	フリーカップ、 小皿	磁器	small free cup: h5×Φ5 small dish: h1.5×Φ9.5	COVO
64	PAON	2004	洗面用具	磁器	midium container with lid: h10.5×Φ9 tooth brush tumbler: h10×Φ7.5 tumbler: h10×Φ7.5 soap dish: h4×13.5×13.5	AUTHENTICS
65	TOM	1993	フラワーベース	ヴェネチアン・ガラス	h45×Φ23	ARCADE
66	YAO	1993	フラワーベース	ヴェネチアン・ガラス	h33×Φ14	ARCADE
67	SPIRITOSO	1998	グラス	ヴェネチアン・ガラス	BIERRA: h11.5×Φ9 VINO: h10×Φ8.5 SAKE: h7×Φ6.2	意匠二次元半
68	BABY BLU	2003	フラワーベース	ヴェネチアン・ガラス	h15×Φ16	ARCADE
69	BAVARDE	2006	フラワーベース	ガラス	h30×Φ20	ARCADE
70	FILO	2011	フラワーベース	ガラス	A: h68 B: h60	ARCADE
71	echa	2012 -2013	フラワーベース	ガラス	A: h35×Φ38 B: h35×Φ26	ARCADE
72	BENIUA	2013	フラワーベース	ガラス	A: h50×Φ22 B: h38×Φ30	ARCADE
73	tom	2011	フラワーベース	ガラス	h35×w37	ARCADE
74	NASO	1999	フラワーベース	ストーンウェア	h25×w20×d15	Laboratorio Pesaro
75	SANS SOUCI	2007	フラワーベース	ヴェネチアン・ガラス	A: h50×Φ18 B: h32×Φ27	ARCADE
76	MISS TWICE	1993	フラワーベース、 ブックエンド	ガラス	h16×w15×d16	ARCADE
77	月片碗	1998	フラワーベース	石	h45×w30×d15	意匠二次元半
78	STONE WORKS	1997	フラワーベース	諫早石	A: h30×w8×d8 B: h22×w8×d8	ミヤタ石産
79	月片碗	1998	フラワーベース	石	h35×w30×d30	意匠二次元半

番号	作品名	発表年	種別	素材	サイズ (cm)	メーカー
80	AKEKURE	2001	照明	鉄	swary: h13 oky: h16 kramy: h19 novy: h24	COVO
81	drops	2010	フラワーベース	ガラス	A: h55 B: h45	ARCADE
82	ATABOW	1998	センターピース	ストーンウェア	Φ35	Laboratorio Pesaro
83	OHOHO	1997	フラワーベース	ストーンウェア	h15×Φ10	Laboratorio Pesaro
84	ANGNON	1997	ピッチャー	ストーンウェア	h24×w21.5×d11	Laboratorio Pesaro
85	CIUBO	2002	蒸し鍋	ストーンウェア	h18.5×Φ32	Laboratorio Pesaro
86	POOTO	1997	ティーポット、 カップ、 ソーサー	ストーンウェア	pot: h20×w19×d11 cup: h7×Φ6.8 saucer: Φ11.5	Laboratorio Pesaro
87	OTENAMI	1998	フラワーベース	ストーンウェア	h33×Φ13	Laboratorio Pesaro
88	OTEMBA	1997	フラワーベース	ストーンウェア	h45×w29×d17	Laboratorio Pesaro
89	TOWERING pastel	2005	食器	木紛樹脂、ポリウレタン、 漆	bowl-XL: h9.8×Φ23.8 bowl-L: h9×Φ15 bowl-M: h8.3×Φ13 bowl-S: h7.6×Φ11 tea cup: h6.9×Φ9 coffee cup: h6.2×Φ7.8 plate-L: h2.3×Φ26.4 plate-M: h1.8×Φ23.2 plate-S: h1.3×Φ16.4 spoon-L: h3×L15×w4 spoon-S: h3.4×L20×w4.5	NUSSHA
90	TOWERING earth	2005	食器	木紛樹脂、ポリウレタン、 漆	bowl-XL: h9.8×Φ23.8 bowl-L: h9×Φ15 bowl-M: h8.3×Φ13 bowl-S: h7.6×Φ11 tea cup: h6.9×Φ9 coffee cup: h6.2×Φ7.8 plate-L: h2.3×Φ26.4 plate-M: h1.8×Φ23.2 plate-S: h1.3×Φ16.4	NUSSHA
91	SPEKKI	2009	ミラーボール、 プレート、カッ プ	鏡、漆、木	mirror ball: h8.3×Φ11 plate cup	NUSSHA
92	VENIE	2005	蓋物	樹脂、布	natsume box: h6.6×d9 biscuit box: h7.6×20×20 tea holde-L: h14×Φ9 tea holder-S: h10.2×Φ9 chopstick: h0.9×L24 fiore lunch box: h6.9×w17×d13.8	NUSSHA
93	FIORE	2005	食器	木紛樹脂	bowl: h4.4×w13.4×d12.9 tray: h0.4×d35.7 plate-S: h1×d12	NUSSHA
94	INNOCENTS	2005	茶筒	木、漆	teacase mars-L: h8×d8.8 teacase mars-S: h6.8×d7 teacase shuttle-A: h8.6×d10	NUSSHA
95	VENIE UNI	2008	ランチボックス	樹脂、布	h5.7×w14.6×d10.2	TOMITADESIGN
96	TOMITADESIGN STICKS	2014	箸	木、漆	l23.5	TOMITADESIGN
97	Titan Spoon F01	2014	スプーン	チタン	l20.5	チタン F 工房
98	clippe	2007	クリップ	ステンレス18-0	knife: h13×w1.3×d2.8	IPAC
99	KABON	2007	盆	ABS樹脂	h20×w40×d37	h concept
100	spalmito	2009	スパチュラ	シリコン	h5.7×w3.5×d1.5	IPAC
101	TOTTOTTO Y- pot 制作関連資料	1995	試作品	—	—	—
102	MORODE porce- lain, cutlery 制作 関連資料	1997 -1998	試作品等	—	—	—
103	MILMIL 制作 関連資料	1999 -2000	試作品等	—	—	—

番号	作品名	発表年	種別	素材	サイズ (cm)	メーカー
104	FUTTON 制作 関連資料	2006 -2007	試作品	—	—	—
105	PARADE 制作 関連資料	2004 -2005	試作品等	—	—	—
106	Titan Spoon F01 制作関連資料	2014	試作品	—	—	TOMITADESIGN
107	肥前吉田焼広報物	1998	ポスター	段ボール紙、アクリル絵 具	—	意匠二次元半
108	作品、展覧会関連 資料	1990- 2000年代	印刷物	紙、印刷	—	意匠二次元半他
109	富田の手道具一式	—	ノミ、カンナ他	—	—	—

※出品作品は、全て個人蔵。

■常設展示室第1・2室

所蔵名品展 長崎ゆかりの絵画

平成26年6月12日(木)～11月7日(金) ※2室は9月23日(火・祝)まで

番号	収蔵番号	作者名	作品名	会場	備考
1	A2イ0001	彭城貞徳	九十九島・月夜の景	第1室	
2	A2イ0210	彭城貞徳	和洋合奏之図	第1室	
3	A2イ1047	山本森之助	冬のセース	第1室	
4	A2イ0002	山本森之助	雨後	第1室	
5	A2イ0159	村田タマ	磯遊び	第1室	
6	A2イ0003	渡辺〔宮崎〕与平	金さんと赤	第1室	
7	A2イ0243	渡辺〔宮崎〕与平	帯	第1室	
8	A2イ0004	横手貞美	ピロード服の女	第1室	
9	A2イ0504	横手貞美	ガラージュ	第1室	
10	A2イ0245	永見徳太郎(夏汀)	長崎港	第1室	
11	A2イ0244	小島善太郎	村のナポレオン	第1室	
12	A2イ1036	古賀春江	彦山図	第1室	
13	A2イ0027	小山敬三	浦上聖堂	第1室	
14	A2イ1105	鴨居玲	かるた	第1室	
15	A2イ0302	鴨居玲	私の話を聞いてくれ	第1室	
16	A2ロ0102	菊畑茂久馬	天河十七	第1室	
17	A2ロ0203	椿貞雄	夏子像	第1室	
18	A2ロ0191	鈴木信太郎	阿蘭陀萬歳之図	第1室	
19	A2ロ0007	小磯良平	東山手	第1室	7月27日(日)まで
20	A2ロ0008	宮本三郎	大浦天主堂の前庭	第1室	7月27日(日)まで
21	A3ロ0037	田川憲	長崎バンド	第1室	7月29日(火)から
22	A3ロ0048	田川憲	麩の門	第1室	7月29日(火)から
23	A2イ0239	野口彌太郎	A夫人の気質	第1室	
24	A2イ0028	野口彌太郎	夜のサン・ドニ	第1室	
25	A2イ0017	山口長男	方	第1室	
26	Bハ0083	舟越保武	ゴルゴタ	第1室	
27	A1イ0133	荒木十畝	梅花群雀図	第2室	9月23日(火・祝)まで
28	A1ロ0075	荒木十畝	暮汀飛雁図	第2室	9月23日(火・祝)まで
29	A1イ0170	荒木十畝	早春	第2室	9月23日(火・祝)まで
30	A1イ0221	栗原玉葉	美人図	第2室	9月23日(火・祝)まで
31	A1イ0222	栗原玉葉	聴鶯図	第2室	9月23日(火・祝)まで
32	A1イ0123	栗原玉葉	秋草美人図	第2室	9月23日(火・祝)まで
33	A1イ0244	江上瓊山	青緑松林山水図	第2室	9月23日(火・祝)まで
34	A1イ0245	江上瓊山	青緑松谿孤亭図	第2室	9月23日(火・祝)まで
35	A1イ0039	大久保玉珉	国幣中社諏訪神社祭礼還御絵巻(住吉神社の巻)	第2室	9月23日(火・祝)まで
36	A1イ0195	大久保玉珉	武者絵(那須与一)	第2室	9月23日(火・祝)まで
37	A1イ0052	大久保玉珉	伊勢大廟図	第2室	9月23日(火・祝)まで
38	A1イ0211	松尾敏男	素描 トレド	第2室	9月23日(火・祝)まで
39	A1イ0219	小波魚青	楓鹿松鶴図屏風	第2室	9月23日(火・祝)まで

長崎の工芸—陶磁器とその装飾技法—

平成26年9月26日(金)～11月7日(金) 常設展示室 2

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Dハa0416	中里陽山 [末太郎]	青磁獅子香炉・白磁獅子香炉
2	Dハa0475	中里陽山 [末太郎]	白磁陽刻菊唐草文蓋物
3	Dハa0457	中里陽山 [末太郎]	白磁薄手陰刻牡丹文鉢
4	Dハa1084	中村強	青白磁深鉢
5	Dハa0172	森正洋	ロイヤルホワイト・ホームセット (飛かんな)
6	Dハa0279	山口正美	青磁彫文大徳利
7	Dハa0123	二代中里雅松	染付唐子絵菓子鉢
8	Dハa0164	中里陽山 [末太郎]	桃絵染付長生皿
9	Dハa0403	中里陽山 [末太郎]	染付大樹文花瓶
10	Dハa0172	森正洋	ねじり梅茶器
11	Dハa1082	富永和弘	ささ 酒器
12	Dハa0256	中里三猿	染付色浮上鬼灯文花瓶
13	Dハa0259	中里三猿	染錦浮上雀紅葉文鉢
14	Dハa0059	横石圭介	三彩水指 (長与写)
15	Dハa0150	横石圭介	長与三彩染付線文組鉢
16	Dハa0028	横石嘉助	龍耳瓶
17	DハA0509	小林東五	三嶋茶碗
18	Dハa0145	馬淵龍石	刷毛目文菓子鉢
19	Dハa0003	十二代横石臥牛	木原写茶碗
20	Dハa0119	十二代横石臥牛	刷毛目潮文鉢
21	Dハa0276	口石長山	白磁牡丹菊籠目香炉
22	Dハa0095	中里三猿	染付浮上鶴鳴図花筒
23	Dハa0098	十四代中里茂右衛門	白磁細工龍香合
24	Dハa0117	中里安吉郎	白磁菊細工香炉

日本画の名品

平成26年11月11日(火)～平成27年1月12日 (月・祝) 常設展示室 2

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A1イ0097	荒木十畝	鶴
2	A1イ0098	荒木十畝	鳳凰
3	A1イ0208	栗原玉葉	春秋美人図屏風
4	A1イ0243	栗原玉葉	遊女の図
5	A1ロ0027	江上瓊山	山水図
6	A1ロ0055	江上瓊山	雲峰飛瀑図
7	A1ロ0038	渡辺 [宮崎] 与平	枯木寒鴉図
8	A1イ0064	小波魚青	春野白狐 臘夜狸図
9	A1イ0215	松尾敏男	巴里
10	A1イ0233	松尾敏男	朝光のヴェネツィア

舟越保武－祈り

平成27年 3月17日(火)～ 4月12日(日) 常設展示室 1

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A 2ロ0489	舟越保武	フェリッペ・デ・ヘスス	
2	A 2ロ0490	舟越保武	ルドビコ白衣	
3	A 2ロ0491	舟越保武	フランシスコ吉	
4	A 2ロ0492	舟越保武	パウロ三木	
5	A 2ロ0493	舟越保武	トマス小崎	
6	A 2ロ0494	舟越保武	ベトロ・バプチスタ	
7	A 2ロ0496	舟越保武	フランシスコ・デ・サン・ミゲル	
8	A 2ロ0495	舟越保武	ゴンザロ・ガルシア	
9	A 2ロ0559	舟越保武	聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル	
10	A 2ロ0562	舟越保武	聖フランシスコ・ブランコ	
11	A 2ロ0558	舟越保武	手の習作	
12	A 2ロ0563	舟越保武	手の習作	
13	A 2ロ0560	舟越保武	聖トマス小崎	
14	A 2ロ0497	舟越保武	手の習作（長崎26殉教者）	
15	A 2ロ0561	舟越保武	聖ルドビコ茨木	
16	A 2ロ0571	舟越保武	衣の習作	
17	A 2ロ0572	舟越保武	衣の習作	
18	A 2ロ0567	舟越保武	聖ヨハネ五島（ヨハネ草庵）	
19	A 2ロ0570	舟越保武	聖ベトロ・バプチスタ	
20	A 2ロ0568	舟越保武	26聖人のためのデッサン	
21	A 2ロ0569	舟越保武	26聖人のためのデッサン	
22	A 2ロ0565	舟越保武	聖ガブリエル（ガブリエル十助）	
23	A 2ロ0566	舟越保武	聖マルチノ・デ・ラ・アセンシオン（御昇天のマルチノ）	
24	Bハ0082	舟越保武	原の城	
25	Bハ0083	舟越保武	ゴルゴタ	
26		舟越保武	LOLA（1982年／砂岩）	個人蔵

■常設展示室第3室

須磨コレクション 1

平成26年4月15日(火)～8月10日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A 2 イ0109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ	
2	A 2 イ0112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	
3	A 2 イ0520	作者不詳 (スペイン)	聖ユダ	
4	A 2 イ0519	作者不詳 (スペイン)	聖アンデレ	
5	A 2 イ0517	作者不詳 (アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ	
6	A 2 イ0140	作者不詳 (アラゴン派あるいはナバーラ派)	博士たちと議論するキリスト	
7	A 2 イ0115	作者不詳 (カタルーニャ派)	キリストの磔刑	
8	A 2 イ0111	作者不詳 (カスティーリャ派)	聖母の嘆き (ピエタ)	
9	A 2 イ0131	作者不詳 (カスティーリャ派)	聖バルトロマイ	
10	A 2 イ0130	作者不詳 (カスティーリャ派)	巡礼者聖ヤコブ	
11	A 2 イ0132	作者不詳 (カスティーリャ派)	聖セバスティアヌス	
12	A 2 イ0133	作者不詳 (カスティーリャ派)	ゲッセマネの祈り	
13	A 2 イ0108	作者不詳 (スペイン)	キリストの鞭打ち	
14	A 2 イ0143	作者不詳 (スペイン)	この人を見よ	
15	A 2 イ0113	作者不詳 (スペイン)	聖ペテロと聖フランチェスコを伴ったキリストの磔刑	
16	A 2 イ1066	フアン・カレニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子	※
17	A 2 イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	

※は須磨コレクションではない。

須磨コレクション 2

平成26年8月12日(火)～12月7日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A 2 イ0113	作者不詳 (スペイン)	聖ペテロと聖フランチェスコを伴ったキリストの磔刑	
2	A 2 イ0103	作者不詳 (カスティーリャ派)	サンティアゴ騎士団員の肖像	
3	A 2 イ0069	作者不詳 (スペイン) (フアン・バンターハ・デ・ラ・クルスの周辺)	フェリペ二世	
4	A 2 イ0101	フアン・バンターハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵	
5	A 2 イ0142	作者不詳 (カスティーリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト	
6	A 2 イ0139	作者不詳 (カスティーリャ派)	カルメル会の聖母	
7	A 2 イ1066	フアン・カレニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子	※
8	A 2 イ0665	作者不詳 (アンダルシア派?)	眠る幼児キリスト	
9	A 2 イ0120	作者不詳 (カスティーリャ派)	キリストの鞭打ち	
10	A 2 イ0137	作者不詳 (セビーリャ派)	エリヤとバアルの預言者たち	
11	A 2 イ0117	作者不詳 (セビーリャ派)	パオラの聖フランチェスコ	
12	A 2 イ0076	作者不詳 (セビーリャ派)	十字架を担う幼児キリスト	
13	A 2 イ0077	作者不詳 (アンダルシア派)	悲しみの聖母	
14	A 2 イ0527	ミゲル・ハシント・メレンデス?	フェリペ五世	
15	A 2 イ0362-1	ルイ＝ミシェル・ヴァン・ローと工房	フェルナンド6世	※
16	A 2 イ0362-2	ルイ＝ミシェル・ヴァン・ローと工房	バルバラ・デ・ブラガンサ	※
17	A 2 イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	

※は須磨コレクションではない。

須磨コレクション 3

平成26年12月9日(火)～平成27年4月26日(日) ※第2室は平成27年3月17日(火)～4月12日(日) 常設展示室2・3

番号	収蔵番号	作者名	作品名	会場
1	A2イ0110	作者不詳 (アラゴン派)	聖母の戴冠	15世紀末 第2室
2	A2イ0741	作者不詳 (スペイン)	兵士たちを救う聖ニコラウス	15世紀末? 第2室
3	A2イ0742	作者不詳 (スペイン)	ミュラの司教に叙任される聖ニコラウス	15世紀末? 第2室
4	A2イ0743	作者不詳 (スペイン)	聖ニコラウスの慈悲(?)	15世紀末? 第2室
5	A2イ0580	作者不詳 (カステイーリャ派)	キリストの磔刑	15世紀後半-16世紀初頭 第2室
6	A2イ0636	作者不詳 (スペイン)	磔刑	第2室
7	A2イ0112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	1500年頃 第2室
8	A2イ0522	作者不詳 (スペイン)	聖パウロ	16世紀初頭 第2室
9	A2イ0115	作者不詳 (カタルーニャ派)	キリストの磔刑	16世紀初頭 第2室
10	A2イ0140	作者不詳 (アラゴン派あるいはナバーラ派)	博士たちと議論するキリスト	1550-60年頃 第2室
11	A2イ0111	作者不詳 (カステイーリャ派)	聖母の嘆き(ピエタ)	16世紀中頃 第2室
12	A2イ0114	作者不詳 (カステイーリャ派あるいはアラゴン派)	ゲッセマネの祈り	16世紀第3 三半期 第2室
13	A2イ0142	作者不詳 (カステイーリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト	1600年頃 第2室
14	A2イ1066	フアン・カレニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子	1646-55年頃 第2室 ※
15	A2イ0137	作者不詳 (セビーリャ派)	エリヤとバアルの預言者たち	17世紀後半 第2室
16	A2イ0527	ミゲル・ハシント・メレンデス?	フェリペ五世	1708-15年頃 第2室
17	A2イ0362-1	ルイ=ミシェル・ヴァン・ローと工房	フェルナンド6世	1750年頃(?) 第2室 ※
18	A2イ0362-2	ルイ=ミシェル・ヴァン・ローと工房	バルバラ・デ・ブラガンサ	1750年頃(?) 第2室 ※
19	A2イ0106	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド7世の肖像	1828年 第3室
20	A2イ0537	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	川の流れる風景	19世紀中頃 第3室
22	A2イ0656	ヘナロ・ベレス・ピリャアミル	ロンダ(マラガ)	1850年 第3室
21	A2イ0480	パブロ・ゴンサルボ・イ・ベレス	トレド、アルカンタラ橋	1848-54年 第3室
23	A2イ0539	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム	1859年 第3室
24	A2イ0540	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋	1859年 第3室
25	A2ロ0110	マリアノ・フォルトゥーニ	人物習作	第3室
26	A2イ0549	リカルド・デ・ビリョーダス	自画像	1875年 第3室
27	A2イ0096	アンヘル・リスカーノ	親睦のつどい	第3室
28	A2イ0090	ホアキン・ソローリャ	浜辺の修道女たち	1910年頃 第3室
29	A2イ0541	モデスト・ウルジェイ	共同墓地のある風景	第3室
30	A2イ0542	アントニオ・ムニョス・デグライン	聖地(エルサレム)	1910-20年頃 第3室
31	A2イ0098	リカルド・バローハ	レコレートス通り	1926-30年頃 第3室
32	A2イ0476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち	1930年 第3室
33	A2イ0136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ	1930年 第3室
34	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	1941年 第3室

※は須磨コレクションではない。

■常設展示室第4室

緑なき島—奈良原一高の軍艦島

平成26年4月1日(火)～5月25日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	H口0001-0002	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
2	H口0001-0003	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
3	H口0001-0004	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
4	H口0001-0005	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
5	H口0001-0006	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
6	H口0001-0007	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
7	H口0001-0009	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
8	H口0001-0013	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
9	H口0001-0016	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
10	H口0001-0018	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
11	H口0001-0019	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
12	H口0001-0020	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
13	H口0001-0021	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
14	H口0001-0023	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
15	H口0001-0024	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
16	H口0001-0029	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
17	H口0001-0030	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
18	H口0001-0033	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
19	H口0001-0034	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
20	H口0001-0037	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
21	H口0001-0038	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
22	H口0001-0039	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
23	H口0001-0048	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
24	H口0001-0049	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)
25	H口0001-0052	奈良原一高	人間の土地 「緑なき島」(軍艦島)

タピエスとブロッサ

平成26年5月27日(火)～7月27日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A3ロ0098-4	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
2	A3ロ0098-5	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
3	A3ロ0098-6	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
4	A3ロ0098-7	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
5	A3ロ0098-8	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
6	A3ロ0098-9	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
7	A3ロ0098-12	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
8	A3ロ0098-13	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
9	A3ロ0098-14	瀧口修造/アントニ・タピエス	物質のまなざし
10	A3ロ0089-1	ジョアン・ブロッサ	ドス(2)
11	A3ロ0089-2	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
12	A3ロ0089-5	ジョアン・ブロッサ	ファウヌス
13	A3ロ0089-7	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
14	A3ロ0089-8	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
15	A3ロ0089-9	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
16	A3ロ0089-12	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
17	A3ロ0089-13	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
18	A3ロ0089-18	ジョアン・ブロッサ	方位磁針
19	A3ロ0089-20	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
20	A3ロ0089-22	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
21	A3ロ0089-24	ジョアン・ブロッサ	ずれた詩

長崎の風景—旧櫛村コレクションの紙作品

平成26年7月29日(火)～9月21日(日) ※8月11日(月)は休室

主要記事等：

・犬塚泉『旧櫛村コレクションの紙作品』展 画家が愛した長崎異国情緒『長崎新聞』2014年8月29日

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 2 口0033	池野清	丘の集落
2	A 2 口0017	石川滋彦	おらんだ坂
3	A 2 口0018	石川滋彦	めがね橋
4	A 2 口0019	石川滋彦	銅座橋附近
5	A 2 口0036	石川滋彦	長崎風景
6	A 2 口0007	小磯良平	東山手
7	A 2 口0011	小糸源太郎	聖福寺本堂
8	A 2 口0014	児玉幸雄	大浦天主堂
9	A 2 口0012	小堀進	グラバー邸
10	A 2 口0010	鈴木信太郎	東山手
11	A 2 口0009	曾宮一念	魚板
12	A 2 口0042	田辺三重松	長崎港
13	A 2 口0035	田辺三重松	グラバー邸
14	A 2 口0013	田村孝之助	おらんだ坂
15	A 2 口0015	中野和高	長崎の古い家
16	A 2 口0020	中村善策	大浦天主堂
17	A 2 口0004	野口彌太郎	おらんだ坂
18	A 2 口0006	野口彌太郎	めがね橋
19	A 2 口0008	宮本三郎	大浦天主堂の前庭
20	A 2 口0023	山下充	活水の丘より
21	A 2 口0031	吉岡憲	長崎風景
資料1	収蔵図書	『画家の見た長崎』第1集・第2集、光風堂版絵はがき、1957年	
資料2	収蔵図書	『画家の見た長崎』第1編、光風堂版絵はがき、1959年（1964年第3版）	
資料3	収蔵図書	『画家の見た長崎（グラバー邸附近編）』光風堂版絵はがき、発行年不詳	

挿絵画家 梶島勝一の世界

平成26年 9月23日（火・祝）～11月24日（月・祝）

番号	所蔵番号	作者名	作品名
1	A 2ロ531	梶島勝一	「吼える密林」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
2	A 2ロ532	梶島勝一	「吼える密林」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
3	A 2ロ535	梶島勝一	「吼える密林」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
4	A 2ロ538	梶島勝一	「吼える密林」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
5	A 2ロ540	梶島勝一	「吼える密林」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
6	A 2ロ533	梶島勝一	「密林の王者」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
7	A 2ロ534	梶島勝一	「密林の王者」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
8	A 2ロ536	梶島勝一	「密林の王者」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
9	A 2ロ537	梶島勝一	「密林の王者」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
10	A 2ロ539	梶島勝一	「密林の王者」(南洋一郎著、『週刊少年サンデー』)のための原画
11	A 2ロ523	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
12	A 2ロ524	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
13	A 2ロ525	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
14	A 2ロ526	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
15	A 2ロ527	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
16	A 2ロ528	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
17	A 2ロ529	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
18	A 2ロ530	梶島勝一	『実録・アジアの曙』(山中峯太郎著、文藝春秋新社刊)のための原画
19	収蔵図書	書籍	梶島勝一『ペン画の描き方』(大正15年)
20	収蔵図書	書籍	梶島勝一『実習指導ペン画の描き方』(昭和19年)
21	収蔵図書	書籍	『復刻絵本絵ばなし集』(昭和53年)
22	収蔵図書	書籍	山中峯太郎『実録亜細亜の曙第三革命の真相』(昭和38年)
23	収蔵図書	雑誌	『英語精習』第1巻第10号(大正4年)
24	収蔵図書	雑誌	『英語精習』第3巻第2号(大正5年)
25	収蔵図書	雑誌	『英語精習』第3巻第3号(大正5年)
26	収蔵図書	雑誌	『英語精習』第4巻第5号(大正6年)
27	収蔵図書	雑誌	『航空少年』(創刊号)第19巻第1号(昭和16年)
28	収蔵図書	雑誌	『航空少年』第21巻第2号(昭和19年)
29	収蔵図書	雑誌	『航空少年』第21巻第10号(昭和19年)
30	収蔵図書	雑誌	『少年倶楽部』附録(昭和17年)
31	収蔵図書	雑誌	『週刊少年サンデー』(昭和38年第32号)
32	収蔵図書	雑誌	『週刊少年サンデー』(昭和38年第36号)
33	収蔵図書	新聞	『日刊アサヒグラフ』第48号(大正12年3月14日)
34	収蔵図書	新聞	『日刊アサヒグラフ』第57号(大正12年3月23日)
35	収蔵図書	新聞	『日刊アサヒグラフ』第58号(大正12年3月24日)
36	収蔵図書	新聞	『日刊アサヒグラフ』第60号(大正12年3月26日)

詩と版画—ホセ・エルナンデスの「本」

平成26年11月26日(水)～平成27年1月25日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ (cm)	エディション番号	所蔵
1	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル1					
2	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル2					
3	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル3					
4	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル4					
5	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル5					
6	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル6					
7	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル7					
8	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル8					
9	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル9					
10	A 3 イ0089	ホセ・エルナンデス	バカナル10					
11	A 3 イ0094	ホセ・エルナンデス	ジャコモ・ジョイス1					
12	A 3 イ0094	ホセ・エルナンデス	ジャコモ・ジョイス2					
13	A 3 イ0094	ホセ・エルナンデス	ジャコモ・ジョイス3					
14	A 3 イ0094	ホセ・エルナンデス	ジャコモ・ジョイス4					
15	A 3 イ0094	ホセ・エルナンデス	ジャコモ・ジョイス5					
16		ホセ・エルナンデス	羅生門	1987	エッチング・紙	41×28.5×5(箱)／38.5×26.5(本)／37.5×25.5 (独立した作品2点)	36/75	個人蔵

菊畑茂久馬「春風」

2015年1月27日(火)～4月26日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 2 口0483	菊畑茂久馬	春光 (下絵六)
2	A 2 口0484	菊畑茂久馬	春光 (下絵七)
3	A 2 口0485	菊畑茂久馬	春光 (下絵八)
4	A 2 口0486	菊畑茂久馬	春光 (下絵九)
5	寄託2011-16	菊畑茂久馬	春風二
6	寄託2011-17	菊畑茂久馬	春風四
7	寄託2011-18	菊畑茂久馬	春風七
8	寄託2011-19	菊畑茂久馬	春風八

■常設展示室第5室

スペイン近現代美術 1

平成26年4月15日(火)～8月10日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 2 イ0246	パブロ・ピカソ	静物
2	A 2 イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
3	A 2 イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
4	A 2 イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む
5	A 3 ロ0088	アントニ・タピエス	ガット
6	A 2 ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンプозиション
7	A 2 イ0281	アントニ・クラベ	王様
8	A 3 イ0075	アントニ・クラベ	手袋のアッサンブラージュ
9	B ハ0016	ハビエル・コルベロ	静止の世界
10	A 3 イ0076	エドゥアルド・チリーダ	鉄に生命を吹き込む
11	A 3 イ0077	エドゥアルド・チリーダ	開く
12	A 3 イ0078	エドゥアルド・チリーダ	曲がる
13	A 2 イ0479	エドゥアルド・ナランホ	自画像 「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」
14	A 2 イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
15	A 2 ニ0100	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
16	A 2 ニ0101	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
17	A 2 ロ0512	マヌエル・フランケロ	無題

スペイン近現代美術 2

2014年8月12日(火)～12月7日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 2 イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
2	A 2 イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
3	A 2 イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む
4	A 2 イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土
5	A 2 ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンプозиション
6	A 2 イ0248	ルイス・フェイト	作品
7	A 2 イ0249	ルイス・フェイト	作品
8	A 2 イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ
9	A 2 イ0478	マノロ・バルデス	黒い背景の肖像
10	A 2 イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
11	A 2 イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック (赤と灰色)
12	A 2 ロ0512	マヌエル・フランケロ	無題

スペイン近現代美術 3

平成26年12月 9 日(火)～平成27年 4 月26日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 2 イ0246	バプロ・ピカソ	静物
2	A 2 イ0513	バプロ・ピカソ	鳩のある静物
3	A 2 イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
4	A 2 イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
5	A 2 イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土
6	B 二0009	アントニ・タピエス	網と十字の刻印
7	A 3 口0087	アントニ・タピエス	インフォーマル
8	A 3 口0088	アントニ・タピエス	ガット
9	A 2 イ0294	アントニ・クラベ	埋葬
10	A 2 イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ
11	A 2 イ0479	エドゥアルド・ナランホ	自画像 「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」
12	A 2 イ0478	マノロ・バルデス	黒い背景の肖像
13	A 2 イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのホル・ボウでの最期
14	A 2 ニ0100	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
15	A 2 ニ0101	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
16	A 2 口0512	マヌエル・フランケロ	無題

4. 教育普及事業・生涯学習事業

1) 展覧会関連企画

(1) 企画展「片岡鶴太郎展—長崎椿—」関連企画

名称：ワークショップ「春のあったか絵手紙」

概要：

短時間で絵手紙を制作するワークショップ。作家の作風に近い表現に触れることにより、展覧会をより身近に感じていただくことと、手軽な絵手紙の表現に親しんでいただき、来館者満足度の向上を図ることを目的に実施した。幅広い年齢層に好評であったことから5月にも追加実施した。

日時：4月19日(土)、20日(日) 10:30~16:00

5月24日(土)、25日(日) ※追加実施

会場：アトリエ

対象：子供～大人 ※未就学児は保護者同伴

参加費：無料 当日随時受付

参加者数：合計768人（4日間）

4月19日：177人 4月20日：203人

5月24日：167人 5月25日：221人



(2) 企画展「光の画家 松井守男展」関連企画

名称：ワークショップ「松井画伯と“光”を描こう！」

概要：

松井画伯の解説の下、展覧会を鑑賞した後、グループごとに“光”をテーマとした共同制作を行った。作品完成後は相互鑑賞会を実施した。

日時：6月28日(土)、29日(日) 10:30~12:30

会場：アトリエ

講師：松井守男（作家）

対象：一般公募、純心高校、長崎大学教育学部附属中学校

募集方法：事前申込

参加費：無料

参加者数：43人

(3) 企画展「没後5年 一求道と鎮魂の絵画—平山郁夫展」関連企画

①名称：子ども向け鑑賞ガイド

概要：

展覧会場の各展示コーナーや代表作品などについて分かりやすくまとめた鑑賞ガイドを作成し、展覧会場入り口に設置した。小学生から高校生を対象に、平山郁夫とその作品の魅力等を分かりやすく伝えることで、展覧会をより身近に感じていただくことを目的とした。当初5,000部を用意したところ一般成人の利用も多く、増刷した。

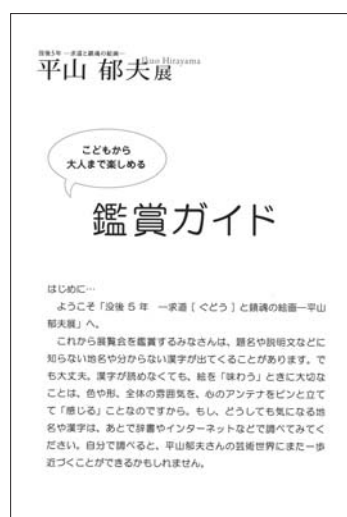
仕様：A3版4つ折り

配布期間：展覧会会期中

配付場所：企画展示室入口

対象：小学校高学年～高校生

配付数：8,200部



②名称：子供向けおしゃべり鑑賞会

概要：

展覧会の魅力を子どもたちが主体的に感じ取ることができるように対話型鑑賞の鑑賞会を実施した。当日は、小学生から中学生程度の子どもの他に会場内の一般観覧者も数多く加わり、一緒に作品を鑑賞していただいた。結果的に、幅広い年齢層の方に作品の魅力や作家の思いについて楽しく想像し、考えを深めていただく場となった。

日時：8月3日(日)、8月10日(日)

11:00～、14:00～ (各約40分)

会場：企画展示室

参加費：無料

参加者数：8月3日/48人 8月10日/71人 合計119人

8月3日 11:00～/30人 14:00～/18人

8月10日 11:00～/45人 14:00～/26人

③名称：ワークショップ「日本画入門」

概要：

岩絵の具とにかわで描く本格的な日本画の制作を、2日間で体験できるワークショップを実施した。日本画の表現に親しみ、展覧会をより身近に感じていただくことと本格的な日本画制作の体験を通して、美術愛好層の拡大を図ることを目的とした。講師に初心者の方から経験者まで満足できる内容を意識して準備を進めていただいたため、満足度の高い講座となった。

日時：8月23日(土)、24日(日) ※2日間

10:30～16:00

会場：アトリエ

講師：城 輝行 (日本画家)

対象：高校生以上

募集方法：事前申込み

参加費：1,000円

参加者数：21人

(4)「魔法の美術館～光と影のワンダーランド」展関連企画

名称：ワークショップ「魔法の万華鏡をつくろう」

概要：

ガラス工房の講師の指導の下、「万華鏡」を制作するワークショップ。長崎新聞社が主催した。参加者は、光の美しさを感じ、仲間や親子で会話を楽しみながら自分だけの万華鏡を制作した。

日時：8月10日(日)、8月20日(水)

11:00～、13:00～ 各回約1時間

場所：アトリエ

講師：竹田克人 (瑠璃庵)

対象：小・中学生

参加費：2,000円 (材料費込、要当日鑑賞券)

参加者：8月10日/50人 8月20日/30人 合計80人

8月10日 11:00～/25人 13:00～/25人

8月20日 11:00～/15人 13:00～/15人



(5)コレクション展「挿絵画家 椛島勝一の世界」関連企画

名称：キャラクターデザインワークショップ

概要：

日本初のキャラクター漫画「正ちゃんの冒険」を手掛けた椛島勝一の展示に絡めた企画。講師に英国のアニメーター、ポール・ニコルソンを招き、オリジナルのキャラクターをデザイン、シルクスクリーン技法によるエコバック作りを楽しんだ。

期日：10月4日(土)、10月5日(日)

時間：子どもの部：10：30～12：30

一般の部：14：30～16：30

会場：アトリエ

講師：ポール・ニコルソン（カートゥーンネットワーク・アニメーター）

対象：小学生以上

募集方法：事前申込

参加費：100円

参加者数：10月4日／28人 10月5日／35人 合計63人

10月4日 子どもの部／14人 一般の部／14人

10月5日 子どもの部／16人 一般の部／19人



(6)企画展「テオ・ヤンセン展—砂丘の生命体—」関連企画

①名称：熱くあおげ！！テオ・ヤンセン杯ミニビーストレース

概要：

学研が出版する雑誌のテオ・ヤンセン関連付録「ミニビースト」を組み立て、レース形式で速さを競ったイベント。ショップでのデモンストレーション実施や組み立て済みのミニビーストの準備等により、多くの家族連れが当日受付で気軽に参加した。親子で独自の改造を施したミニビーストを持参した熱心なファンもあり、展覧会を盛り上げるイベントとなった。

日時：8月16日(土)、11月22日(土) 14：00～（各約1時間）

会場：ホール

対象：小中学生（親子での参加も可）

募集方法：事前申込

参加費：無料

参加者数：8月16日：70人 11月22日：100人 合計170人

協力：学研教育出版

②名称：ワークショップ「うごくへんてこりんに挑戦！！」

概要：

来館者を対象に、テオ・ヤンセン機構を基に作成した無料の紙工作キットを組み立てるワークショップ。2種類の難易度の異なるキットを用意し、大人から子どもまで楽しめる内容としたため、幅広い年齢層の来館者にテオ・ヤンセンの作品の魅力を体験していただくことができた。オランダ政府補助金事業。

日時：10月25日(土)、26日(日) 11：00～16：00

会場：アトリエ

対象：小学生以上

参加費：無料 当日受付

参加者数：388人

(7)釜山市立美術館所蔵品展「路地に建てられた都市_釜山」

関連企画

名称：ワークショップ「写真家キムさんと一緒に路地裏探訪」

※5-1)-(2)参照。

(8)企画展「トミタリア ー富田一彦の世界ー」展関連企画

①名称：ワークショップ「ようこそセンパイ！富田流 波佐見焼の絵付けデザイン」

概要：

子どもたちの経験を長崎のものづくり産業の底上げにつなげたいという地元出身のプロダクトデザイナーによる本格的な指導の下、長崎伝統の波佐見焼の絵付けデザインを体験し、地域の伝統工芸のよさを味わうワークショップ。作家の母校での開催ということもあり、満足度は非常に高かった。

日時：1月11日(日) 9:30~12:30

会場：長崎市立大浦小学校図工室

定員：小学生18人

講師：富田一彦

参加費：無料

②名称：講演会「トミタリア的世界観」

内容：富田一彦氏による講演会。作家のプロダクトデザイナーとしての歩みを具体的な作品を通して展覧する講演会。長崎市内で過ごした少年時代の思い出など、富田氏の活躍の基礎となる点やこれまで発表されたプロダクトデザインの代表作品約10点に関して、デザイン上の意図などが解説された。

日時：2月1日(日) 14:00~15:30

会場：ホール

講師：富田一彦（作家）

参加費：無料

参加者数：57名

(9)企画展「ガウディ×井上雄彦ーシンクロする創造の源泉ー」関連企画

名称：ワークショップ「ガウディさんと不思議な塔」

概要：

「不思議な形の塔」をテーマに、ガウディの建築のような、ガラスやタイルなどをモザイク状に貼り付けた作品を作るワークショップ。参加者が材料を選択して制作に取り組むスタイルとした。タイル類と粘土、石膏以外は自然の材料を提供。大量の流木と貝殻は、教育普及スタッフの協力の下、収集した。集めた自然の材料を使用した効果は大きく参加者の満足度が高かった。

日時：1回目 1月10日(土) 10:30~16:00 制作

2回目 1月11日(日) 10:30~13:00 仕上げ

会場：アトリエ

対象：小学生、中学生とその保護者

募集方法：事前申込み

参加費：500円

参加者数：9組 17人

(10)コレクション展関連企画

名称：シリーズレクチャー「コレクション・イン・フォーカス」

概要：

月に一度、当館学芸員が行う所蔵作品・作家についてのレクチャー。全11回。コレクション展の活性化を図ることを目的に、当館所蔵作家の展覧会に関連した講座を実施し、長崎ゆかりの美術やスペイン美術に対する関心を高め理解を深める場を提供した。専門性の高い内容に関心を持つ熟年層を中心に、生涯学習の場と機会を提供するものとなった。

会場：講座室

参加費：無料 当日受付

参加者数：325人（全11回合計）

日時及び内容：下表の通り



	開催日	内 容	講 師	参加者数
第1回	5月18日(日)	「須磨コレクションの宗教画—聖人と天使—」	豊田 唯	26人
第2回	6月15日(日)	「パブロ・ピカソ《鳩のある静物》について」	福満葉子	38人
第3回	7月20日(日)	「長崎出身の明治期三大洋画家」	森園 敦	35人
第4回	8月3日(日)	「エドゥアルド・アロージョ《ハエの楽園》について」	福満葉子	28人
第5回	9月7日(日)	「スペイン黄金世紀の美術—教会と王国—」	豊田 唯	39人
第6回	10月5日(日)	「ゴヤの四大銅版画集—素描から版画へ—」	豊田 唯	34人
第7回	11月30日(日)	「須磨彌吉郎と交友した画家たち—グティエレス・ソラーナとバスケス・ディアス—」	森園 敦	20人
第8回	12月14日(日)	「スペイン美術で辿るイエスとマリアの生涯」	豊田 唯	27人
第9回	1月18日(日)	「長崎出身の作家によるプロダクト・デザイン」	川口佳子	31人
第10回	2月15日(日)	「長崎の伝統産業—波佐見焼を中心に—」	川口佳子	27人
第11回	3月22日(日)	「舟越保武の《長崎26殉教者記念像》」	野中 明	20人

主要記事等：

- ・犬塚泉「県美術館公開講座『コレクション・イン・フォーカス』『鳩=平和』いつ成立？ピカソ作品の解釈に迫る」『長崎新聞』2014年7月6日
- ・犬塚泉「県美術館公開講座『コレクション・イン・フォーカス』『本県プロダクトデザイナーの系譜』森さん皮切りに人材輩出」『長崎新聞』2015年2月1日

2) こどもアートクラブ

概要：

小学生を対象としたクラブ活動形式の美術体験プログラム（全7回開催）。「まなぶ・つくる・深める」をテーマに、展示室での作品鑑賞をはじめとして、美術館の環境や役割を学ぶ館内ツアー、開催中の展覧会と関連付けた模写、平面及び立体表現、班での共同制作等の活動に取り組みました。活動後のアンケートからは、日常生活や学校での美術に対するかわり方が意欲的になったことが伺えた。

期間：6月～翌年1月（全7回）

時間：10：00～12：30

会場：アトリエ、企画展示室、常設展示室、館内各所ほか

対象：小学生（1～6年生）

募集方法：事前申込

参加費：3,000円（全7回分）

参加者数：30人



開催日時及び内容：

	開催日	タイトル	内 容
第1回	6月14日(土)	オリエンテーション・美術館のふしぎ	美術館の内外を探検し、様々なクイズに挑戦（活動説明、館内・バックヤードツアー）
第2回	7月19日(土)	たからものとおしゃべりしよう	美術館コレクション展鑑賞後、模写とその感想等を発表（鑑賞）
第3回	8月2日(土)	わふうえてがみ	「没後5年一求道と鎮魂の絵画—平山郁夫展」鑑賞後、絵手紙制作（鑑賞、模写）
第4回	11月1日(土)	動くへんてこりん	「テオ・ヤンセン展—砂丘の生命体—」展鑑賞後、テオ・ヤンセン機構を用いた作品を制作（立体）
第5回	12月6日(土)	みんなで夢の星をつくろう	美術館コレクション展鑑賞後、班ごとにランタンの夢の星を共同制作（照明） ※2週連続
第6回	12月7日(日)	みんなで夢の星をつくろう	第5回のランタンの仕上げ後、ホールにて作品鑑賞と記念撮影（鑑賞） ※2週連続
第7回	1月17日(土)	ガウディさんとふしぎな塔	「ガウディ×井上雄彦—シンクロする創造の源泉—」展鑑賞後、石膏や紙粘土作品を制作（立体）
補講	1月24日(土)		第3、4、7回の欠席者を対象とした制作活動

関連企画：「みんなで夢の星をつくろう」で制作したランタンの展示

概要：

第5・6回で制作したランタンを、長崎ランタンフェスティバルの会期に合わせて展示した。

日時：2月19日(木)～3月5日(木) 10：00～20：00

会場：エントランスロビー

3) 移動美術館

概要：

美術館までの来館が困難な遠隔地の県民の皆様に対して、広く作品を鑑賞する機会を提供するもの。展覧会と併せてワークショップ等を実施。地域の方々に芸術に楽しんでいただく機会を提供した。

(1)移動美術館 in 小値賀町

期間：9月6日(土)～12日(金)

時間：9：00～17：00

会場：小値賀町離島開発総合センター町民ホール

主催：小値賀町教育委員会、長崎県美術館

出品点数：27点

入場者数：512人

関連企画：

①学芸員によるギャラリートーク

日時：9月6日(土) 10：00～10：30

会場：展示室

参加者数：約30人

②ワークショップ「動くへんてこ生き物」をつくろう

内容：画用紙とハトメを用いた動く生き物を制作

日時：9月8日(月) 15：30～

会場：ロビー

参加者数：22人

③鑑賞教室

日時：9月8日(月) 16：15～17：00

会場：展示室

参加者数：22人

④木のプール

期間：展覧会会期中

会場：ロビー

(2)移動美術館 in 東彼杵町

期間：9月24日(水)～10月6日(月) (うち休館日1日)

時間：10：00～18：00

会場：東彼杵町歴史民俗資料館

主催：東彼杵町、東彼杵町教育委員会、長崎県美術館

後援：東彼杵町文化協会

観覧者数：518人

関連企画：

①学芸員によるギャラリートーク

日時：9月24日(水) 9：30～

場所：展示室

参加者数：50人

②ワークショップ「シルクスクリーン技法によるエコバッグ制作」

日時：10月4日(土) 10：00～11：00

会場：東彼杵町総合会館 研修室1

参加者数：16人

③鑑賞教室

日時：10月4日(土) 11：10～12：00

会場：展示室

参加人数：13人

④木のプール

期間：展覧会会期中

会場：ロビー

4) みんなのアトリエ

(1)春のぼかぼか美術館 キッズふれアート はじめてミュージアム

※12-1)-(3)参照

(2)企画展「片岡鶴太郎展—長崎椿—」関連企画

※4-1)-(1)参照

(3)ボランティアワークショップ「夏のさわやか絵手紙をつくらう」

※10-4)-(4)参照

(4)名称：「2014クリスマスのアトリエ」

概要：

身近な素材である「紙」を使って、自らクリスマスの準備をする楽しさを味わう開放型ワークショップ。簡単なオーナメントづくりと、ドイツの紙染め技法「クライスター・パピア」、また、日本古来の「折形」を用いたカードづくりを体験する内容とした。

講師：渡邊 絢（クライスター・パピア／折形の講師）

主催：長崎県美術館

日時：12月20日(土)、12月21日(日) 11:00～16:30

※講師のレクチャーは各日11:30～、14:00～、15:20～

会場：アトリエ

対象：5歳以上

募集方法：当日受付

参加費：100円

参加者数：12月20日／101人 12月21日／155人 合計256人

5) 学校との連携

(1) スクールプログラム (学校利用)

概要:

学校と美術館との連携事業として、図工・美術科の時間、総合的な学習の時間、学校行事、修学旅行、部活動、PTAなどの活動で利用していただくためのプログラム。大きな柱は鑑賞プログラムと表現プログラムであり、学校担当者とエデュケーターが協議し内容を組み立てた。

平成26年度利用団体数：278件、利用者総数：11,039人



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	校種別合計
保育園	269	220	170	53	207	13	54	53	0	31	205	84	1,359
幼稚園	0	58	134	95	135	48	43	46	148	1,270	0	155	2,132
学童保育	0	0	0	182	1,140	24	10	0	0	35	18	79	1,488
小学校	0	61	194	139	4	243	399	224	127	652	104	54	2,201
中学校	194	236	25	143	128	70	30	345	59	156	98	193	1,677
高等学校	0	14	0	12	33	0	202	237	348	112	188	454	1,600
特別支援学校	0	72	6	33	0	0	10	0	40	0	0	13	174
大学	0	0	0	26	37	41	0	0	48	7	65	0	224
専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	39
PTA	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31
教職員研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(保護者、添乗員等)	0	0	0	0	75	0	0	0	39	0	0	0	114
合計	463	661	529	714	1,759	439	748	905	809	2,302	678	1,032	11,039

※幼稚園、保育園年間利用…三和幼稚園(全11回:1,567人)、ししのご保育園(全8回:104人)、あゆみ保育園(全4回:87人)、慈光保育園(全4回:89人)、レデンプトル幼稚園(全3回:72人)、総計1,919人(人数は延べ人数)

※特別鑑賞プログラム利用者283人は、小学校、中学校の1月、3月利用者数に含まれる。

関連事業

① 美術館さわやかおさんぽツアー

概要:

気候の良い春の時期に、館内や周辺を歩きながら美術館の建築や周りの環境を楽しんでいただくことで、園児や園の担当者に美術館へ親しみを持っていただく企画。3月中旬より長崎市近郊の幼稚園・保育園に案内を送付し16園の参加があった。

期間：4月1日(火)～5月29日(木)

時間：10:00～12:00

対象：幼稚園児・保育園児

案内送付先：長崎県内幼稚園・保育園346園

募集方法：事前申込

利用者数：16園449人(園児:399人、引率:50人)

② 鑑賞教育研修会「出島研修」

名称：第5回長崎県造形教育研究会夏季実技研修 出島研修会

概要:

長崎県下全域の教職員を対象にしたスクールプログラムの利用促進を目的とした研修会。当館を会場に、学校現場の教職員が、作品鑑賞や記念講演、実技研修等を通して、図画工作科、美術科の授業内容のあり方について考えを深め、教科の指導力や授業力の向上を図る研修会となった。

期日：8月6日(水)、7日(木)(2日間)

主催：長崎県美術館 長崎県造形教育研究会

後援：長崎県教育委員会 長崎市教育委員会

会場：アトリエ、ホール、講座室

対象：長崎県内の小中学校教職員

募集方法：事前申込

参加者：延べ247人

内容：

【1】記念講演 「見つめること 感じること ―子どもたちが自分の中に新しい価値観を作り出す創造活動―」

講師：文部科学省 東良雅人

【2】美術展鑑賞：企画展「平山郁夫展」

【3】実技講座…全8講座

講座1 アクリル画による表現（講師：鶴崎智子）

講座2 水彩画の基礎技法（講師：白濱政彦）

講座3 授業で生かせる表現活動（講師：上田清人）

講座4 コスモボックス（木彫万華鏡）（講師：塩田貴之）

講座5・8 展覧会鑑賞と美術館体験（講師：守屋聡）

講座6 色と形を組み合わせてきたら…発見！！（講師：松本治子）

講座7 誰にでもできる水彩画（講師：一山信二）

③遠隔授業

【1】長崎・南島原市・釜山の3点同時中継による遠隔授業プログラム

※5-3) 参照

【2】五島市との遠隔授業プログラム

概要：

長崎県美術館と五島市立三井楽中学校の2点を遠隔通信システムによって結び、長崎県美術館の所蔵作品を鑑賞しながら、対話型鑑賞の授業を行うもの。島の子どもの新鮮な感覚や作品の内面まで深く見つめようとする態度が光り、充実した授業となった。

実施日：2月9日(月)

場所：五島市立三井楽中学校

対象：全校生徒53名

内容：当館所蔵作品を基にした対話型鑑賞による授業

鑑賞作品：パブロ・ピカソ《鳩のある静物》、アントニオ・ロペス《フランシスコ・カレテロ》

④特別鑑賞プログラム

概要：

美術館用意の貸切バスにて、学校と美術館を送迎する鑑賞プログラム。県内遠隔地の児童・生徒に、長崎県美術館が所蔵する長崎ゆかりの美術やピカソ、ミロ、ダリなどのスペイン美術など国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する。子どもたちの美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育てることを目的とする。本年度は県北地域から募集したところ、当館からの距離の問題や長崎国体などの影響からか、実施は3校にとどまった。

対象：平戸市、松浦市、佐々町の小中学校（単位：学校・学年・学級）

内容：企画展示及び常設展示の鑑賞。※その他県民ギャラリー



期間：12月20日(土)～平成27年3月6日(金)

募集：7月～バス20台分予約完了まで。

参加校数：3校

参加者数：児童・生徒257人 引率教員26人 合計283人

参加費：生徒一人500円 (引率教員は無料)

※長崎歴史文化博物館と事業協力

⑤ほっとミュージアムクーポン

概要：

不登校児童・生徒と保護者、関係者に、美術館での作品鑑賞のほか、ミュージアムカフェでの軽食を提供することにより、児童・生徒の精神の安定と不登校状況の改善を図るきっかけとする企画。昨年度に引き続き利用拡大を目指し、長崎市、諫早市、大村市、長与町、時津町の5市町の小・中学校から募集した。昨年度と比較して利用件数は半減したものの、初めて大村市内の学校からの利用があった。

期間：クーポン配付日 (12月下旬)～3月13日(金)

対象：長崎県内の不登校児童・生徒、児童養護施設入所の児童・生徒と保護者、関係者

利用者数：9組17人

⑥高等学校卒業生への特別招待券贈呈

概要：

県下の高等学校卒業生を対象に招待券を贈呈し、長崎県美術館の企画展と美術館コレクション展を鑑賞する機会を提供する企画。卒業生の美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育むとともに、郷土愛をさらに深めていただくことを目的とした。

期間：1月下旬～3月31日(火)

対象：長崎県下の公立、私立、定時制を含む長崎県下の高等学校卒業生と特別支援学校高等部卒業生

利用者数：751人

協力：長崎県教育委員会

⑦出張授業

概要：

学校団体の利用拡大を目的に、エデュケーターが学校へ赴き、鑑賞学習をサポートする授業を行った。美術科や総合的な学習の時間の授業において美術館の魅力や業務の説明とともに、原寸大の作品シートを用いた対話型鑑賞を実施した。

【1】純心中学校

日時：4月22日(火) 14:30～15:20

対象：第1学年180人

【2】長崎市立深堀中学校

日時：2月19日(木) 15:00～15:50

対象：第1学年14人

(2)大学との連携

①名称：ゴールデンウィークイベントにおける連携

概要：

美術館のゴールデンウィークイベントである、春のぼかぼか美術館2014「キッズふれアート はじめてミュージアム」において、武蔵野美術大学、長崎純心大学及び活水女子大学と連携し、学生主体によるワークショップを行った。

案内送付先：県内10大学

募集方法：事前申込

連携先：武蔵野美術大学、長崎大学教育学部 中川研究室、
長崎純心大学人文学部 塩月研究室

活動内容：

- ・素材の準備・講師のサンプルをもとに制作：中川研究室14人
- ・ワークショップでの制作補助：中川研究室6人、塩月研究室3人

活動日：5月4日(日・祝)～5日(月・祝) 10:00～16:00

参加者数：武蔵野美術大学：6名、長崎純心大学：6名、活水女子大学：9名

②名称：クリスマスイベントにおける連携

概要：

クリスマスイベント「2014クリスマスのアトリエ」は、身近な素材「紙」を使って美しいオーナメントやラッピングのノウハウを体験するワークショップ。今回、長崎大学には準備段階から会場装飾、イベント当日の接客などに協力・連携していただいた。

連携先：長崎大学教育学部 中川研究室

対象：長崎大学教育学部 中川研究室学生3人

活動日及び内容：

- ・12月7日(日) 15:00～17:00 ラッピングペーパーの試作
- ・12月10日(水) 10:00～12:00 ラッピングペーパーの試作
- ・12月13日(土) 15:00～18:00 ツリーオーナメント制作
- ・12月14日(日) 15:00～18:00 ツリーオーナメント制作
- ・12月17日(水) 10:00～12:00 ツリーオーナメント制作
- ・12月18日(木) 10:00～12:00 会場設営
- ・12月19日(金) 14:00～17:00 講師との打ち合わせ・会場設営
- ・12月20日(土) 9:30～17:00 イベント本番 お客様対応・準備
- ・12月21日(日) 10:00～18:00 イベント本番 お客様対応・片付け

③名称：放送コンテンツの制作体験を通じた連携

概要：

放送コンテンツの制作体験を通して、放送事業の特性や使命を体験的に習得することを目標とする授業への協力・連携である。長崎県立大学が(株)テレビ長崎と産学連携で実施し、課題制作や討議を行っているものであり、前年度と同様、課題は、美術館を紹介するコマーシャルの制作であった。当館は、広告出稿側という位置付けで出稿コンセプトを提示し、撮影場所の提供と指導、作品評価等に携わった。

連携先：長崎県立大学シーボルト校国際情報学部 情報メ

ディア学科 金村公一 准教授

対象：「2014デジタルコンテンツ制作技法演習」受講学生30人

制作課題：大テーマ：2015年に「開館10周年となる長崎県美術館」

テーマ1：「大学生（若者）が行きたくなる」長崎県美術館

テーマ2：「スペイン美術の宝庫である」長崎県美術館

※大テーマを共通に、テーマ1、2が伝わる内容で30秒テレビCM作品を企画・制作する。

活動日及び内容：

- ・12月4日(木) 授業の事前打合せ（美術館）
- ・12月19日(金) オリエンテーション（シーボルト校）
- ・1月6日(火) 企画立案（シーボルト校）
- ・1月20日(火) 美術館概要紹介（美術館ホール）
- ・1月27日(火) 企画確定（シーボルト校）
- ・1月28日(水)～2月23日(月) 撮影、編集（美術館他）
- ・2月10日(火) 館内風景撮影（常設展示室他）
- ・2月24日(火) 作品完成指導（シーボルト校）
- ・3月2日(月) CM 試写・合評会（美術館ホール）

(3)博物館実習

概要：

学芸員資格取得のための博物館実習を下記の通り実施した。

期間：7月31日(木)～8月4日(月)

実習費：5,000円

対象：学芸員資格取得希望者

実習生：5校8人（活水女子大学3人、長崎県立大学2人、
立教大学1人、九州産業大学1人、東京学芸大学1人）

実習計画：

7月31日 (木)	午前の部 10:00～12:00	オリエンテーション 館内見学
	午後の部 13:00～17:00	講義：指定管理者としての美術館運営 講義：現在の美術館状況 講義：当館の企画展について ギャラリートークの説明
8月1日 (金)	午前の部 10:00～12:00	教育普及活動について ワークショップ参加
	午後の部 13:00～17:00	作品取り扱い、作品保存、状態調査表作成
2日(土)	午前の部 10:00～12:00	ワークショップ参加
	午後の部 13:00～17:00	講義：当館コレクションと常設展について 講義：美術館の広報活動 ギャラリートーク準備
3日(日)	午前の部 10:00～12:00	ギャラリートーク準備 コレクション・イン・フォーカス参加
	午後の部 13:00～17:00	セキュリティゾーンの掃除 ギャラリートーク準備
4日(月)	午前の部 10:00～12:00	ギャラリートーク準備
	午後の部 13:00～17:00	ギャラリートーク及び講評

6) 海外の美術館との教育普及事業連携

釜山市立美術館と連携し「平成26年度文化芸術振興費補助金(地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)」に採択された「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」の諸プログラムを実施した。

※5-1) 参照

7) 鑑賞ツールの開発

(1)コレクション展ワークシート じんぶつシルエットクイズ

概要：

コレクション展の作品を題材にした鑑賞ツール。作品中に描かれた人物をシルエットで表現したワークシートを使い、どの作品かを当てるもの。子どもたちが楽しみながら、本物の美術作品と出会う機会として設定した。展示替えの度に内容を変更し、今後も継続していく予定。

設置場所：常設展示室入口

対象：小学生以上

実施方法：鉛筆による記入方式

参加費：無料



(2)企画展「没後5年—求道と鎮魂の絵画—平山郁夫展」関連 子ども向け鑑賞ガイド

※4-1)-(3)参照

8) ブログ「アトリエ便り」

概要：

教育普及・生涯学習事業を身近に感じていただくことを目的として、ワークショップや講座の最新情報や実施報告を美術館ホームページ上に掲載した。

平成26年度アクセス件数：89,960件（1日平均246件）

5. 補助金等による事業

1) 「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」

平成26年度文化芸術振興費補助金（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）の採択事業。平成23年8月に交流に関する協定書を締結している長崎県美術館と釜山市立美術館の交流事業として実施され、「展覧会（両館の所蔵品の交換展）」、「ワークショップ」、「遠隔授業」により構成。両館は双方の館の教育普及事業において制作された子どもたちの作品の交換展及び両地域のアーティストを講師として派遣し合い実施する児童・生徒対象の交換ワークショップを中心とした「明日を拓く日韓子ども美術交流展」を平成21年度より共同で開催してきたが、本事業は更なる文化交流の充実を図るため、その発展的事業として平成25年度より開催されているものである。

(1)展覧会活動

「釜山市立美術館所蔵品展 路地に建てられた都市_釜山」

3-2) 参照

(2)ワークショップ活動

①釜山側推薦作家によるワークショップ活動

名称：「写真家キムさんと一緒に路地裏探訪」

概要：

講師のアドバイスの下、長崎の路地を歩きながら参加者が良いと感じた風景をデジタルカメラで撮影するワークショップ。最後に参加者全員で撮影した写真を鑑賞した。

日時：①11月15日(土)10:00~12:30

②11月16日(日)10:00~12:30

会場：長崎県美術館アトリエ及び美術館近隣

講師：金 弘熙 (写真家)

対象：①長崎市内中学校1～3年生 ②長崎県下小・中学生

募集方法：事前申込制

参加費：無料

参加者数：①44人 ②13人

協力：①精道中学校

②長崎側推薦作家によるワークショップ活動

名称：「観察力を鍛えよう」(無料/釜山市教育庁推薦)

概要：

デザインする上で重要な力である「観察力」を鍛えるワークショップ。身の回りのものを観察し、発表したり実際に造形作品を作ったりする過程を通して、デザインについて学ぶ機会を創出した。講演と実技指導を午前と午後各1回ずつ実施し、参加者の理解を深める内容とした。

日時：①11月26日(水) 9:40~15:00

②11月27日(木) 9:40~15:00

会場：①釜山市立ケグン初等学校(韓国釜山市) ②韓国チョヒョン芸術高等学校

講師：城谷耕生（デザイナー）

対象：①釜山市立ケゲン初等学校児童 ②韓国チョヒョン芸術高等学校生徒

参加者数：①20人 ②29人

(3)遠隔授業「長崎・壱岐・釜山の3点同時中継による遠隔授業プログラム」

概要：

長崎県美術館と長崎県下の遠隔地の小学校及び釜山市立美術館（釜山市内の小学校の生徒が美術館講堂に集合）の3点を遠隔通信システム（テレビ会議システム）によって結び、対話型の作品鑑賞授業を行った。当館の所蔵作品と釜山市立美術館の作品1点ずつを対象とし、当館エディューケーターがファシリテーターを務めることで、両地域子ども達が、お互いの意見や感想を聞きながら作品鑑賞をおこなった。

日時：11月25日(火) 9：40～11：30

場所：長崎県美術館、南島原市立有家小学校、釜山市立美術館地下1階講堂

ナビゲーター：長崎県美術館エディューケーター、釜山市立美術館学芸員

鑑賞作品：2点

- ・パブロ・ピカソ《鳩のある静物》長崎県美術館蔵
- ・金 大潤《海と人》釜山市立美術館蔵

参加費：無料

募集方法：県内は公募。釜山市の学校は釜山市立美術館より依頼。

参加校および対象：南島原市立有家小学校5・6年生、釜山市立ケゲン初等学校5・6年生

参加者数：189人（有家小学校83人、ケゲン初等学校106人）



2) オランダ政府補助金事業

テオ・ヤンセン展関連企画ワークショップ「うごくへんてこりんに挑戦！！」

※4-1)-(6)参照

6. 収集事業

1) 新収蔵作品

平成26年度は実績なし。

2) 新収蔵図書

(冊)

	購入	寄贈	計
和書	80	274	354
洋書	22	17	39
逐次刊行物	282	395	677
展覧会図録	35	456	491
視聴覚資料 (DVD等)	0	5	5
計	419	1147	1566

(年報・紀要は逐次刊行物の中に含む)

3) 寄贈図録

寄贈者	書名	出版社	出版年
小無田泉 氏	Picasso 347 vol. 1	Random House	1970年
小無田泉 氏	Picasso 347 vol. 2	Random House	1970年

【掲載記録】

山下昭子「苦学支えたピカソ版画集 長崎市の画家 小無田泉氏 県美に寄贈『願いにかなう場所で』」『長崎新聞』2015年2月17日

7. 保存・修復事業

1) 作品修復

(1) 絵画作品修復

委託先：たけのした工房（長崎県）

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A 2 イ 265	末永胤生	セーヌの橋	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の調整、作品取付。 ホットテーブルによる変形・弛みの補正 つり金具等の交換（ステンレス製）。
2	A 2 イ 36	椿貞雄	グラバー邸	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填・形成、 補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（ポリカーボネート）取り付け つり金具等の交換（ステンレス製）。
3	A 2 ロ 23	山下充	活水の丘より	1	現状記録。 画面の汚損除去、洗浄。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（中性紙ボード）の取り付け。 つり金具等の交換（ステンレス製）。
4	A 2 イ 192	山本森之助	矢上風景	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 つり金具等の交換（ステンレス製）。
5	A 2 イ 465	龍駿介	九十九島風景	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填。 ワニスの塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（ポリカーボネート）の設置 つり金具等の交換（ステンレス製）。
6	A 2 イ 168	渡辺浩三	静物	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填・形成、 補彩。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（中性紙ボード）取り付け。 つり金具等の交換（ステンレス製）。
7	A 2 イ 172	小川緑	折り	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填。 ワニスの塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（ポリカーボネート）の設置 つり金具等の交換（ステンレス製）。
8	A 2 イ 40	山本森之助	二荒山神社	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填。 ワニスの塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（ポリカーボネート）の設置 つり金具等の交換（ステンレス製）。

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
9	A 2 イ 733	市山時一郎	機関車	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所を充填。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 カンヴァスの張り直し。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置及びサイズ変更。 つり金具等の交換（ステンレス製）。
10	A 2 イ 1	彭城貞徳	九十九島・月夜の景	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去、洗浄。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所を充填。 ワニスの塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
11	A 2 イ 239	野口彌太郎	A 夫人の気質	1	画面の汚損除去、洗浄。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（ポリカーボネート）取り付け
12	A 2 イ 250	野口彌太郎	漁港（島原）	1	画面の汚損除去、洗浄。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 金具（ステンレス製）で作品固定。
13	A 2 イ 1036	古賀春江	彦山図	1	現状記録。 画面の汚損除去、洗浄。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（ポリカーボネート）取り付け。 低反射ガラスの設置及び額の加工。
14	A 2 イ 732	市山時一郎	原爆を受けた唐寺	1	現状記録および修復報告書作成。 画面の汚損除去。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所を充填、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 支持体に周辺補布を付けて補強、木枠への張り込み。

(2)修復報告

彭城貞徳 《九十九島・月夜の景》(A 2 イ0001)

536×1511×9mm／油彩／板にカンヴァス／額装

* 処置前状態

- 《作品》
- ・表裏面に汚損、画面に厚く黄変したニス層がみられた。
 - ・過去に支持体側辺は裁断後、ベニヤ板に総裏打ちの修理が施されており、絵具層の質感は損なわれていた。又、周辺は斜めに鉋がかけられ、板と支持体の布は削られていた。
 - ・紫外線照射により、下部の波全体と島々のほとんどに加筆痕が確認された。
 - ・ベニヤ板の裏面は反り防止のため、ペンキ塗料で着彩がされていたが、角部にかけて約10mmの支持体の反りがみられた。
- 《額》
- ・汚損がみられた。

* 処置内容

- 《作品》
- ・表面のニス層の洗浄と、可能な限り加筆の除去を行った。(アセトン：エタノールの混合液)
 - ・木枠と裏面は汚損除去と殺菌を行った。(精製水、消毒用エタノール)
 - ・過去の充填部分と新たに小さな充填に、修復用樹脂絵具で補彩を行った。(修復専用樹脂絵具：マイメリ社製)
 - ・下層に天然ダンマルニス、上層に合成樹脂マットニスを薄く塗布した。(ソルベントナフタ溶解)
- 《額》
- ・汚損除去、殺菌を行った。(精製水、消毒用エタノール)
 - ・額と作品は、ステンレス製T字金具で留めた。
 - ・ポリカーボネート複層中空パネルは再利用した。

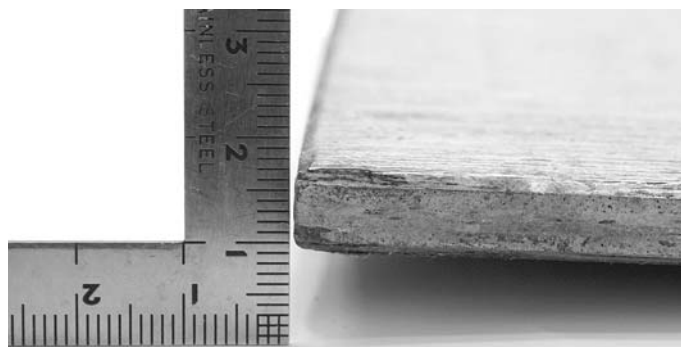
処置前



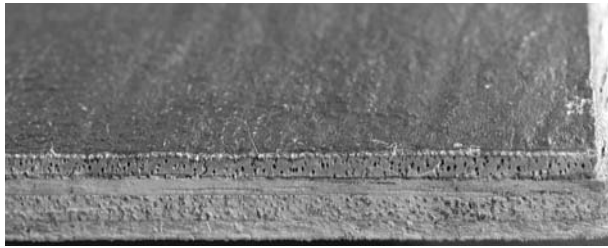
表面



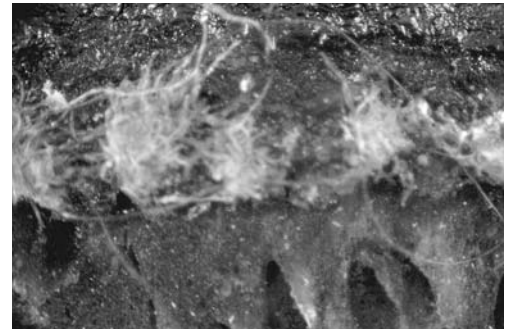
紫外線照射（表面）、特に下部、島々にほとんどの加筆がみられる



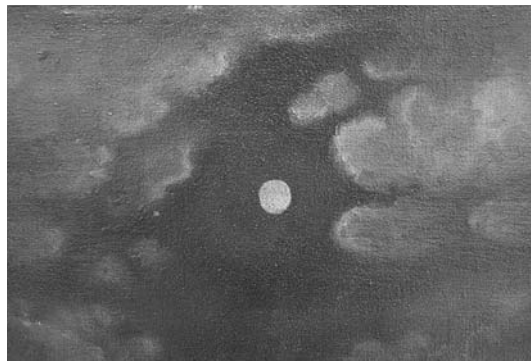
支持体の反り（約10mm）



側辺：支持体は裁断され、鉋で削られている

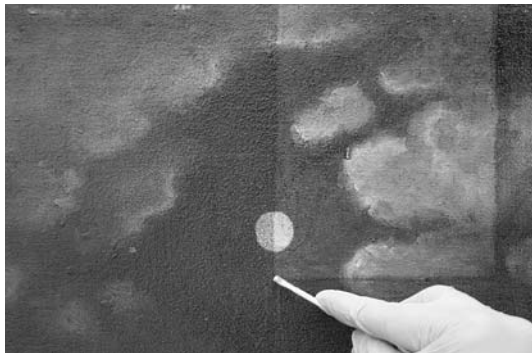


断面図の顕微鏡撮影100倍：絵具層→支持体の繊維→ベニヤ板の繊維



ニス層の黄変

処置



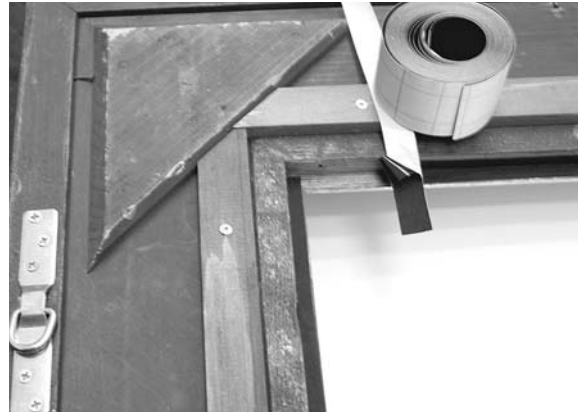
洗浄作業：背景の空（中央部分）



洗浄作業（右側）



補彩

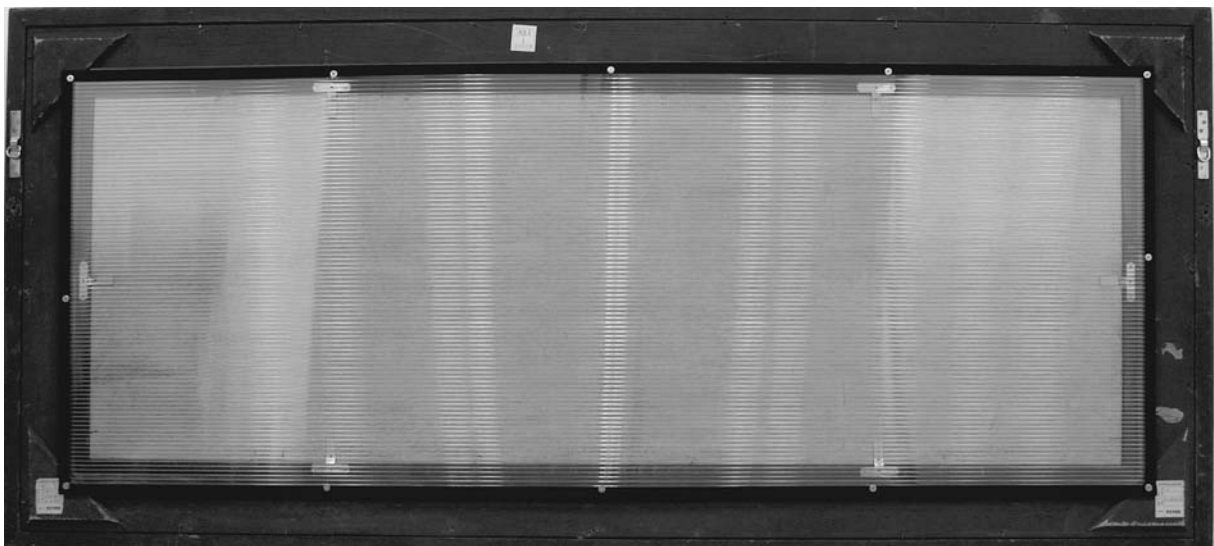


額：表面が着くライナー部分に中性布テープ（黒）を付ける

修復後



表面



裏面：ポリカーボネート複層中空パネル

2) 額装関係

(1) マット装・額縁調整

委託先：たけのした工房（長崎県）

1		梶島勝一	(原画)	27	旧マットから取り外し、新たにマット装をする。額装。
2	A 2 ロ 491、498、499、564	舟越保武	フランシスコ吉、聖フィリッポ・デ・スス、聖パウロ茨木、聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル	4	画面、作品裏面及び額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板（中性紙ボード、ポリカーボネート）の取り付け。
3		楢村コレクション		18	旧マットから取り外し、新たにマット装をする。
4	A 2 ロ 26	落合素江	富士川畔	1	マッティング、額装。
5	A 2 ロ 327	鴨居玲	婦人像	1	旧マットから取り外し、新たにマット装をする。
6	A 2 ロ 500	舟越保武	横顔（ドローイング）	1	マッティング、額装。
7	A 3 ロ 431	宮崎進	囚われ	1	マッティング、額装。
8	A 2 ロ 7	小磯良平	東山手	1	マッティング、額装。
9	A 2 ロ 8	宮本三郎	大浦天主堂の前庭	1	マッティング、額装。
10	A 2 イ 516	作者不詳（フランドル？）	聖母子像	1	裏板（ポリカーボネート）取り付け つり金具等の交換（ステンレス製）。
11	A 2 ロ 203	椿貞雄	夏子像	1	現状記録および報告書作成。 マッティング、額装。 裏板（中性紙ボード）取り付け。
12	A 2 イ 685	アドルフ・ドゥラーアバド	白人の淑女	1	仮額の設置。 裏板（中性紙ボード）取り付け。

(2) 額縁の作成

1	A 2 イ 1049	小林敏夫	亡命者シリヤーフ
2	A 2 イ 1051	小林敏夫	シリヤーフ（？）
3	A 2 イ 1052	小林敏夫	スツエルビーニ
4	A 2 イ 1053	小林敏夫	シレーフ終焉
5	A 2 イ 1054	小林敏夫	スツエルビーニの部屋 A
6	A 2 イ 1055	小林敏夫	スツエルビーニ夫人の家
7	A 2 イ 1056	小林敏夫	シエルビニン像
8	A 2 イ 1057	小林敏夫	亡命者シリヤーフ（B）
9	A 2 イ 1058	小林敏夫	亡命者シリヤーフ（A）
10	A 2 イ 1059	小林敏夫	活水の下
11	A 2 イ 1060	小林敏夫	活水にて
12	A 2 イ 1061	小林敏夫	長崎（？）
13	A 2 イ 1100	今村春吉	教会の朝
14	A 2 イ 1101	今村春吉	窓
15	A 2 イ 1102	今村春吉	窓
16	A 2 イ 1103	今村春吉	マリア孤児園

(3) 保存用中性紙箱の作成（額装作品）

1	A 2 イ 210	彭城貞徳	和洋合奏之図
2	A 2 イ 1104	彭城貞徳	月夜の景
3	A 2 イ 1021	彭城貞徳	菊花図
4	A 2 イ 269	彭城貞徳	富士山之図
5	A 2 イ 191	山本森之助	残雪
6	A 2 イ 195	山本森之助	戦場ヶ原
7	A 2 イ 1035	山本森之助	セーヌ河 ポプラ
8	A 2 イ 1068	山本森之助	妙義山
9	A 2 イ 270	渡辺与平	白日

10	A 2 イ1098	横手貞美	パリ風景、14区
11	A 2 イ179	横手貞美	楽器を持つ女
12	A 2 イ 7	横手貞美	工場近くの住居
13	A 2 イ1067	横手貞美	食料品屋店頭、14区
14	A 2 イ149	横手貞美	小口運送屋
15	A 2 イ181	横手貞美	パリの裏街
16	A 2 イ 6	横手貞美	ピエロ
17	A 2 イ159	村田タマ	磯遊び
18	A 2 イ244	小島善太郎	村のナポレオン
19	A 2 イ1065	野口彌太郎	農家と山（多良岳）
20	A 2 イ254	野口彌太郎	フラメンコ
21	A 2 イ256	野口彌太郎	白い家
22	A 2 イ1072	野口彌太郎	画室の女
23	A 2 イ255	野口彌太郎	海辺の家
24	A 2 イ1037	鈴木信太郎	長崎風景
25	A 2 イ 8	池野清	鳩笛たち
26	A 2 イ207	池野清	手
27	A 2 イ251	池野清	樹
28	A 2 イ1083	池野清	木立
29	A 2 イ37	池野清	樹骨
30	A 2 イ15	小川緑	追憶
31	A 2 イ295	鴨居玲	宝くじ売り
32	A 1 イ252	松尾敏男	鶉
33	A 2 イ111	作者不詳（カステイーリャ派）	聖母の嘆き（ピエタ）
34	A 2 イ539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ボントン・テ・ラ・オリバのダム
35	A 2 イ540	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋
36	A 2 イ542	アントニオ・ムニョス・デグライン	聖地一聖母の泉
37	A 2 イ758	イグナシオ・ピナソ	イカロス遊び
38	A 2 イ558	フランシスコ・イトゥリーノ	女
39	A 2 イ281	アントニ・クラベ	王様

3) 虫害環境調査

期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
内容	毎月のモニタリング用トラップの設置、回収、昆虫数の集計、昆虫の同定
調査結果	夏季を中心に各出入口より昆虫侵入。全体的に昆虫侵入数は減少したが、前年度に引き続きギャラリー棟2階にてシミが採集された。

8. 作品貸出記録

「特別展示 舟越保武：長崎26殉教者 未発表デッサン」展 (26点)

東京オペラシテイ アートギャラリー：平成26年4月19日(土)～6月29日(日)

舟越保武 《フェリッペ・デ・ヘスス》A2口0489
《ルドビコ白衣》A2口0490
《フランシスコ吉》A2口0491
《パウロ三木》A2口0492
《トマス小崎》A2口0493
《ペトロ・バプチスタ》A2口0494
《フランシスコ・デ・サン・ミゲル》A2口0496
《聖フェリッペ・デ・ヘスス》A2口0498
《聖パウロ茨木》A2口0499
《ゴンザロ・ガルシア》A2口0495
《聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル》A2口0559
《聖フランシスコ・ブランコ》A2口0562
《手の習作》A2口0558、《手の習作》A2口0563
《聖トマス小崎》A2口0560
《手の習作（長崎26殉教者）》A2口0497
《聖ルドビコ茨木》A2口0561
《聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル》A2口0564
《衣の習作》A2口0571
《衣の習作》A2口0572
《聖ヨハネ五島（ヨハネ草庵）》A2口0567
《聖ペトロ・バプチスタ》A2口0570
《26聖人のためのデッサン》A2口0568
《26聖人のためのデッサン》A2口0569
《聖ガブリエル（ガブリエル十助）》A2口0565
《聖マルチノ・デ・ラ・アセンシオン（御昇天のマルチノ）》A2口0566

「現代日本画の巨匠 松尾敏男展」(15点)

平塚市美術館：平成26年10月11日(土)～11月30日(日)

松尾敏男 《火口湖》A1イ0037
《鳥碑》A1イ0047
《貧しき人》A1イ0163
《福州の民家》A1イ0242
《I氏像》A1イ0099
《閩江舟泊》A1イ0225
《朝光のトレド》A1イ0210
《夜想譜》A1イ0194
《華》A1イ0226
《Y先生像》A1イ0227
《ミッシェル・モルガン像》A1イ0228
《流れ》A1イ0229
《月光のサン・マルコ》A1イ0230

《わが追想のコモ湖》A1イ0231

《サン・マルコ驟雨》A1イ0232

「舟越保武彫刻展——まなざしの向こうに——」(3点)

岩手県立美術館：平成26年10月25日(土)～12月7日(日)

郡山市立美術館：平成27年1月24日(土)～3月22日(日)

練馬区立美術館（平成27年度）：平成27年7月12日(日)～9月6日(日)

舟越保武 《聖フェリッペ・デ・ヘスス》A2口0498

《聖パウロ茨木》A2口0499

《聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル》A2口0564

「風景王国—龍駿介がみた山河—」展(1点)

柳川古文書館：平成26年11月19日(水)～平成27年1月18日(日)

龍駿介《九十九島》A2イ0465

「聖母が見守った奇跡～長崎の教会群とキリスト教関連遺産～」展(2点)

長崎歴史文化博物館：平成27年2月19日(水)～4月15日(水)

マルト・エンゲルブレヒト《宣教師フランシスコ・ザビエル》A3ニ0040

ゲオルク・グルエベル・カタリーナ彫版(?)《聖フランシスコ・ザビエル》A3ニ0246

「ふるさと諫早を愛した画家 近代絵画の巨匠 野口彌太郎 大回顧展」(5点)

諫早市美術・歴史館：平成27年3月1日(日)～5月6日(水)

野口彌太郎 《農家と山（多良山）》A2イ0000

《A婦人の気質》A2イ0239

《夜サン・ドニ》A2イ0028

《長崎の山々》A2イ0009

《漁港（島原）》A2イ0250

生誕100年記念 富永直樹展

阪急うめだギャラリー（平成25年度）：平成26年2月16日(日)～2月24日(月)

茅野市美術館：平成26年4月19日(土)～5月18日(日)

富永直樹作品 《メキシコで見た娘》Bハ0015

《若者（青年の像）》Bハ0018

《友人の顔》Bハ0031

《少年平和像（原爆子供記念碑）》Bハ0032

《山》Bハ0033

《真珠の首飾り》B ハ0034
《対話》B ハ0038
《黒船で来た紅毛人》B ハ0039
《若き日のシーボルト》B ハ0041
《好日》B ハ0042
《ファミリー》B ハ0043
《ありし日の宗麟》B ハ0044
《初夏の朝》B ハ0047
《ガンジスの夜明け》B ハ0048
《グリーンに立つ》B ハ0049
《初舞台》B ハ0051
《楽しい朝》B ハ0052
《クリスマス・イヴ》B ハ0053
《塗る男》B ハ0055
《北欧の女》B ハ0056
《リリーという猫》B ハ0057
《大将の椅子》B ハ0059
《華麗なる王女》B ハ0060
《主将》B ハ0061
《タロ・ジロの像》B ハ0065
《アレックス》B ハ0067
《喝采》B ハ0068
《南蛮船の来た頃は》B ハ0069
《島原天草の乱》B ハ0070
《徳丸原でモルチール砲を撃つ高島秋帆》
B ハ0071
《ドームの中のペテロ》B ニ0004
《殊勲者》B ニ0012
《トーマス・ブレーク・グラバー之像》
B ニ0016
《覇者》B ニ0018
《挑戦》B ニ0019
《平和の叫び》B ニ0021
《新風》B ニ0022
《FELLOWSHIP》B ニ0039
《若き日のコロンプス》B ニ0041
《待ちに待ったオランダ戦艦が二艘長崎港に
入港す「全員集合」》B ニ0046
《プロローグ》B ニ0047
《家の大将》B ニ0055
《ピーマン》F ロ0029-3
《桜島》F ロ0029-4
《蛇おどり》F ロ0029-5
《道具、スケッチブック等一式》F ロ0029-7

9. 調査・研究事業

1) 研究活動

当館の職員による研究活動。展覧会関係の雑誌・新聞等への寄稿については、「3. 展覧会事業」に掲載したため割愛した。

川口佳子

- 展覧会の企画・構成
 - ・「トミタリアー富田一彦の世界」展
 - ・「長崎の工芸—陶磁器とその装飾技法—」展
- 執筆等
 - ・『トミタリアー富田一彦の世界』（展覧会図録／執筆・編集）
論考「トミタリアー親しみやすさでつながる関係性のデザイン」
章解説
コラム
- 講演等
 - ・「長崎出身の作家によるプロダクト・デザイン」（コレクション・イン・フォーカス第9回）2015年1月18日
 - ・「長崎の伝統産業—波佐見焼を中心に—」（コレクション・イン・フォーカス第10回）2015年2月15日

豊田唯

- 翻訳
 - ・ガルドゥリック・サンタナ・ロマ「サグラダ・ファミリア聖堂の鐘——巨大なパイプオルガンとしての聖堂——」『ガウディ × 井上雄彦——シンクロする創造の源泉——』（展覧会図録）東映、2014年7月
 - ・作品解説（共訳）同上
- 講演等
 - ・「須磨コレクションの宗教画——聖人と天使——」（コレクション・イン・フォーカス第1回）2014年5月18日
 - ・「スペイン黄金世紀の美術——教会と王国——」（コレクション・イン・フォーカス第5回）2014年9月7日
 - ・「ゴヤの四大銅版画集——素描から版画へ——」（コレクション・イン・フォーカス第6回）2014年10月5日
 - ・「スペイン美術で辿るイエスとマリアの生涯」（コレクション・イン・フォーカス第8回）2014年12月14日
- 研究助成
 - ・鹿島美術財団「2014年度 美術に関する調査研究助成」
研究課題：セビーリヤ、サンタ・カリダード聖堂研究——ムリーリョの「七つの慈悲の業」連作をめぐって——
 - ・鹿島美術財団「2014年度 美術に関する国際交流援助（外国人研究者招致）」
招致研究者：プラド美術館スペイン絵画（1700年以前）担当学芸部長 ハビエル・ポルトゥース

野中明

- 展覧会の企画・構成
 - ・「光の画家 松井守男展」
 - ・「テオ・ヤンセン展—砂丘の生命体—」
- 執筆等
 - ・『光の画家 松井守男展』（展覧会図録／編集・執筆）
エッセイ「松井守男の『光』」
 - ・『テオ・ヤンセン展—砂丘の生命体—』（展覧会パンフレット／編集・デザイン・執筆）
- 講演等
 - ・「美術を語る 富永直樹」2014年4月19日（於、茅野市美術館）
 - ・「美術館の中と外、それぞれのアート 浅井裕介（現代美術アーティスト）×野中明（長崎県美術館学芸員）」2014年8月17日（於、長崎市立図書館多目的ホール）
 - ・「舟越保武の《長崎26殉教者記念像》」（コレクション・イン・フォーカス第11回）2015年3月22日
- その他
 - ・『KOA 九州・沖縄アーティストファイル』（九州・沖縄アーティストファイル実行委員会／Fukuoka Art Tips、2014年9月1日）推薦者

福満葉子

●展覧会の企画・構成

- ・「長崎の風景—旧榑村コレクションの紙作品」展
- ・「詩と版画—ホセ・エルナンデスの『本』」展

●執筆

- ・「『象の風景』原爆の表象か—企画展『渡辺千尋の仕事』」『長崎新聞』2014年5月9日
- ・『マグリット』（南雄介との共著）東京美術、2015年2月
- ・「ミュージアム・ミュージアム—渡辺千尋の仕事」『デアルテ』31号、2015年3月

●翻訳

- ・マリナ・デュクレ「ヴァロットンは氷の人であったのか？」『ヴァロットン 冷たい炎の画家』（展覧会図録）三菱一号館美術館・日本経済新聞社、2014年6月

●講演等

- ・「パブロ・ピカソ《鳩のある静物》について」（コレクション・イン・フォーカス第2回）2014年6月15日
- ・「エドゥアルド・アロージョ《ハエの楽園》について」（コレクション・イン・フォーカス第4回）2014年8月3日
- ・「横手貞美について」長崎歴史文化協会、2014年10月27日

●その他

- 美学会『美学』査読委員

森園敦

●執筆

- ・「須磨コレクションの返還歴—スペイン時代の友人ルイス・ニエトからの書簡をもとに—」、『鹿島美術研究（年報第31号別冊）』、公益財団法人鹿島美術財団、577-585頁、2014年11月

●講演等

- ・「長崎出身の明治期三大洋画家」（コレクション・イン・フォーカス第3回）2014年7月20日
- ・「長崎最初の近代洋画家・彭城貞徳」長崎歴史文化協会、2014年10月6日
- ・「須磨彌吉郎と交友した画家たち—グティエレス・ソラーナとバスケス・ディアス—」（コレクション・イン・フォーカス第7回）2014年11月30日

●その他

- ・第9回西洋美術振興財団賞学術賞受賞

2) 刊行物一覧

[展覧会図録等]

1

現代フランスを代表する日本人アーティスト

光の画家松井守男展

Morio Matsui: création de la lumière

ごあいさつ

メッセージ (クリスティアン・マセ駐日フランス大使)

メッセージ (山下洋輔)

メッセージ (吉永小百合)

松井守男の「光」(野中明)

作家略歴

図版リスト

図版Ⅰ 光の誕生

図版Ⅱ 光の絵巻

編集：長崎県美術館

デザイン：ps-creative

印刷：株式会社昭和堂

発行：長崎県美術館

A4判変形、3分冊ホルダー入り、2,700円



2

「テオ・ヤンセン展—砂丘の生命体—」パンフレット

(内容)

作品図版

各種解説

展示プラン

編集・デザイン・発行：テオ・ヤンセン長崎展実行委員会

A4判、8ページ(含、表紙)、無料配布



特別展ガウディ×井上雄彦—シンクロする創造の源泉—

Takehiko Inoue interprets Gaudi's Universe

目次 | Contents

開催概要

ごあいさつ

メッセージ (エドゥアルド・アナスール)

謝辞

Essay 1 ガウディにおける図面と建築、アカデミー VS 経験主義

(ホセ・ガルシア・ナバス)

Essay 2 ガウディと伝統的構造コンストラクション (ホセ・ルイス・ゴンサーレス)

Essay 3 ガウディのもうひとつの建築 (ジャウマ・サンマルティ・イ・バルダゲー)

Essay 4 サグラダ・ファミリア聖堂の現況 (ジョルディ・ファウリー)

建築家ガウディ、その代表作

第1章 トネット少年、バルセロナのガウディへ

作品解説

Column 1 ガウディと自然 (ジャウマ・サンマルティ・イ・バルダゲー)

Column 2 ガウディの故郷、アル・カム・ダ・タラゴーナ 平原 (ジャウマ・サンマルティ・イ・バルダゲー)

第2章 建築家ガウディ、誕生

作品解説

Column 3 ガウディとモンセラート (ジャウマ・サンマルティ・イ・バルダゲー)

Column 4 不変のエコロジー (ジャウマ・サンマルティ・イ・バルダゲー)

第3章 ガウディの魂サグラダ・ファミリア

サグラダ・ファミリア聖堂建築史

作品解説

Column 5 サグラダ・ファミリア聖堂の鐘—巨大なパイプオルガンとしての聖堂 (ガルドゥリック・サンタナ・ロマ)

アントニ・ガウディ・イ・クルネート (クルネート) 年譜 (モニカ・クルス・グアカタ)

ガウディの生活圈 (鳥居徳敏)

芸術のモザイク都市バルセロナ (光嶋裕介)

主要参考文献

作品目録

資料写真目録

用語解説

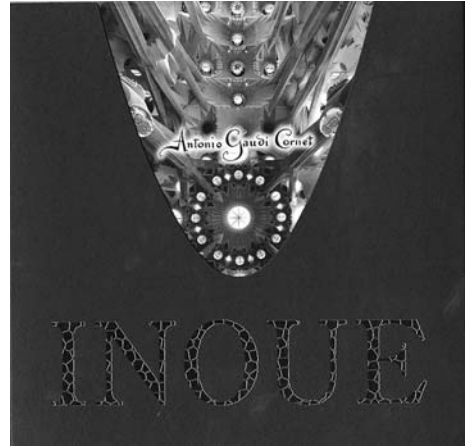
写真クレジット・奥付

監 修：ジャウマ・サンマルティ・イ・バルダゲー (カタルーニャ工科大学バルセロナ建築学部ガウディ記念講座所長)

日本側監修：鳥居徳敏 (神奈川大学教授)

翻 訳：鳥居徳敏、久米順子 (東京外国語大学)、松田健児 (慶応義塾大学)、諸星妙 (慶応義塾大学)、豊田唯 (長崎県美術館)

編 集：東映、日経 BP 社



編集制作：飯田彩 (Design Communicator)
装丁・デザイン：原理子 (Rico Graphic)
印刷：大日本印刷
発行日：初版2014年7月12日 第2版2014年8月27日
発行：東映
26×26cm、183ページ、ソフトカバー

漫画・挿絵：井上雄彦
編集：東映、日経 BP 社
装丁・デザイン：原理子 (Rico Graphic)
印刷：大日本印刷
発行日：初版2014年7月12日 第2版2014年8月27日
発行：東映
26×26cm、183ページ、ソフトカバー、2,800円

4

木梨憲武展×20years

INSPIRATION - 瞬間の好奇心

THE WORKS BETWEEN 1994-2014

もう一人の自分 (日比野克彦)
Another Self (Hibino Katsuhiko)
木梨憲武のハード・コア (原田裕規)
The hard core of Kinashi Noritake (Harada Yuki)
Message
個展・グループ展歴

監修：木梨憲武、木梨成美

特別協力：株式会社コッカ

企画：井村優三 [imura art planning]

編集：三宅亜木 [imura art planning]、藤本聡 [産経新聞社]、風間ありさ [産経新聞社]

翻訳：パメラ・ミキ・アソシエイツ

デザイン・制作：石塚肇 [美術出版社デザインセンター]、上高家論 [美術出版社デザインセンター]、中村遼一 [美術出版社デザインセンター]

発行人：大下健太郎

発行：株式会社美術出版社デザインセンター

30×21cm、本文160ページ、ソフトカバー、2,000円



路地に建てた都市釜山

City Built on the Road_Busan 釜山市立美術館所蔵品展

Contents

ごあいさつ

長崎県美術館長 米田耕司 / Yoneda Koji The Director of Nagasaki Prefectural Art
Museum

釜山市立美術館長 濱日相 / CHO Il-sang Director, Busan Museum of Art

路地に建てられた都市 - 釜山 City Built on the Road_Busan

オ・ウアム | 呉又岩, Oh U-Am |

ジョン・フンチル | 權勳七, Kwon Hoon Chill |

チェ・ミンシク | 崔敏植, Choi Min Shik |

キム・ウンジュ | 金恩朱, Kim Eun Ju |

キム・アタ | 金我他, Kim A Tta |

パク・サンホ | 朴常皓, Park Sang Ho |

キム・チュンジン | 金忠振, Kim Choong Jin |

パク・ビョンチュン | 朴炳春, Park Byoung Choon |

キム・ボムソク | 金範錫, Kim Beom Seok |

アン・セグォン | 安世權, Ahn Se Kwon |

キム・デユン | 金大潤, Kim Dae Yeun |

キム・ジョンホ | 金楨昊, Kim Jung Ho |

キム・ナムジン | 金南璿, Kim Nam Jin |

キム・ホンヒ | 金弘熙, Kim Hong Hee |

図版の一覧

発行：釜山市立美術館

B5判、本文67ページ、ソフトカバー



6

トミタリア

—富田一彦の世界—

目次

ごあいさつ（長崎県美術館）

テキスト

嵐のようなデザイン（萩原修）

トミタリア—親しみやすさでつながる関係性のデザイン（川口佳子）

図版

I マクロコスモスとしてのトミタリア：初期作品と家具を中心に

コラム：意匠二次元半とは・ARCADE との仕事

II ミクロコスモスとしてのトミタリア：プロダクトを中心に

コラム：COVO との関わり・NUSSHA の創出

トミタリア MAP—作品の生産拠点—

資料

図版目録

富田一彦年譜

主要参考文献

執筆：萩原修、富田一彦、川口佳子（長崎県美術館）

翻訳：富田一彦、スタンレー・N. アンダソン

編集：川口佳子（長崎県美術館）

表紙・扉デザイン：納富司（納富司デザイン事務所）

印刷：株式会社インテックス

協力：長崎花浪漫

発行：長崎県美術館

A5判変型、171ページ、ソフトカバー、2,160円



目次

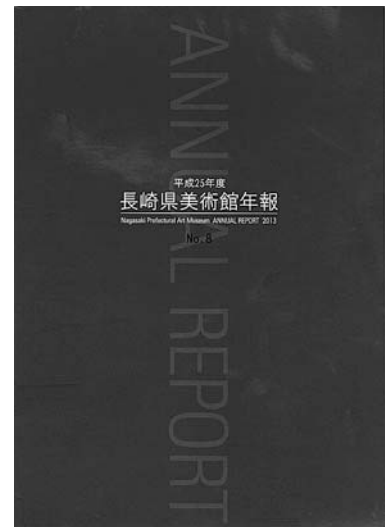
1. 沿革・主な出来事
2. 利用者数一覧
3. 展覧会事業
 - 1) 企画展
 - 2) コレクション展
 - 3) 日韓文化交流事業
4. 教育普及・生涯学習事業
5. 収集事業
6. 保存・修復事業
7. 作品貸出記録
8. 調査・研究事業
9. アートボランティア事業
10. 広報マーケティング事業
11. イベント等
12. 貸施設事業
13. ショップ、カフェ
14. 収支
15. 組織
16. 建築概要
17. 基本理念
18. 関係法規

編集：公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団

印刷：株式会社昭和堂

発行：公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団

A4判、153ページ、ソフトカバー、非売品



10. アートボランティア事業

1) 登録人数（H27年3月31日現在）

男	17人	18%
女	80人	82%
合計	97人	100%

2) 活動内容

名 称	内 容
図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・図書登録作業 ・書庫資料整理 ・情報コーナーでの活動
学 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクション展などの作品解説 ・所蔵作品の情報収集 ・資料整理
運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント補助、来館者誘導案内等
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ・ポスター発送作業 ・資料整理、新聞切り抜き ・ボランティア通信作成
教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及・生涯学習事業補助（スクールプログラム、こども向けおしゃべり鑑賞、ワークショップ、アートクラブ等のサポート） ・アトリエ整備
共 通	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーでの活動 ・イベント補助 ・ボランティア通信作成 ・チラシ・ポスター発送作業 ・ポスター掲示・配布 ・美術館の清掃 ・自主運営活動（チャリティー活動、ワークショップなど）

3) 活動実績

期 日	内 容
4月16日	教育ボランティアミーティング
4月20日	企画常設鑑賞研修①
4月20日	ボランティア通信 Vol. 16発行
5月4日～5日	ゴールデンウィークイベント
5月12日	片岡鶴太郎展関連 絵手紙ワークショップ事前説明会
5月23日	片岡鶴太郎展関連 絵手紙ワークショップ準備
5月24日～25日	片岡鶴太郎展関連 絵手紙ワークショップ
5月24日～7月25日	チャリティーバナーバッグ制作 全24回
6月13日	企画常設鑑賞研修②
7月20日	企画常設鑑賞研修③
7月26日～27日	チャリティーバナーバッグ販売
7月31日	ボランティア WS 「夏のさわやか絵手紙をつくろう」事前説明会
8月1日	ボランティア WS 「夏のさわやか絵手紙をつくろう」リハーサル
8月25日	ボランティア WS 「夏のさわやか絵手紙をつくろう」準備
8月27日、28日、30日	ボランティア WS 「夏のさわやか絵手紙をつくろう」
10月12日	企画常設鑑賞研修④
10月19日	ボランティア通信 Vol. 17発行
11月20日、12月26日	クリスマスツリー準備・撤去
平成26年12月1日～平成27年1月15日	第3期長崎県美術館アートボランティア募集
2月4日～3月29日	第3期長崎県美術館アートボランティア必修研修（全8回）
3月25日	ボランティア通信 Vol. 18発行
3月29日	平成26年度ボランティア活動修了式

4) 研修、交流会等

(1) 企画常設展鑑賞研修 (全4回)

概要:

企画展および常設展のギャラリートークを聴き、じっくり作品を鑑賞することで、作品に対する理解を更に深めることを目的として実施した。

日時: ①4月20日 ②6月13日 ③7月20日 ④10月12日
(全4回)

場所: 企画展示室、常設展示室

受講者数: ①9人 ②9人 ③24人 ④13人 合計55人

(2) 東日本大震災復興支援 チャリティー活動 「バナーバッグづくり」 (全24回)

概要:

チャリティー販売を目的に、使用済みの事業告知用バナーをリサイクル素材としたオリジナルバナーバッグを製作した。

期間: 5月24日～7月25日

10:00～13:00、13:00～16:00

場所: アトリエ、講座室

参加者数: のべ88人

バナーバッグ製作数: 285個

(3) 東日本大震災復興支援 チャリティー活動 「バナーバッグ販売、募金活動」

概要:

(2)の活動で製作したオリジナルバナーバッグ285個を当館運河劇場にて販売するとともに募金箱を設置した。売上金と募金は、被災地への義援金として、後日、全額を全国美術館会議へ寄付した。

日時: 7月26日、27日 12:00～17:00

場所: 当館運河劇場

売上金及び募金の総額: 248,000円

(4) ボランティアワークショップ 「夏のさわやか絵手紙をつくらう」

概要:

季節の果物、野菜をモチーフに風情豊かな絵手紙をつくるワークショップをボランティア主導で企画、実施した。当館ボランティアが中心となり運営した初のワークショップとなった。

活動日時及び内容:

- ①7月31日 ワークショップ説明会・試作
- ②8月1日 リハーサル (学童団体44人への対応含む)
- ③8月25日 準備 (会場設営、モチーフ買い出し)
- ④8月27日 10:30～16:00 ワークショップ1日目
- ⑤8月28日 10:30～16:00 ワークショップ2日目
- ⑥8月30日 10:30～16:00 ワークショップ3日目

場所: アトリエ

参加ボランティア数: ①4人 ②6人 ③4人 ④13人
⑤11人 ⑥10人 計のべ48人

入場者数: ④172人 ⑤241人 ⑥310人 計723人

(5)第3期長崎県美術館アートボランティア募集

概要：

活動者の補充を目的として、第3期長崎県美術館アートボランティアを募集した。

募集期間：平成26年12月1日～平成27年1月15日

募集人数：100人

応募人数：46人

研修修了者数：45人

応募条件：

- ・18歳以上（高校生不可）
- ・美術に関心があり、ボランティア活動に意欲をお持ちの方
- ・月2回以上かつ1回につき3時間以上美術館で活動できる方
- ・事前研修を受講できる方

研修期間：①必修研修…平成27年2月～3月

②実地研修…平成27年4月～7月 ※平成27年度

研修：

①必修研修（平成27年2月～3月）

会場：ホール 時間：各回2時間程度

	月	日	曜日	時間	内容
第1回	2	4	水	18:30～	館長あいさつ、スタッフ紹介
		8	日	10:30～	
第2回	2	11	水	18:30～	長崎県美術館について
		15	日	10:30～	
第3回	2	18	水	18:30～	長崎県美術館アートボランティアについて
		22	日	10:30～	
第4回	2	25	水	18:30～	長崎県美術館の組織と施設について
	3	1	日	10:30～	
第5回	3	4	水	18:30～	長崎県美術館でのマナーについて
		8	日	10:30～	
第6回	3	11	水	18:30～	緊急対応・AED研修
		15	日	10:30～	
第7回	3	18	水	18:30～	ガイダンス（活動開始までの案内）
		22	日	10:30～	
第8回	3	29	日	14:00～	現ボランティアとの交流

※第1～7回は必修。第8回のみ任意の参加。

※第1～7回は同じ内容で各2回ずつ実施。どちらか都合のつく日に参加。

※補講は毎週水曜日に実施。

②実地研修（4月～7月）

活動に関わる具体的な講習および活動研修

※必修出席数：講習…1回以上/月、活動…2回以上/月



11. 広報マーケティング事業

1) 主要広報記録

テレビ・新聞（展覧会事業は除く）

放送日・発売日	種別	媒体	内容
5月4日	テレビ	NHK「ニュース」	はじめてミュージアム(旅するムサビ)
5月5日	テレビ	NIB「news every」	はじめてミュージアム(旅するムサビ)
7月24日	テレビ	NBC「報道センターNBC」	チャリティーバナーバッグ販売
8月1日	新聞	長崎新聞 新美術新聞	第9回西洋美術振興財団賞（当館森園学芸員）
9月2日	新聞	西日本新聞	第9回西洋美術振興財団賞（当館森園学芸員）
9月6日	新聞	長崎新聞	移動美術館 in 小値賀
11月21日	新聞	長崎新聞	釜山交流事業(金弘熙氏ワークショップ)
12月5日	新聞	長崎新聞	クリスマスワークショップ
12月9日	テレビ	NCC「スーパー」チャンネルながさき	釜山展交流事業
2月7日	テレビ	KTN「スーパーニュース」 NIB「ニューススポット」 NCC「ニュース」	入館者400万人達成セレモニー
2月8日	新聞	長崎新聞 西日本新聞	入館者400万人達成セレモニー
2月10日	新聞	長崎新聞 毎日新聞	遠隔授業（五島市三井楽中学校）
2月10日	テレビ	NHK「イブニング長崎」 KTN「スーパーニュース」	遠隔授業（五島市三井楽中学校）
2月11日	新聞	西日本新聞	遠隔授業（五島市三井楽中学校）

雑誌等（展覧会事業は除く）

発売日・掲載日	種別	媒体	コーナー	内容
4月	ガイドブック	ココミル長崎		館、カフェ紹介
5月	ガイドブック	ことりっぶ長崎		館紹介
5月8日	情報誌	とととって	家族みんなで過ごす休日スタイル 「美術館に行ってみよう！」	館紹介
5月20日	季刊誌	旅鶴／夏号		館紹介
6月	ガイドブック	まっふるマガジン長崎 2015年版		館紹介
6月	ガイドブック	たびまる長崎		館紹介
6月	ガイドブック	るるぶ長崎 ハウステンボス 佐世保 雲仙 '15		館紹介
7月27日	グルメガイド	長崎ごちそう大図鑑 ver. 10		カフェ紹介
8月1日	隔月刊誌	Shunme／9月号	あなたの知らないミュージアムの世界	館紹介
10月1日	ガイドブック	長崎バリアフリー観光ガイド		館紹介
10月24日	フリーペーパー	生活情報誌 ポス	九州のとおきミュージアムカフェ	カフェ紹介

プレスリリース (59件)

発行日	内 容
4月3日	「ウォルト・ディズニー展」3万人セレモニー
4月4日	「片岡鶴太郎展」オープニングセレモニー
4月7日	こどもアートクラブ2014メンバー募集
4月10日	イブニングライブ200回記念スペシャル
4月10日	キッズふれアート はじめてミュージアム
4月17日	「松井守男」展
4月25日	「片岡鶴太郎展」1万人セレモニー
4月30日	「平山郁夫展」
5月7日	「片岡鶴太郎展」2万人セレモニー
5月19日	「片岡鶴太郎展」3万人セレモニー
5月21日	コレクション展展示替え「タビエスとプロッサ」「所蔵名品展 長崎ゆかりの絵画」
5月21日	「松井守男」展オープニングセレモニー
5月26日	「片岡鶴太郎展」4万人セレモニー
6月18日	「魔法の美術館」
7月7日	「平山郁夫展」オープニングセレモニー
7月7日	「魔法の美術館」オープニングセレモニー
7月7日	夏の催し
7月9日	台風による臨時休館
7月10日	台風による臨時休館解除
7月11日	コレクション展展示替え「長崎の風景」「須磨コレクション2」「スペイン近現代美術2」
7月22日	出島研修
7月30日	平成25年度県民ギャラリー使用者募集
8月1日	「平山郁夫展」《広島生変図》特別展示
8月4日	「魔法の美術館」1万人セレモニー
8月7日	8月追加イベント
8月13日	「魔法の美術館」2万人セレモニー
8月18日	「平山郁夫展」1万人セレモニー
8月19日	「魔法の美術館」3万人セレモニー
8月22日	「テオ・ヤンセン展」
8月28日	「魔法の美術館」4万人セレモニー
9月2日	コレクション展展示替え「長崎の工芸—陶磁器とその装飾技法—」「椛島勝一」
10月3日	「テオ・ヤンセン展」オープニングセレモニー
10月3日	スペイン美術特別講演会「“画家たちの画家”ベラスケス—バロックの超克」
10月17日	「ガウディ×井上雄彦」
10月31日	「路地に建てられた都市—釜山」、コレクション展展示替え「日本画の名品」「詩と版画—ホセ・エルナンデスの『本』」
11月6日	「テオ・ヤンセン展」1万人セレモニー
11月14日	「トミタリア」
11月19日	2014クリスマスのアトリエ
11月28日	コレクション展展示替え「須磨コレクション3」「スペイン近現代美術3」
12月5日	「テオ・ヤンセン展」《アニマリス・アグリノオカ》展示
12月5日	第3期アートボランティア募集
12月6日	「ガウディ×井上雄彦」オープニングセレモニー
12月18日	コレクション展観覧料の障害者減免、お正月無料
12月25日	文化庁メディア芸術祭歴代優秀作品紹介
1月9日	「トミタリア」オープニングセレモニー、コレクション展展示替え「菊畑茂久馬『春風』」
1月22日	「ガウディ×井上雄彦」1万人セレモニー
1月23日	「木梨憲武展×20years」
2月6日	入館者400万人記念セレモニー
2月9日	H26年度 遠隔授業（五島市立三井楽中学校）
2月19日	「ガウディ×井上雄彦」2万人セレモニー
2月19日	こどもアートクラブ2015メンバー募集
2月20日	コレクション展展示替え「舟越保武—祈り」
2月27日	「木梨憲武展×20years」オープニングセレモニー
2月27日	平成27年度展覧会スケジュール

発行日	内 容
3月5日	「トミタリア」ホワイトデーピアノ
3月16日	「木梨憲武展×20years」1万人セレモニー
3月24日	「スペイン黄金世紀の静物画」、「井上孝治の写真—軍艦島と長崎」、 コレクション展展示替え「長崎ゆかりの美術1—洋画」「須磨コレクション1」「スペイン近現代美術1」「修復作品の紹介」
3月24日	「藤城清治展」オープニングセレモニー
3月8日	「木梨憲武展×20years」2万人セレモニー

2) 広報印刷物

展覧会スケジュールを紹介する「年間スケジュール」、全館広報紙「月間イベントスケジュール」を発行し、展覧会情報及びイベント、貸館、カフェ、ショップ情報を積極的に紹介。公共施設、全国の美術館、各種企業等に広く配布した。また、1週間の美術館情報を集約した「今週のご案内」は館内2箇所に掲示し、週ごとの情報発信を行った。

内容：

- 年間スケジュール（日本語） A4変形、4色/4色、片観音折 42,000部
- 月間イベントスケジュール B4、4色/4色、見開き 24,000部（2,000部/月）
- 今週のご案内 B2、片面2色、毎週月曜日に情報更新



3) ホームページ

最新情報（企画展、美術館コレクション展、教育普及、イベント）、ミュージアムショップ、カフェ、美術館ニュースなどについて常にタイムリーな情報を更新。館の利用案内、収蔵作品紹介、ボランティア活動、県民ギャラリー案内、募集案内（貸館、ワークショップ、入札）などの情報公開も行った。

<http://www.nagasaki-museum.jp>

ページ構成：

- ・最新情報（開催中展覧会等紹介）
- ・総合案内（館の機能紹介）
- ・コレクション（当館収蔵作品等を検索）
- ・年間スケジュール（当館主催事業及び貸館情報の年間一覧）
- ・学校との連携（スクールプログラム学校利用案内）
- ・県民の部屋（県民作家ネットギャラリー・アンケート・メルマガ申込み）
- ・情報提供（美術館ニュース、年報）
- ・ショップ&カフェ（ミュージアムショップ紹介、カフェ紹介）
- ・ボランティア（活動紹介）
- ・長崎県内情報検索（長崎県の文化財・県内資料館検索・全収蔵資料検索・全収蔵図書検索）
- ・パートナーズ（オフィシャルパートナーズ、ミュージアムパートナーズ、プレミアムメンバーズ、キャンパスパートナーズ）
- ・リンク（県内主要施設・観光団体・交通機関など18件にリンク）
- ・ブログアトリエ便り（教育普及・生涯学習事業の活動紹介）
- ・英語版サイト（館長あいさつ、施設案内、開館時間等、アクセス、収蔵作品案内、年間スケジュール）

アクセス件数：

510,152件（1日平均1,394件）

ディレクトリ別アクセス件数比較

	ディレクトリ名	アクセス件数
1	トップ	218,285
2	年間スケジュール	125,427
3	最新情報（企画展）	118,853
4	アトリエブログ	89,960
5	作品検索	89,174
6	総合案内（アクセス）	28,608
7	カフェ&ショップ	22,612
8	コレクション展	22,435
9	総合案内（利用）	13,597
10	最新情報（イベント）	12,589

4) アートビジョン

展覧会案内や CM など館主催事業の基本情報、当館賛助会員企業名表記などの基本上映に加え、自主企画として、文化庁メディア芸術祭受賞作品の上映を行った。また、地域の文化・スポーツ振興を目的とし、県内高校生が出場する野球放送も行った。貸し施設対応としては、ロゴス・ホープ号の告知映像、長崎ケーブルメディアの番組同時放送、オペラ「沈黙」の告知映像を上映した。

(1) 主な基本上映内容

- ・総合案内映像（美術館基本情報）
- ・展覧会案内（企画展・常設展・教育普及・イベント等を告知）
- ・美術館ロゴモーショングラフィックス（日本デザインセンター制作）
- ・美術館イメージ映像（高城剛氏制作）
- ・スペースシャワー TV 告知映像
- ・協賛企業名表記

(2) 作品上映（全て長崎県美術館主催・視聴無料）

文化庁メディア芸術祭歴代優秀作品上映

① 「Portrait of Japanese Animation—日本の映像描写」

現代日本の日常を反映したアニメーション作品、ミュージックビデオ、映像作品など9点を上映。（約60分）

日時：1月2日(金)～3月1日(日) 11:00～12:05、15:00～16:05

② 「Beyond the Technology—デジタル技術を越えて」

作家の感性と、現代において共有されている想像力を映し出す13点の作品を紹介。（約45分）

日時：1月2日(金)～3月1日(日) 13:00～13:45、17:00～17:45



(3) その他上映

No	上映日時	上映時間	上映回数	内 容	主催者
1	4月27日(日)～5月11日(日)	10:00～19:00の間	270回	ロゴス・ホープ号告知映像	ロゴスホープ号
2	12月23日(火・祝)	17:00～18:00	1回	「出張なんでんカフェ in けんぴ」生放送	長崎ケーブルメディア
3	1月30日(金)～2月15日(日)	10:00～20:00の間	154回	オペラ「沈黙」開催告知映像	オペラ「沈黙」<演奏形式>実行委員会

5) 会員事業

(1) メールマガジン

毎月1回メールマガジンを発行。館長コラムや展覧会、イベント情報の他、その他メルマガ会員限定プレゼントなどを実施。メールマガジン登録はホームページより行い、発行履歴はホームページ上に掲載される。

年間発行回数：12回／会員数：1,449人（2015年3月末）

(2) 年間フリーパスポート

- ・コレクション展の年間フリーパス

料金：一般1,200円、大学生900円、小中高生600円、シニア（70歳以上）900円

年間発行実績：11枚

(3) プレミアメンバーズカード（個人会員）

- ・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス
- ・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10%割引
- ・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：5,000円

会員数：796人（2015年3月末）

(4) ミュージアムパートナーズカード（賛助会員）

- ・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス（1口につきカード1枚発行）
- ・1口につき館主催企画展招待券を50枚、コレクション展招待券を20枚発行
- ・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10%割引
- ・館内、アートビジョン、およびホームページにて賛助会員リストを記載
- ・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：1口50,000円

会員数：54法人・73口（2015年3月末）

(5) メットライフ生命社員限定パスポート ※8月末で終了

- ・コレクション展の年間フリーパス
- ・館主催企画展に団体料金で入場可、同伴者はコレクション展と館主催企画展に団体料金で入場可
- ・カフェのドリンクを10%割引

年会費：1,500円

会員数：13人（2014年8月末）

(6) キャンパスパートナーズ（大学会員）

- ・学生証の提示でコレクション展が年間フリーパス
- ・館主催企画展はコレクション展との差額料金（差額が500円を超える場合は500円）。
- ・カフェの料金を10%割引

年会費：

学生数	年会費（税込）
300人未満	30,000円
1,000人未満	80,000円
2,000人未満	150,000円
4,000人未満	250,000円
4,000人以上	350,000円

平成26年度会員：長崎外国語大学、長崎歯科衛生士専門学校

6) 入館者アンケート

アンケート収集方法・・・毎月1～2回（土日祝）、エントランスロビーにてインタビュー方式により収集。

アンケートサンプル数・・・1,070

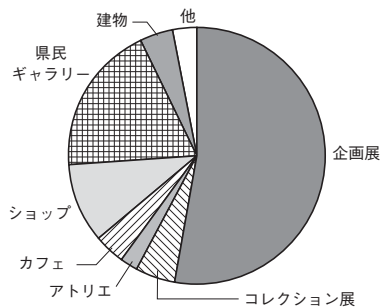
アンケート質問内容

1. 来館目的
2. 満足度
3. 来館回数
4. 基本情報（性別、年齢、居住地）

集計結果：

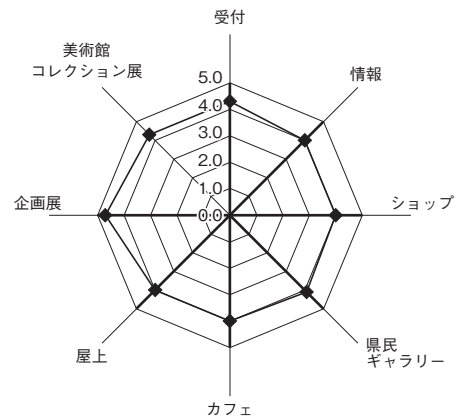
1

来館目的（複数回答）							
企画展	コレクション展	アトリエ	カフェ	ショップ	県民ギャラリー	建物	他
53%	5%	2%	4%	10%	19%	4%	3%



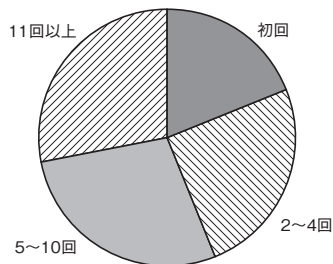
2

満足度（5段階評価）							
受付	情報	ショップ	県民ギャラリー	カフェ	屋上	企画展	コレクション展
4.3	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.7	4.3



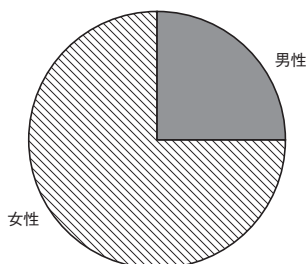
3

来館回数			
初回	2～4回	5～10回	11回以上
19%	25%	28%	28%

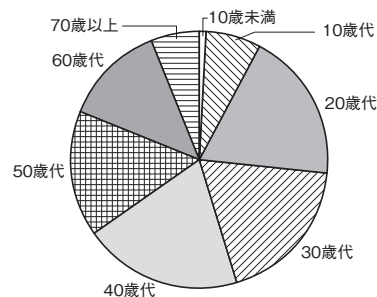


4

性別	
男性	女性
25%	75%



年齢構成（歳代）							
10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1%	7%	19%	19%	20%	16%	13%	6%



県内外		
長崎市内	県内	県外
52%	29%	19%

12. イベント等

1) コンサート・イベント（主催・共催）

(1) イブニングライブ

概要：芸術の発信場所である美術館として、美術はもとより、芸術性の高い音楽を提供する事業として、開館年度である平成17年5月から開催。美術と音楽との融合を目指し、展覧会に沿った内容や季節に応じたコンサートを開催。また展覧会のオープニングセレモニーでの演奏も行う。更に大学との連携事業として、学生の学外における体験型教育の支援事業としても推進するとともに、学生ボランティアの活動の場を提供することで、広く地域との交流を持った事業として展開。26年度は、開催200回を記念してスペシャルを行った。

出演：長崎大学教育学部、活水女子大学音楽学部 学生・教員・卒業生

日時：毎月第2・4日曜日 1日2ステージ開催
※平成26年度（第199回～第218回）

会場：エントランスロビー

入場料：無料

総入場者数：3,400人



(2) 2014長崎帆船まつり関連イベント「打ち上げ花火」鑑賞

概要：「長崎帆船まつり」の打ち上げ花火を屋上庭園にて観賞。

日時：4月28日(月)、29日(火・祝)
開場20：10、打ち上げ開始20：30～（15分程度）

会場：屋上庭園

入場料：無料

入場者数：167人

(3) 春のぼかほか美術館 キッズふれアート はじめてミュージアム

概要：ゴールデンウィークの多客期に子ども向けイベントを開催することで、県内外の家族連れに多数ご来館いただくことを目的とした企画。子どもたちが遊びながら美術や美術館に親しむ場を提供し、身近な美術館、家族連れで一日中楽しめる美術館を演出した。

日時：5月4日(日・祝)、5日(月・祝)
10：00～16：00

会場：アトリエ、講座室、ホール、エントランロビー、運河劇場ほか

対象：県内外の家族連れ（主に幼稚園・保育園児とその保護者）

集客目標：3,000人

参加費：無料

入場者数：のべ7,771人

内容：

① 旅するムサビ「空飛ぶクジラがやってきた」

日時：5月4日(日・祝)、5日(月・祝)
10：00～16：00

会場：アトリエ、アトリエ前庭園

協力：武蔵野美術大学、長崎純心大学、活水女子大学

② 世界のおもちゃでたっぷり遊ぼう！

日時：5月4日(日・祝) 10：00～16：00
会場：ホール

協力：トムテのおもちゃ箱

③ 親子で一緒に美術館散歩

日時：5月4日(日・祝)、5日(月・祝)
11：30～、14：30～

集合場所：常設展示室前

④ おやこでサクソコンサート

日時：5月4日(日・祝)
11：00～11：20、14：00～14：20

会場：エントランスロビー

出演：Saxophone Quartet chouchou（濱口知紗子、岩田偉、山口奈美、江口里穂）

⑤ 上映会「こま撮りえいが こまねこ」

日時：5月5日(月・祝) 11：00～12：00
会場：ホール

上映作品：「はじめのいっぽ」「カメラのれんしゅう」「こまとラジボー」「ラジボーのたたかい」「ほんとうのともだち」

⑥ ゆったり癒しのスペース

日時：5月4日(日・祝)、5日(月・祝)
10：00～16：00

会場：講座室

⑦ ニコダマを探せ！

日時：5月4日(日・祝)、5日(月・祝)
10：00～16：00

会場：館内

⑧ 青空カフェ



日時：5月4日（日・祝）、5日（月・祝）

11：00～15：00

会場：運河劇場

出店：米粉屋、ティア長崎銅座町店、ちびころ、KURU cafe、
ほとり（4日）、harupizza（4日）、鳥マルシェ（5日）

(4)2014ながさきみなとまつり「花火大会鑑賞会」

概要：「ながさきみなとまつり」の打ち上げ花火を屋上庭園にて観賞。

日時：7月26日(土)、27日(日) 開場20：10、打ち上げ20：30～

会場：屋上庭園

入場料：無料

入場者数：1,292人

(5)平和の祈りトーク&コンサート2014～長崎から世界へ。

次世代へとつなぐ平和への思い～

概要：8月9日の長崎原爆の日に長崎出身の日本画家・松尾敏男氏を中心に長崎を愛するアーティストが集結。第4回となる今年は、松尾敏男氏のお話と音楽がさらにコラボしたトーク&コンサート。長崎出身の若手音楽家 NAGS（ナグス）とともに、芸術を通してトークと音楽で平和への思いを発信。

出演者：松尾敏男（日本画家）、NAGS【小林知弘（ヴィオラ）、得田サトシ（ピアノ）】、吉本啓倫（パーカッション）、井手永孝介（コントラバス）

日時：8月9日(土) 18：00～20：00

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：200人



(6)スペイン美術特別講演会「“画家たちの画家” ベラスケスーバロックの超克」

講師：大高保二郎（早稲田大学文学学術院教授）

日時：11月15日(土) 16：00～18：00

会場：ホール

入場料：無料

入場者数：66人

(7)文化庁メディア芸術祭歴代優秀作品紹介

①「The Q of moving-image—映像表現が問いかけるもの」
上映

概要：海外作家の作品として、映像表現ならではの物語性とドキュメンタリー性を強く有し、歴史や現実を不断に問いかける6作品を紹介（約50分）

日時：1月3日(土) 14：00～14：50（13：30開場）

会場：ホール

入場料：無料

入場者数：25人

②「Beautiful drawing—ハンドドローイング～その無限の世界」上映

概要：第14～17回における受賞・審査委員会推薦作品選出作品の中から、ハンドドローイングによる技法を用いた10作品を紹介。（約90分）

日時：1月4日(日) 14：00～15：30（13：30開場）

会場：ホール

入場料：無料

入場者数：35人

③マンガ部門情報コーナー展示

概要：平成25年度〔第17回〕文化庁メディア芸術祭マンガ部門を受賞した書籍及び井上雄彦の作品『バガボンド』『リアル』『スラムダンク』等を設置（全43冊）

会期：1月2日(金)～3月1日(日)

会場：情報コーナー

入場料：無料

利用者数：1,224人

2) 主催以外のイベント（協力）

(1)日本フィルメンバーによる「ふれあいコンサート in 長崎県美術館」

概要：日本フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏。

出演者：太田麻衣（ヴァイオリン）、加藤祐一（ヴァイオリン）、佐藤玲子（ヴィオラ）、山田智樹（チェロ）

日時：11月29日(土) 13：00～14：00

会場：エントランスロビー

入場者：100人



入場料：無料

主催：長崎日本フィルの会

協力：長崎県美術館

(2)Fortuna クリスマスコンサート

概要：音楽大学卒業生を中心に作られた Fortuna による女声合唱。

出演者：女声合唱／Fortuna（フォルトゥーナ）

指揮／加藤豊 ピアノ／吉田真深

日時：12月20日(土) 15：30～16：10

会場：エントランスロビー

入場者：120人

入場料：無料

主催：Fortuna

協力：長崎県美術館



13. 貸施設事業

1) 県民ギャラリー

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
1	4月1日(火)～4月6日(日)	第13回南島原市セミナーヨ版画展長崎巡回展	全室	第13回南島原市セミナーヨ版画祭実行委員会	764
2	4月8日(火)～4月13日(日)	第97回チャーチル会・長崎絵画展	A	チャーチル会・長崎	1,482
3	4月8日(火)～4月13日(日)	第14回「上野彦馬賞」九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展	B	毎日新聞社・九州産業大学	1,423
4	4月8日(火)～4月13日(日)	桑原泰子 COOWA キルトパフォーマンス2014	C	キルトオブ COOWA パッチワークサークル	976
5	(前期)4月22日(火)～4月27日(日) (中期)4月29日(火)～5月4日(日) (後期)5月6日(火)～5月11日(日)	第39回長崎県書道展	全室	株式会社長崎新聞社	5,975
6	5月13日(火)～5月18日(日)	第16回九州二紀展	全室 運河ギャラリー	社団法人 二紀会長崎支部	1,999
7	5月20日(火)～5月25日(日)	第5回長崎写真コンクール写真展	A	長崎写真コンクール実行委員会	1,510
8	5月20日(火)～5月25日(日)	第31回長崎青房会南画展	B	長崎青房会	1,726
9	5月20日(火)～5月25日(日)	第5回ときいろ会油絵展	C	時津町油絵教室ときいろ会	2,113
10	5月27日(火)～6月1日(日)	第12回長崎アートフェスティバル	全室	NPO 法人長崎市美術振興会研修部	2,214
11	6月5日(木)～6月8日(日)	第11回ねんりんピック生きがい作品展	全室	(公財)長崎県すこやか長寿財団	1,702
12	6月10日(火)～6月15日(日)	ハンセン病療養所長崎県出身入所者等の作品展	A	長崎県福祉保健部 国保・健康増進課	0
13	6月10日(火)～6月15日(日)	第12回水彩連盟長崎支部展	B	水彩連盟長崎支部	808
14	6月10日(火)～6月15日(日)	九州産業大学芸術学部・芸術研究科作品展(九芸展)	C	九州産業大学芸術学部	722
15	6月17日(火)～6月22日(日)	第41回長崎県水彩画展	全室	長崎県水彩画協会	1,464
16	(前期)6月25日(火)～29日(日) (後期)7月2日(火)～6日(日)	第45回長崎県美術協会展	全室	長崎県美術協会	2,453
17	7月9日(火)～7月13日(日)	第35回ながさき8・9平和展	全室	ながさき8・9平和展企画委員会	1,180
18	7月19日(土)～8月31日(日)	魔法の美術館～光と影のワンダーランド	全室	株式会社長崎新聞社	44,422
19	9月15日(月)～9月28日(日)	第59回長崎県美術展覧会(県展)	全室 企画展示室	第59回長崎県美術展覧会実行委員会	10,782
20	10月3日(金)～10月12日(日)	長崎県文化財聖福寺修復チャリティー「山口怜子の世界 パッチワーク・キルト展」	全室	万寿山聖福寺大雄宝殿修復協会	9,500
21	10月15日(水)～10月19日(日)	第48回長崎市書作家協会展	全室	長崎市書作家協会	679
22	10月21日(火)～10月26日(日)	2014二科会長崎支部展(絵画・写真)	全室	二科会長崎支部	1,190
23	10月29日(水)～11月2日(日)	第46回長崎日本大学高等学校デザイン美術科卒業制作展	全室	長崎日本大学高等学校デザイン美術科	976
24	11月4日(火)～11月9日(日)	第23回長崎県美術協会書部代表作展／第7回日韓親善交流書展	A B	長崎県美術協会書部	1,805
25	11月4日(火)～11月9日(日)	第41回日本水彩画会長崎支部展	C	日本水彩画会長崎支部	1,693
26	11月13日(木)～11月16日(日)	子ども県展・特別展	全室	造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会	500
27	(前期)11月20日(木)～11月28日(金) (後期)11月30日(日)～12月7日(日)	第63回長崎市民美術展	全室	長崎市民美術展実行委員会	8,190
28	12月9日(火)～12月14日(日)	平成26年度長崎県高等学校総合文化祭第10回県写真展	全室	長崎県高等学校文化連盟写真専門部	919
29	12月17日(水)～12月21日(日)	平成26年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】(第45回長崎県高等学校美術展)	全室	長崎県高等学校文化連盟美術専門部	2,211
30	12月23日(火・祝)～12月28日(日)	第34回長崎県美術協会洋画部会員展	A B	長崎県美術協会洋画部	1,300
31	12月23日(火・祝)～12月28日(日)	RING ART 2014～日中韓葡交流(現代美術)展	C	RING ART 運営委員会	1,590
32	1月6日(火)～1月11日(日)	第33回長崎県現代美術家協会長崎支部展	A	現代美術家協会長崎支部	803
33	1月6日(火)～1月11日(日)	国際公募アート未来第8回長崎支部展	B	国際公募アート未来長崎支部	1,141
34	1月6日(火)～1月11日(日)	第16回白日会長崎支部展覧会	C	白日会長崎支部	801
35	1月15日(木)～1月25日(日)	第10回記念 長崎県選抜作家美術展	全室	長崎県選抜作家美術展運営委員会	1,180
36	1月27日(火)～2月1日(日)	第60回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」	全室	長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会	4,028

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
37	2月3日(火)～2月8日(日)	第64回長崎市小中学校連合美術展	全室	長崎市中学校書写研究部 共催 長崎市教育委員会	15,419
38	2月10日(火)～2月15日(日)	第10回地域開放講座西高絵画教室 かしの会	A	地域開放講座西高絵画教室 かしの会	1,358
39	2月10日(火)～2月15日(日)	第16回長崎県合同押花作品展	B	長崎つばき押花会	713
40	2月10日(火)～2月15日(日)	活水女子大学生生活デザイン学科作品展	C	活水女子大学生生活学部生活デザイン学科	1,003
41	2月17日(火)～2月22日(日)	第9回タナカタケシ油絵教室作品展	A	タナカタケシ油絵教室	800
42	2月17日(火)～2月22日(日)	第32回童美研・児童幼児作品展	B	長崎児童幼児美術研究会	712
43	2月17日(火)～2月22日(日)	第5回愛知県立芸術大学九州支部同窓会 展	C	愛知県立芸術大学九州支部同窓会	1,028
44	2月24日(火)～3月1日(日)	第33回長崎県美術協会日本画部合同展	A B	長崎県美術協会日本画部	867
45	2月24日(火)～3月1日(日)	第19回長崎アンデパンダン展	C	第19回長崎アンデパンダン展実行 委員会	875
46	3月6日(金)～4月12日(日)	木梨憲武展×20years INSPIRATION - 瞬間の好奇心	全室	KTN テレビ長崎 長崎県美術館	31,558
				県民ギャラリー入場者数合計	176,554

2) ホール等

No.	使用日	行事名	会場	使用者
1	4月10日(木)	平成26年度 学校法人川島学園 入学式	ホール 講座室	学校法人 川島学園
2	4月15日(火)～4月20日(日)	長崎県美術協会デザイン部 平成26年度カレンダー展	運河ギャラリー	長崎県美術協会デザイン部
3	4月24日(木)～4月26日(土)	こじまパッチワーク&人形教室作品展	運河ギャラリー	小島パッチワーク教室
4	5月31日(土)	九州心臓弁膜症カンファレンス	ホール 講座室	日本ライフライン株式会社 九州支店
5	6月6日(金)～6月16日(月)	東宝映画『春を背負って』劇中パネル展	運河ギャラリー	株式会社プラネット
6	6月14日(土)	第40回長崎ブロック大会 in ながさき	ホール 講座室 運河劇場	公益社団法人日本青年会議所 九州地区長崎ブロック協議会
7	6月15日(日)	日本ふんどしミニサミット	ホール 講座室	TeRAYA
8	6月28日(土)	「かみさまとのやくそく」上映会	ホール	Dejima 53 Project
9	7月1日(火)～7月13日(日)	大・端島展 - 近代日本を生んだ奇跡の小島 -	ホール 講座室 運河ギャラリー アトリエ	端島閉山40周年記念事業実行委員会共催/長崎市
10	7月20日(日)～7月27日(日)	第15回池田勉写真展 長崎県の優良木造住宅と森林写真展	運河ギャラリー	エース出版長崎株式会社
11	7月21日(月・祝)	第19回長崎県子ども舞台芸術祭典「チカパンの大道芸」	ホール	ながさき子ども劇場
12	8月6日(火)～8月10日(日)	衝動画・衝動ガラス展	運河ギャラリー	ワチタクミ
13	8月15日(金)～8月17日(日)	“PHOTO IS” 想いをつなぐ。30,000人の写真展	運河ギャラリー	富士フィルム株式会社 富士フィルムイメージングシステムズ株式会社
14	8月22日(金)～8月24日(日)	めざせ！ループル第38回こども絵画コンクール	運河ギャラリー	住友生命保険相互会社長崎支社
15	8月24日(日)	弓削田 健介コンサート	ホール	特定非営利活動法人 エフ・フィールド
16	8月27日(水)	長崎打ち水大作戦2014	運河劇場	長崎ラビッシュネット
17	9月5日(金)～9月7日(日)	日本の伝統工芸 鍋島緞通展	運河ギャラリー	吉島伸一鍋島緞通株式会社
18	9月12日(金)～9月15日(月・祝)	新築そっくりさんリフォーム博	ホール	住友不動産株式会社 長崎営業所
19	9月30日(火)～10月5日(日)	長崎デザインアワード2014	エントランスロビー	長崎県産業デザインネットワーク
20	10月4日(土)	長崎新聞社広告賞2014 公開審査・講評会	ホール 講座室	株式会社長崎新聞社
21	10月7日(火)～10月12日(日)	日本リアリズム写真集団創立50周年 第48回 JRP 長崎支部写真展	ホール	日本リアリズム写真集団 (JRP) 長崎支部
22	11月3日(月・祝)～11月9日(日)	第3回ナガサキリンネ	ホール 講座室 運河ギャラリー アトリエ、庭園	ナガサキリンネ
23	11月17日(月)	長崎県博物館協会	ホール	長崎県博物館協会理事会
24	11月17日(月)	九州博物館協議会	ホール	第44回九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会
25	11月21日(金)～11月23日(日)	♪の夷 (うみのえびす)	運河ギャラリー	INDIES ART CLUB and GALLERY
26	11月29日(土)～12月7日(日)	平成26年度ながさきユニバーサルデザインアイデアコンクール作品展示会	運河ギャラリー	長崎県福祉保健部福祉保健課
27	12月5日(金)	日本船渠長協会九州支部 研究発表会	講座室	日本船渠長協会九州支部
28	12月12日(金)～12月14日(日)	どんぐりっこ作品展	運河ギャラリー	長崎市立小学校校長会特別支援教育研究部 (西部ブロック)
29	12月16日(火)～12月21日(日)	三菱重工 子どもスケッチ大会作品展	運河ギャラリー	三菱重工工業長崎造船所
30	12月23日(火・祝)	年末中継特番「クリスマスだよ！なんでんカフェ」	エントランスロビー	株式会社 長崎ケーブルメディア
31	12月24日(水)～12月28日(日)	波多野慎二個展	運河ギャラリー	波多野慎二
32	1月23日(金)～1月28日(水)	第26回長崎県まちづくりの絵コンクール作品展示会	運河ギャラリー	長崎県土木部都市計画課
33	1月25日(日)	龍虎堂薬局 妊活セミナー「あなたの知りたい妊活の話」	ホール	龍虎堂薬局
34	1月31日(土)	第7回三和幼稚園 - 子どもに情景展	アトリエ	三和幼稚園
35	1月31日(土)	朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日韓代表者会議	ホール	朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会
36	2月3日(火)～2月8日(日)	長崎大学 卒業・修了展	アトリエ	長崎大学絵画・彫刻ゼミナール
37	2月3日(火)	リカルド・モヤノ ギターリサイタル	ホール	長崎県文化振興課
38	2月5日(木)	STAR-T キャラバンセミナー	ホール	ダイキンHVACソリューション九州(株)長崎支店
39	2月8日(日)	山王保育園 造形作品展	運河ギャラリー	社会福祉法人 山王保育園
40	2月11日(水)～15日(日)	長崎県立長崎工業高等学校「第20回インテリア科展」	運河ギャラリー	長崎県立長崎工業高等学校 インテリア科
41	3月4日(水)	平成26年度 学校法人川島学園 卒業証書授与式	ホール 講座室	学校法人 川島学園
42	3月13日(金)	平成26年度男女共同参画“輝き”プラン促進事業活動発表会	ホール	長崎県県民生活部男女共同参画室
43	3月21日(土・祝)	出島と表門橋シンポジウム	ホール	長崎市文化観光部出島復元整備室
44	3月27日(金)	長崎みなとメディカルセンター 市民病院開院1周年記念 教育講座	ホール	地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター市民病院
45	3月22日(日)～28日(土)	春風ながさきより X VII 2015 RING ART&ASPECT	運河ギャラリー	RINGART 運営委員会

14. ショップ、カフェ

1) ショップ事業

ショップは売上計画64,980千円（手数料1,238千円含む）に対し、実績は67,364千円と計画比103.7%と計画を捉えることができた。来客数はミュージアムショップ23,121人、特設ショップ44,241人と人気コンテンツの特設ショップが大きく寄与した。

〈人気商品〉

ちより（製菓）

からすみバスタオイル

にやがさき てぬぐい

スラムダンク メラメラタオル

アメijingカード

	利用者数	来館者利用割合	年間収入額
1Fショップ	23,121人	5.3%	44,652千円
特設ショップ	44,241人	10.2%	22,712千円
合計	67,362人	15.5%	67,364千円

2) カフェ事業

カフェは、日経新聞や日経トレンディ・カーサブルータス等のカフェランキング上位にランクインするなど、美術館の魅力ある付加価値として評価も高く、カフェを目的とした来館者も見られる。反面、総来館者が前年度比105%と開館年度に次ぐ来館者数を記録した中でカフェ来店数前年比97%、売上高前年比94%となっており、来館者の伸びを来店数・売上高に生かすことができなかった。

〈人気商品〉

牛肉と野菜の煮込みカレーセット

ミックスサンドウィッチセット

タルトフロマージュセット

スパゲティ トマトソース バジリコ風味 セット

ミートスパゲティセット

利用者数	来館者利用割合	年間収入額
31,539人	7.2%	26,273千円

平成26年度

長崎県美術館年報 No. 9

2016年 3月発行

編集・発行：長崎県美術館（公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団）

〒850-0862 長崎市出島町2番1号

TEL 095 - 833 - 2110 / FAX 095 - 833 - 2115

印刷：株式会社昭和堂

©Nagasaki Prefectural Art Museum, 2016

長崎県美術館



Nagasaki Prefectural Art Museum